

令和6年度着手

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

神 田 谷 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【 た め 池 等 整 備 事 業 （ 防 災 重 点 緊 急 整 備 型 ） 】

（令和8年度 第1回変更）

福 井 県

変 更 理 由 書

I. 変更の内容

1. 事業施工に係る地域の変更

(1) 地積		(単位：ha)		
市町村名／地目		田	畑	計
(福井市：羽坂町)	変更前	6.4	—	6.4
	変更後	6.4	—	6.4
	増・減	—	—	—

2. 主要工事計画の変更

(1) 計画受益面積		(単位：ha)				
項 目		田	畑	その他		計
農業用排水施設	変更前	6.4	—	—		6.4
	変更後	6.4	—	—		6.4
増・減		—	—	—		—

(2) 事業費		(単位：千円)		
区 分	変更前	変更後	増・減	備 考
用水路工	87,000	134,000	47,000	
測量試験費	10,000	13,000	3,000	
用地及び補償費	3,000	3,000	—	
総事業費	100,000	150,000	50,000	

変更前 令和5年度価格
変更後 令和7年度価格

内 訳	
自 然 増	10,000
工 法 変 更	
事業量変更	40,000
計	50,000

(3) 工事予定期間

	(〃)
着 工	令和 6 年度
	(〃)
完了予定	令和 9 年度

Ⅱ．計画変更を必要とする理由

1．主要工事計画の変更

【主たる変更理由】

詳細設計および土質調査の結果、堤体安定計算上ため池の上・下流側基礎地盤の粘着力が不足し地盤改良が必要であることが判明したため、浅層改良および中層改良を増工したい。

農業用排水施設

(単位：千円)

事業量変更

- ・ 詳細設計および土質調査の結果、堤体安定計算上ため池上・下流側基礎地盤の粘着力が不足し地盤改良が必要であることが判明したため、浅層改良および中層改良を増工したい。

N=1.0式

40,000

【自然増】

10,000

合計

50,000

2．事業費変更の理由

項 目	増 減
自 然 増	10,000 千円
工 法 変 更	0 千円
事業量変更	40,000 千円
計	50,000 千円

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	15
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	16
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節	老朽ため池改修計画	26
1.	洪水吐改修計画	26
2.	堤体補強計画	26
3.	取水施設改修計画	26
第5章	主要工事計画	27
第1節	用水施設	27
1.	貯水池	27
2.	頭首工	27
3.	揚水機	27
4.	用水路	27
5.	その他かんがい施設	27
第2節	排水施設	28
1.	排水水門	28
2.	排水機	28
3.	排水路	28
4.	その他排水施設	28
第3節	道路及び索道	29
1.	道路	29
2.	索道	29
第4節	農用地造成	29
1.	農用地造成	29
2.	土壌改良	30
第5節	洪水調整施設	31
1.	貯水池	31
2.	頭首工及び導水路	31
第6節	干拓施設	31
1.	堤防	31
2.	潮止め	31
3.	付属施設	31
4.	埋立	32
第7節	農用地整備施設	32
1.	区画整理	32
2.	暗渠排水	32
3.	客土	33
4.	除礫	33
5.	農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1. 貯水池	34
2. 堤体補強施設	34
第6章 附帯工事計画	34
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第8章 環境との調和への配慮	34
第9章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1. 換地区の名称、所在、面積	35
2. 換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1. 従前の土地の地積の基準	35
2. 用途別予定地積	36
3. 農用地集団化の方針	37
4. 非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1. 評価の方法	37
2. 清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分の特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画平面図	40

第1章 目 的
変更なし

本ため池（神田谷）は約6.4haの農地をかんがいする目的で造成された、農業用ため池で、平成15年度に福井市単独事業で一部改修（堤体法面の整形、布製型枠の新設）が行われている。

令和2年10月に施行された防災農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づき、令和2年12月に防災重点農業用ため池に指定されている。この特別措置法に基づいて令和3年度に実施した地震・豪雨耐性評価では、地震時、豪雨時とも安全性に欠けた状態であることが判明した。

そのため、地震・豪雨対策を早急に実施し、ため池の安全性を確保し、地震・豪雨時の災害発生を未然に防止し、地域住民の安全を確保する。

第2章 地域及び地積
第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
(") 農業用排水施設	(") 福井市羽坂町 地係

第2節 地 積

(令和5年11月)
令和7年11月

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水施設	(") 福 井 市	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
計		(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	

第3章 現 況
第1節 気象及び海象

1. 一般気象
変更なし

(第3表-1)

観測所名	福井	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		23.8	8.9	15.1	
降水量	平均 (mm)	194	207	202	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	17	15	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間	12月～	3月	—日間		
無霜期間	4月～	11月	—日間		
最多風向	S (南)	最大風速	21.8 m/S		

2. 特殊気象

変更なし

(第3表-2)

観測所名 福井	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 H 3年～R 2年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	198	H16. 7. 18	1/101	162	H18. 7. 18	1/22	144	H 7. 7. 3	1/11	138	H25. 7. 29	1/9	134	H24. 9. 6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16. 7. 18	1/43	63	H21. 8. 2	1/17	63	H24. 9. 6	1/17	55	H25. 7. 13	1/10	55	R2. 9. 4	1/10	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	567	H 7. 7. 1 ～H 7. 7. 22	1/61	534	H18. 7. 11 ～H18. 7. 27	1/45	350	H25. 11. 15 ～H25. 12. 11	1/8	347	H30. 9. 3 ～H30. 9. 18	1/8	341	H26. 8. 2 ～H26. 8. 30	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	34	H30. 7. 13 ～H30. 8. 15	1/47	32	H 6. 7. 8 ～H 6. 8. 8	1/32	29	H9. 8. 8 ～H9. 9. 5	1/17	25	H22. 7. 16 ～H22. 8. 9	1/8	23	H14. 5. 19 ～H14. 6. 10	1/5	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名 観測期間	年～年	既往最高 潮位	さく望平均 満潮位	上下弦平均 満潮位	平均潮位	上下弦平均 均干潮位	さく望平均 干潮位	既往最低 潮位	備 考	
実 測 値					該 当	事 項	な し			

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

変更なし

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高 (m)		備考	
		傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
											8° ～ 10°	10° ～15°	8° ～15°						
農業用排水施設	面積 (ha)	—	—	6.4	—	—	6.4	—	—	—	—	—	—	—	—	14.1	6.3		
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—				
	面積 (ha)																		
	比率 (%)																		
計	面積 (ha)	—	—	6.4	—	—	6.4	—	—	—	—	—	—	—	—	14.1	6.3		
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—				

変更なし

(第4表-1-2)

土壌統(区)名	土 壌 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備考
	土 壌 断 面							堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	レ キ 層	酸化沈殿物	土 性					泥炭層 黒泥層 及びグライ層	農業用排水施設	計	
					表土	下 層 土							
					一層	二層	三層						
E-42	YR/Y	なし	なし	雲状有	砂質	粘質	粘質	なし	沖積世	非固結水成岩	6.4	6.4	
計											6.4	6.4	

変更なし

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食程		備 考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)				該 当 事 項 な し							
	比率 (%)											

2. 土地分類
変更なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※は傾斜 以外の要 因による もの	

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
						該 当 事 項 な し	

3. 土地利用の状況

(令和5年11月)

令和7年11月

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
		(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
農業 用排水 施設	(福井市)	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
合 計		(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	

4. 土地所有の状況

(令和5年11月)

令和7年11月

(第4表-4)

事業名	所 有 別 区 分	民 有 地	国 有 地	県 有 地	市 町 村	土地改良区	計	備 考
		(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
		(") 19	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 19	
農業 用排水 施設	筆 数 (筆)	(") 53	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 53	
	権 利 関 係	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
	備 考							
	面 積 (ha)							
	受 益 者 数 (人)							
合 計	筆 数 (筆)	(") 53	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 53	
	権 利 関 係	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
	備 考	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
	面 積 (ha)	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
	受 益 者 数 (人)	(") 19	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 19	

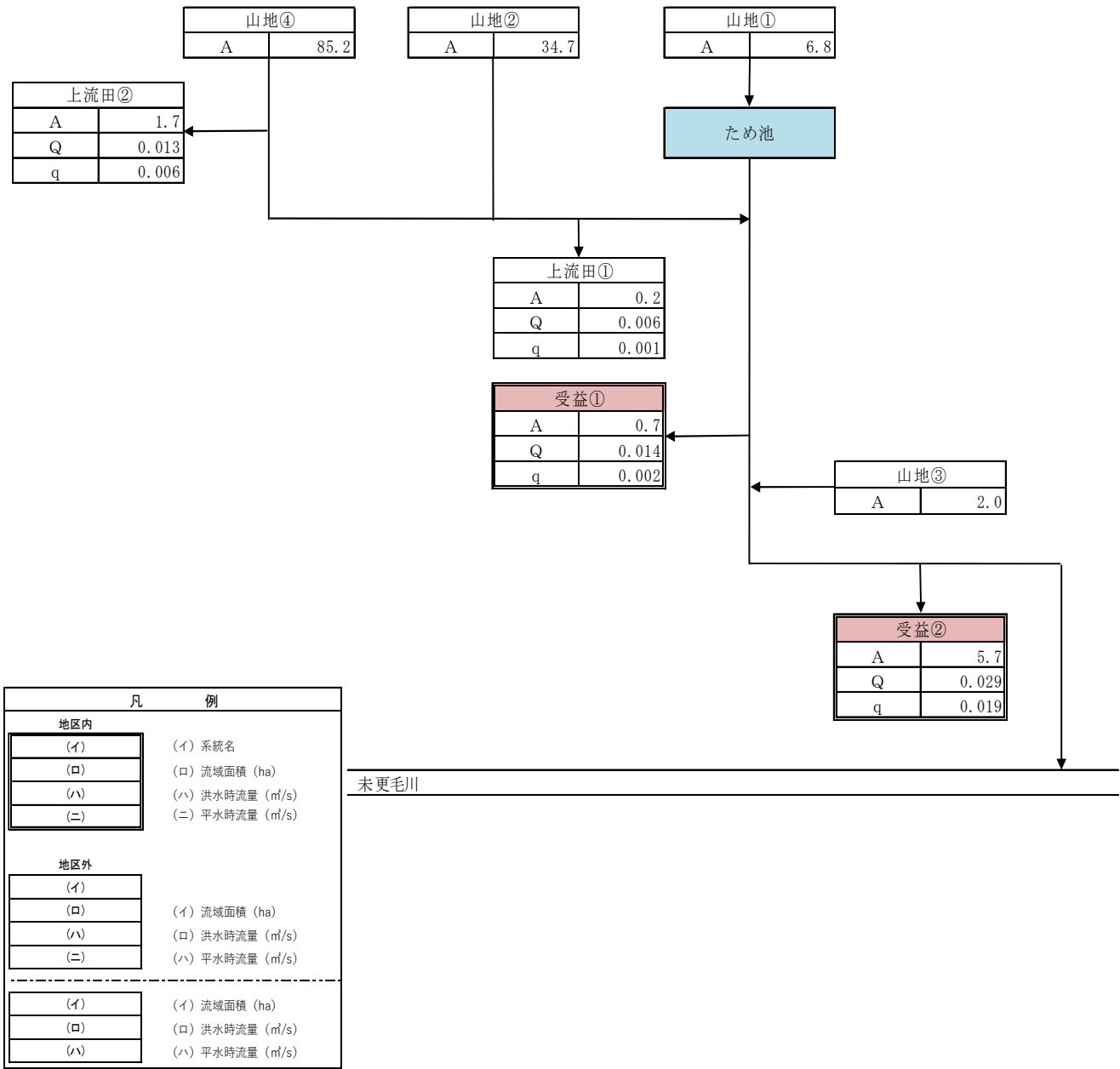
第 3 節 水利状況

1. 用水状況

変更なし

地区の農業用水は溪流水を水源としており、不足分はため池を活用し開水路により受益地まで送水している。

(1) 現況用水系統



(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表
変更なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	水利権		その他		延べ 取水量	備考	
		500ha以上		50～100ha		50ha未満			水利権		その他		延べ 取水量		
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s		
農業用排水施設	貯水池 自然取入口	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 0.035	(〃) 0.035	
	井 堰	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	揚水機	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	その他	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) (6.4)	(〃) 1	(〃) (6.4)	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 0.008	(〃) 0.008	
	計	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 0.043	(〃) 0.043	
合 計		(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) —	(〃) —	(〃) 1	(〃) 0.043	(〃) 0.043	

(イ) 改修を要する施設一覧表
変更なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農業用排水施設	貯水池	(〃) 1	(〃) 6.4	(〃) 均 一 型	(〃) V=5,700m ³ (〃) 堤高 H=5.1m (〃) 堤長 L=36.0m	(〃) 不明	(〃) ・豪雨時の安全性の確保 (〃) ・堤体の耐震性の確保	
	井 堰	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	自 然 取入口	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	揚水機	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	用水路	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	その他	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	計	(〃) 1	(〃) 6.4					
合 計		(〃) 1	(〃) 6.4					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

変更なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千㎡)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(㎡/s)	基準年(㎡/s)	平均(千㎡)	基準年(千㎡)	作物名	減産量(t)	
				— 該 当 事 項 な し —						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

変更なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温(℃)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該 当 事 項 な し				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

変更なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農業用排水施設	(") 4.0	(") —	(") —	(") 4.0	(") —	(") 8	(") 32	(") 7	(") 63	(") 110	
合計	(") 4.0	(") —	(") —	(") 4.0	(") —	(") 8	(") 32	(") 7	(") 63	(") 110	

2. 排水状況
変更なし

該 当 事 項 な し

(1) 排水系統
変更なし

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表
変更なし

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水 能 力 (m³/s)	備考				
			500ha以上		100～500ha		100ha未満										
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha							
	自 然	排 水 路															
		水 門															
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し												
		水 門 及 び 排 水 機															
		排 水 路 及 び 排 水 機															
	計																
	合 計																

(イ) 改修を要する施設一覧表

変更なし

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施 設 名								
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し				
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び 排 水 機							
	計								
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

変更なし

(第5表-6)

事業名	項 目	排水面積 (ha)	降 水 量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況(ha)						平 均 減 産 量		備考
	系統名				湛 水 深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛 水 量 (千m³)	田		畑		その他		作 物 名	減 産 量 (t)	
					乾	湿	乾	湿	乾	湿							
			平均														
			基準年														
			平均		該 当 事 項 な し												
			基準年														
	計																
合 計																	

3. 河川状況
 (1) 河川状況
 変更なし

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
			該 当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況
 変更なし

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額			該 当 事 項	な し	
平 均 被 害 額					

第 4 節 道路概況
1. 道路概況

変更なし

該 当 事 項 な し

2.主 要 道 路 一 覧 表

変更なし

(第 6 表)

No	路 線 名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
			該 当 事 項	な し				

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1.産 業 別 就 業 人 口

変更なし

令和2年国勢調査

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電 気 ガ ス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小売業	金 融 保険業	不 動 産 業	サービ ス 業	公 務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
福井市	141,825	2,486	178	78	19	12,493	24,226	661	9,335	24,460	4,337	2,319	55,669	5,564	—	国勢調査
計	141,825	2,486	178	78	19	12,493	24,226	661	9,335	24,460	4,337	2,319	55,669	5,564	—	
比率 (%)	100.0	1.7	0.1	0.1	—	8.8	17.1	0.5	6.6	17.2	3.1	1.6	39.3	3.9	—	

2.経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

変更なし

農林業センサス 令和2年度

(第7表-2)

項目 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)										一 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考	
		例 外 定 規 の 適 用 を 受 け る も の	0.3 ～0.5	0.5 ～1.0	1.0 ～1.5	1.5 ～2.0	2.0 ～3.0	3.0 ～5.0	5.0 ～10.0	10.0 ～20.0	20.0ha 以上	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸当 団地数	団地当 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
																						第一種		第二種
福井市	2,333	59	400	773	440	225	169	76	60	51	80	—	2.10	0.36	—	2.46	—	2.46	—	—	—	—	3,387	
計	2,333	59	400	773	440	225	169	76	60	51	80	—	2.10	0.36	—	2.46	—	2.46	—	—	—	—	3,387	
比率(%)	100.0	2.5	17.1	33.1	18.9	9.6	7.2	3.3	2.6	2.2	3.4	—	85.4	14.6	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	100.0	

3.動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数

変更なし

農林業センサス 令和2年度 (第7表-3)

項 目	動 力 農 機 具								主 要 家 畜							
	トラクター		田 植 機		動力防除機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		豚	
	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数
市町村名	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(頭)	(戸)	(頭)	(戸)	(百羽)	(戸)	(頭)	(戸)
福井市	—	—	—	—	—	—	—	—	132	3	X	5	42	3	X	1
計	—	—	—	—	—	—	—	—	132	3	X	5	42	3	X	1
100戸当数 量(台、 頭)	—		—		—		—		4,400		—		—		—	
利用戸数 割合 (%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

変更なし

農林水産統計年報 R5現在 (第7表-4)

市 町 村 名			福井市						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積(ha)			7,750						7,750	7,750		
総本地面積(ha)			7,636						7,636	7,636		
区 分			作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積		
作物名			(ha)	当 たり 収 量	(ha)	当 たり 収 量	(ha)	当 たり 収 量	(ha)	当 たり 収 量	(%)	
輪 換 田	表 作	水 稲	4,990	531					4,990	531	65.4	
		大 麦	1,040	361					1,040	361	13.6	
	裏 作	大 豆	435	126					435	126	5.7	
	小 計		6,465						6,465			
	畑	春 夏 作										
秋 冬 作												
小 計		—										
樹 園 地												
	小 計		—									
計			6,465						6,465			
市 町 村 別 延べ作付率(%)			84.7						84.7			

5. 農業の動向

変更なし

農林水産統計年報 R5現在 (第7表-5)

項 目 区 分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	82	57	耕 地	99	96	水 稲	97	89	乳 牛	29	30	田 植 機	73	—	農業振興地域 ・福井市 指定 S47. 3.31 認可 H22. 3.10	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専 業 農 家	130	—	田	100	96	麦 類	105	105	肉 用 牛	X	X	動 力 耕 耘 機	—	—		
	第 一 種 兼 業 農 家 集	86	—	畑	101	102	豆 類	95	110	豚	—	—	トラクター	78	—		
	第 二 種 兼 業 農 家 集	78	65	樹 園 地	—	—				採 卵 鶏	101	1	バインダ	—	—		
	農 従 事 者 数	71	—	草 地	—	—							コンバイン	74	—		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減				

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの ー:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

変更なし

本地区は、福井市の南西部に位置する羽坂町の北部に位置する山間地で、農地約6.4haが広がる地域である。ため池の水辺空間には二ホンアマガエル、シオカラトンボ、アメリカザリガニ、コミズムシなど、多種多様な水生生物が確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨 変更なし

当該ため池の堤体は地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。また、既設の洪水吐の大きさ（幅900mm×高さ800mm）では、大雨時に堤体から越流する懸念がある。そのため、早急に脆弱化した堤体を改修し、更に洪水吐の能力を向上させ、地震時および大雨時の災害発生を未然に防止する。

なお、堤体および洪水吐の改修と併せ、取水施設（斜樋、底樋）についても改修を行う。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農業用排水施設	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4						(") —	(") 6.4	
計	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4						(") —	(") 6.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

変更なし

本地区では、現在作付けされている水稻を今後も作付けしていく計画である。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用排水施設	現 況	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
	計 画	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
計	現 況	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	
	計 画	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") 6.4	

3. 作付方式 変更なし

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
農業用排水施設	現 況	水稻＋畑作物	輪換田				水稻												水稻																					
		畑																																						
		樹園地																																						
	計 画	水稻＋畑作物	輪換田				水稻													水稻																				
		畑																																						
		樹園地																																						

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収 量 増 加	
				(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	
農業用排水施設	輪換田	表 作	水 稲	(〃) 6.1	(〃) 6.1	(〃) —	(〃) 100.0	(〃) 100.0	(〃) 533	(〃) 533	(〃) —	(〃) 32.5	(〃) 32.5	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
		裏 作															
	畑	春夏作															
		秋冬作															
樹園地																	
合 計				(〃) 6.1	(〃) 6.1	(〃) —	(〃) 100.0	(〃) 100.0									

※表内の作付率は本地面積（現況6.1ha，計画6.1ha）に対する割合である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設	輪換田	水 稲	(") 6.1	人 力	(") 19.83	(") 16.70	(") △ 3.13	
				機 械	(") 5.97	(") 5.97	(") —	
	畑							
	樹園地							
	計		(") 6.1					

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

6. 級地別土地利用区分

変更なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

変更なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

変更なし

計画基準年……………1997年

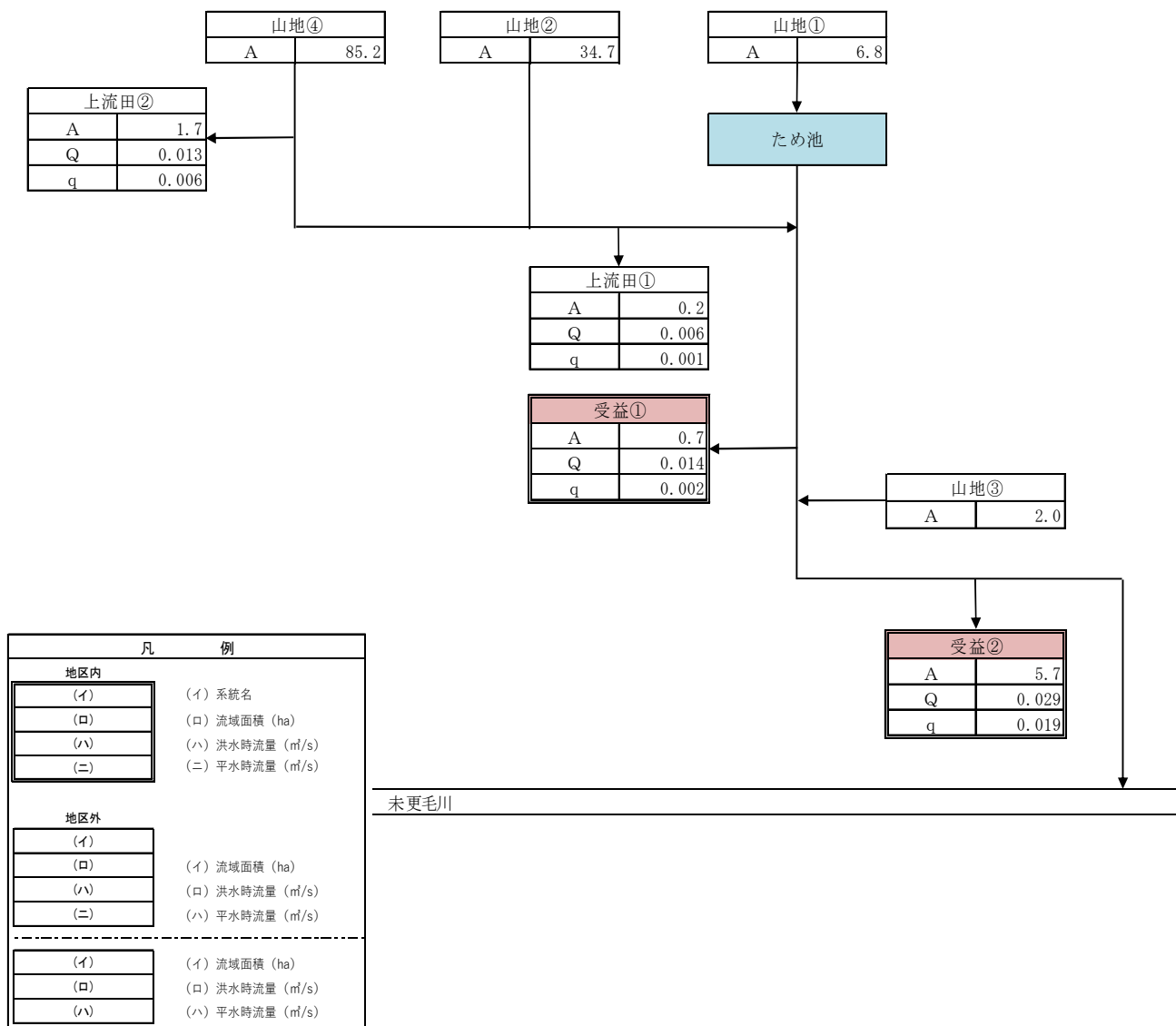
連続干天日数27日

2. 計画かんがい方式

変更なし

かんがい方式……………開水路によるかんがい

(1) 計画用水系統



4. 計画用水量
(1) かんがい用水 変更なし

系統名	項目 種別	面 積 (ha)				水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい		
		事 業 名				普通期	代掻期	面 積 (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 か 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積	一 日 当 た り 計 画 平 均 か 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積
		農業用 用排水 施 設			計	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 掻単位 用水量 (mm/日)		(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)
神 田 谷	用水	(") 6.4			(") 6.4	(") 21	(") 150	(") 6.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —
計		(") 6.4			(") 6.4			(") 6.4			(") —			(") —

(第10表-1-1)

その他		消 費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	面 積 (ha)			平 均 (m³/s)	最 大 (m³/s)	
(") —	(") —	(") 0.037	(") 15	(") 0.013	(") 0.043	
—	—	0.037		0.013	0.043	

※消費水量は代掻期の値、粗用水量の平均値は出穂開花期、最大値は代掻期の値とした。

(2) 営農飲雑用水
変更なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					
		該 当 事			項	な し			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

変更なし

(第10表-2)

項目 区分		消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源 工種	備考
						水 源 名	取水地点 利用 可能量	圃場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
事業名		a (千㎡)	b (千㎡)	c=a-b (千㎡)	d=c/(1-a) (千㎡)	該 当	事 項	な し				(千㎡)		損失率 α
計														

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

変更なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (k㎡)		かんがい面積 (h a)			純貯水量 (千㎡)	利用貯水量 (千㎡)	利用回数 (回)	最大取水量 (㎡/s)	備 考
	直接	間接	事業 名							
			用排水		計					
神田谷	(") 0.068	(") －	(") 6.4		(") 6.4	(") 5.4	(") 5.4	(") －	(") 0.035	
計	(") 0.068	(") －	(") 6.4		(") 6.4	(") 5.4	(") 5.4	(") －	(") 0.035	

(イ) 井堰及び自然取入口

変更なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (h a)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
					計				
			該 当 事 項 な し						
計									

(ウ) 揚水機

変更なし

(第10表-5)

項 目 名 称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名		最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
			計							
			該 当	事 項 な し						

(エ) 用水路

変更なし

(第10表-6)

項 目	かんがい面積(ha)			最 大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
			計				
			該 当 事 項	な し			

(オ) その他の水源施設

変更なし

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温
変更なし

(第10表-7)

時 間 別	か ん が い 面 積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項	な し		

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量
変更なし

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式
変更なし

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統
変更なし

該 当 事 項 な し

4. 計画排水量
変更なし

(第11表-1)

項目 排水系統名	受 益 面 積 (ha)				流 域 面 積		基準 雨量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量		基底流出量		全排水量(m³/s)			単位排水量		
	事 業 名				(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		山地	平地		(m³/s/km²)		
				計	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
							該 当 事 項 な し										
計																	

5. 排水対策
(1) 排水水門
変更なし

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
					該 当 事 項 な し					
計										

(2) 排水機
変更なし

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
					該 当 事 項 な し						
計											

(3) 排水路
変更なし

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
					該	当	事	項	な	し	
計											

(4) その他
変更なし

該 当 事 項 な し

6. たん水検討
変更なし

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

変更なし

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 索 道 変更なし

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

変更なし

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

変更なし

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
		該 当	事 項 な し		

(2) 末端道水路配置図

変更なし

2. 土壌改良

変更なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCI			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
				該 当	事 項 な し					

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

変更なし

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

変更なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
				該 当	事 項 な し					

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
神田谷	(") 0.068	(") —	(") 1.8	(") 5.4	(") —	(") —	(") —	(") —	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

変更なし

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

変更なし

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

変更なし

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

変更なし

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

変更なし

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

変更なし

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

変更なし

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備 考
		該 当	事 項 な し			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状
変更なし

(第16表-1)

長 辺× 短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 表土扱い

変更なし

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m³)	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図

変更なし

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

変更なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{m^3}{s/ha}$)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
	事	業	名						
			計						
				該 当 事 項	な	し			
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

変更なし

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事	業	名			
			計			
				該 当 事 項	な	し
計						

3. 客 土

変更なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土壌の性質		備 考
	事	業	名		現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
				該 当 事 項	な	し						
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

変更なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	該 当 事 項	な	し	

(2) 排水工

変更なし

(第16表-5-2)

項目 名称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m^3/s)	
		該 当 事 項	な	し		

(3) 侵食(崩壊)防止工

変更なし

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
	該 当 事 項	な	し	

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

変更なし

1 / 200 年確率.....73.1mm/hr

(2) 計画洪水量

変更なし

1.8m³/s

2. 堤体補強計画

変更なし

豪雨対策.....洪水吐工の改修

地震対策.....築堤盛土による耐震性の確保

3. 取水施設改修計画

変更なし

老朽化により取水困難であるため、取水施設（斜樋および底樋）の改修

斜樋 Φ200

底樋 Φ800

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	神田谷			位置	福井市羽坂町地係					備 考
型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地質	貯水量 (千m ³)			
	直接	間接					総貯水量	有効貯水量		
堤 体	(")	(")	(")	(")	(")	(")	(")	(")	(")	
	均一型	0.068	－	6.0	34.0	2.1	粘質・礫質	5.4	5.4	
洪水吐	型 式		洪水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	
	(") 越流堰		(") 1.80		(") 斜樋	(") 0.035		(") －	(") －	

2. 頭首工

変更なし

(第17表-2)

名 称				位 置				備 考
型 式	提 高 (m)	提 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付帯施設	
		固 定 部	可 動 部	計				
			該 当 事 項	な し				

3. 揚水機

変更なし

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (kW)	台 数 (台)	
				該 当 事 項	な し						

4. 用水路

変更なし

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
				該	当	事	項	な	し		
計											

5. その他かんがい施設

変更なし

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

変更なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m³/s)	備考
			該 当 事 項 な し				
計							

2. 排水機

変更なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m³/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
				該 当 事 項 な し							
計											

3. 排水路

変更なし

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
				該 当 事 項 な し							
計											

4. その他排水施設

変更なし

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

変更なし

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
			該 当 事 項	な し						
計										

(2) 道路主要構造物

変更なし

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
			該 当 事 項	な し	

2. 索 道

変更なし

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
			該 当 事 項	な し		

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

変更なし

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

(2) 除 礫

変更なし

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し	
計					

(3) 開墾作業

変更なし

(第20表-3)

区 分 \ 項 目		面 積	工 法	備 考
地 目	造成工法	(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

(4) 地目変換

変更なし

(第20表-4)

区 分 \ 項 目		面 積	工 法	備 考
地 目	造成工法	(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

(5) 末端用水路等

変更なし

(第20表-5)

区 分 \ 項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		
計					

(6) 末端排水路等

変更なし

(第20表-6)

区 分 \ 項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		
計					

2. 土壌改良

変更なし

(第20表-7)

区 分 \ 項 目		面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
地 目	造成工法	(ha)	(t)	(t)	(t)	
		該 当	事 項 な し			
計						

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

変更なし

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

変更なし

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)		計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤	固定部	可動部			
型式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)			計			
			該	当	事	項	な	し

(2) 導水路

変更なし

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m³/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
				該 当	事 項 な し		

第6節 干拓施設

1. 堤 防

変更なし

(第22表-1)

項目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造					原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	
				該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め

変更なし

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
					</		

3. 付属施設

変更なし

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

変更なし

(第22表-3)

区分	項目 面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m³)	施工方法	備考
		該 当 事 項 な し			

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理 変更なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m³)	面 積(ha)	土 量(m³)	
		該 当 事 項 な し				

(2) 末端用水路等

変更なし

(第23表-2)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し			

(3) 末端排水路等

変更なし

(第23表-3)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し			

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

変更なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
					該 当 事 項 な し												
計																	

(2) 心土破碎
変更なし

(第23表-4-2)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

3. 客 土
変更なし

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (千m ³)	土取場土量 (千m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事 業 名	計						
				該 当 事 項	な し				
計									

4. 除 礫
変更なし

(第23表-6)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

5. 農地保全
(1) 防風林
変更なし

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

(2) 排水路
変更なし

(第23表-8)

区分	項目 延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

(3) 侵食防止工
変更なし

(第23表-9)

名称	項目 構 造	数 量	備 考
		該 当 事 項	な し
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称 神田谷					位 置 福井市羽坂町地係			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
	(") 均一型	(") 0.068	(") 6.0	(") 34.0	(") 2,074	(") 3.2	(") 5.4	
洪水 吐	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考
	越流堰	(") 1.8	(") 2.0			(") 斜樋	(") 0.035	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

変更なし

張りブロック

(2) 漏水防止工

変更なし

全面改修

第6章 附帯工事計画

変更なし

取水施設工（斜樋工、底樋工）

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換地区または工区	着 手	完 了 予 定	備 考
(") 全区	(") 令和 6 年度	(") 令和 9 年度	

第8章 環境との調和への配慮

変更なし

施工の際、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

ため池水辺空間にはトノサマガエル、シオカラトンボ 等、多様な生物が確認されていることから、水生生物に配慮した環境施設を配置する。また、外来種であるアメリカザリガニが確認されたことから、施工中の落水時には下流に流下しないよう防止、駆除を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

変更なし

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

変更なし

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由

変更なし

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

変更なし

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 用途別予定地積
変更なし

用途 (取得 予定者)		非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地													
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施行地域に 含める土地（令第1条 の9（ ）書き）			計	本事業によって 生ずる土地改良 施 設 用 地			創 設 農 用 地	合 計	
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			
換地区 名	前・ 後														

(単位：ha) (第2.5表-3)

非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地									機 能 交 換 に 係 る 土 地					一 般 国 公 有 地	総 合 計
特 定 用 途 用 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計		
宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計							

3 農用地集団化の方針

変更なし

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項	な し	

4 非農用地の換地方法

変更なし

該 当 事 項 な し

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評 価 の 方 法

変更なし

該 当 事 項 な し

2 清 算 の 方 法

変更なし

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

変更なし

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項	な し	

第6節 換地処分の時期に関する特則
変更なし

該 当 事 項 な し

事業名 区 分		農業用排水施設	備 考
(")		(44,600)	(5) 令和 7 年度単価
堤体工		91,600 千円	
(")		(")	
洪水吐工		7,400 "	
(")		(")	
取水施設工		10,500 "	
(")		(")	
仮設工		19,500 "	
(")		(")	
浚渫工		5,000 "	
小 計		(87,000) 134,000 "	
(")		(10,000)	
測量試験費		13,000 "	
(")		(")	
用地買収補償費		3,000 "	
小 計		(13,000) 16,000 "	
計		(100,000) 150,000 "	
総事業費		(100,000) 150,000 "	
関連事業(参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農業用排水施設	食料の安定供給の確保 に 関 す る 効 果	(3,019) 5,702	(△ 9) △ 11	
	作 物 生 産 効 果	(3,404) 4,228	(") —	
	営農経費節減効果	(△ 322) 1,547	(") —	
	維持管理費節減効果	(△ 63) △ 73	(△ 9) △ 11	
	農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 す る 効 果	(") 1,730	(") —	
	災 害 防 止 効 果 (農 業 資 産)	(") 1,730	(") —	
	農 村 の 振 興 に 関 す る 効 果	(") 2,713	(") —	
	災 害 防 止 効 果 (一 般 資 産)	(") 2,713	(") —	
	多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 す る 効 果	(") 293	(") —	
	災 害 防 止 効 果 (公 共 資 産)	(") 293	(") —	
	そ の 他 効 果	(801) 796	(") —	
	国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	(801) 796	(") —	
	計	(8,556) 11,234	(△ 9) △ 11	(5) 令和 7 年度単価

(152,091)
 総費用(現在価値化) : 229,449 千円
 (167,168)
 総便益額(現在価値化) : 243,679 千円
 (1.09)
 総費用総便益比 : 1.06 ≥ 1.00
 (")
 総所得償還率 : — % ≤ 20 %
 (")
 増加所得償還率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

変更なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (h a)	備 考
		該 当 事 項 な し		

第13章 現 況・計 画 図 面

別途添付

1. 計 画 平 面 図

効 果 算 定 調 査 表

神 田 谷 地 区
(農 業 用 水 路)

福 井 県

地 区 の 概 要

神田谷地区

項 目	内 容	備 考																																											
地 区 概 要	本ため池(神田谷)の造成年は不明であるが、平成15年頃、市単独事業にて改修された農業用のため池であり、約6.4haの農地をかんがいしている。令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されておりこの法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。 本事業により老朽化したため池の改修を実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、地域住民の安全と安定的な農業経営を図り、早急かつ計画的に事業を推進していく。																																												
計 画 内 容	(本 地 区)農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業 <table><tr><th>工 種</th><th>数 量</th><th>規格・規模等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>た め 池 改 修</td><td>1.0 式</td><td>築堤盛土、洪水吐・取水施設改修</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工 種	数 量	規格・規模等	備 考	た め 池 改 修	1.0 式	築堤盛土、洪水吐・取水施設改修																																					
工 種	数 量	規格・規模等	備 考																																										
た め 池 改 修	1.0 式	築堤盛土、洪水吐・取水施設改修																																											
受 益 区 域	<table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="2">田 (ha)</th><th colspan="2">畑 (ha)</th><th colspan="2">計 (ha)</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>現 況</th><th>計 画</th><th>現 況</th><th>計 画</th><th>現 況</th><th>計 画</th></tr><tr><td>用 水 受 益</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td>—</td><td>—</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td>—</td><td>—</td><td>6.4</td><td>6.4</td></tr></table>	工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画	用 水 受 益	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																計	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4	
工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考																																						
	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画																																							
用 水 受 益	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																																							
計	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																																							

営 農 状 況 及 び 営 農 計 画

神田谷地区

項 目	内 容	備 考
営 農 計 画 概 要	1. 農業経営の状況及び計画 本地区の農業経営は個別経営となっており、今後も個別で営農を行っていく予定である。	
	2. 作付状況及び計画	
	(1) 作付状況 本地区では、水稻を作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。	
	(2) 作付計画 本地区では、現状で作付けしている作物を継続することで地元合意を得ている。	

総 費 用 対 象 施 設 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容												備 考
総費用 対象施設	・ 現況の余水吐はB900×H800の開水路であり、1/200年確率雨量の排水能力に欠けている。 ・ 現況取水施設は取水のための調整ゲートがないので、適切な配水が難しく営農に支障を来している。 ・ 底樋はφ300と小さく、ため池の管理が不十分である。大雨時の緊急放流ができないため、危険な状態である。												
	区分	施設 番号	施 設 名	管理団体名	設置 年度	供用 開始 年度	大 改修 年度	施 設 の 概 要 構造・数量・機能	耐用 年数	整備区分及び内容			
									事業 区分	整備区分	整 備 理 由	事業 主体	
	団体営造成	1-1	ため池	羽坂町	S. 6	S. 7	—	ため池 V=5, 700m3	80	関連施設	既設利用	—	団体営
	県営造成	2-2	ため池(構造物)	羽坂町	R. 9	R. 10	—	洪水吐他	40	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営
	県営造成	3-2	ため池(その他)	羽坂町	R. 9	R. 10	—	堤体 V=5, 400m3	80	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営
	団体営造成	4	末端用水路	羽坂町	H. 5	H. 6	—	BF300～400 L=2, 340. 0m	30	関連施設	既設利用	—	団体営
												—	

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考													
作物生産効果	1. 諸 元 の 整 理														
	【 作 物 単 収 】 最近 5 ヶ年の単収の加重平均値をもって現況単収とした。（「農林水産統計年報」参照）なお「水稻」については関係市町の単収を採用した。その他作物については、関係市町において「指定産地」となっている作物については、関係市町の単収、その他の作物については福井県の単収を採用した。														
	【 作 物 単 価 】 作物単価については最近 5 ヶ年の単価に消費者物価指数を乗じて算出した相対平均価格を採用した。なお、水稻については福井県農村振興課の調査による 5 ヶ年のデータを採用した。その他作物については農業物価統計調査における 5 ヶ年の全国データを採用した。（「農業物価統計調査」参照）														
	【純益率・所得率】 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和 5 年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）														
	【 本 地 率 】 現況については、地区の標準区画における本地率の算定値を採用した。また計画については、計画本地率＝現況本地率とした。（「別添作物生産効果」参照） <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">本 地 率</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>現 況</th><th>計 画</th></tr><tr><td>3 0 a 区画</td><td>96.0 %</td><td>96.0 %</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	区 分	本 地 率		摘 要	現 況	計 画	3 0 a 区画	96.0 %	96.0 %					
区 分	本 地 率		摘 要												
	現 況	計 画													
3 0 a 区画	96.0 %	96.0 %													

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考																																																												
作物生産効果	2. 本地区において発生する効果																																																													
	【更新効果】																																																													
	・概要 農業用排水路の更新により、現況で発揮されている「効果」が今後も継続して発揮されることから、当該効果を計上する。効果の発生割合については「改訂版 新たな土地改良の効果算定マニュアル」に基づく。																																																													
	・効果発生面積 用排水受益の現況作付面積とする。																																																													
	・増収率																																																													
	<table><tr><th>効果要因</th><th>対象作物</th><th>増収率(%)</th><th>記号</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>水管理改良</td><td>水稻</td><td>58.0</td><td>水管理-3</td><td>通達資料</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料																																																		
	効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要																																																									
	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料																																																									

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考		
営農経費 節減効果	1. 諸 元 の 整 理			
	【 労 務 単 価 】			
	北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和5年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）			
	<table><tr><td>労務単価</td><td>1,703 円/hr</td></tr></table>	労務単価	1,703 円/hr	
	労務単価	1,703 円/hr		
	【 機械稼働単価 】			
	福井県土地改良事業諸元調査に基づき、地区の農業経営状況を考慮して算定した。			
	2. 本地区において発生する効果			
	【新設・機能向上効果】			
	該当事項なし			
【更 新 効 果】				
○用排水管理時間の増減				
・ 概 要				
「用排水なかりせば」において用排水施設の機能がなくなることにより、用排水管理に要する労働時間が変動するため、当該効果を計上する。				
・ 効果発生面積				
用排水受益における現況作付け面積とする。ただし、純益率及び所得率の標準値を使用していない作物については対象外とする。				

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考											
維持管理費 節 減 効 果	1. 諸 元 の 整 理 【 労 務 単 価 】 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 (「令和5年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照) <table><tr><td rowspan="5">労務単価</td><td>1,520 円/hr</td><td>R1</td></tr><tr><td>1,526 円/hr</td><td>R2</td></tr><tr><td>1,490 円/hr</td><td>R3</td></tr><tr><td>1,638 円/hr</td><td>R4</td></tr><tr><td>1,703 円/hr</td><td>R5</td></tr></table>	労務単価	1,520 円/hr	R1	1,526 円/hr	R2	1,490 円/hr	R3	1,638 円/hr	R4	1,703 円/hr	R5	
	労務単価		1,520 円/hr	R1									
			1,526 円/hr	R2									
			1,490 円/hr	R3									
			1,638 円/hr	R4									
		1,703 円/hr	R5										
	2. 維持管理の考え方												
	○更新施設												
	・現 況 既往年経費の平均値を採用する。												
	・なかりせば 既往年経費のうち安全管理・財産管理に必要な経費とする。												
・ありせば 計画年経費（福井県 諸元調査より）を採用する。													
○新設施設													
・現 況 該 当 な し													
・なかりせば 該 当 な し													
・ありせば 該 当 な し													

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考	
災 害 防 止 効 果	1. 災害発生要因 当該施設は、堤体の耐震アウト、基準値以上の漏水発生、斜樋ゲートの開閉不能が問題となっている。この施設状態において地震が発生した際、堤体の崩壊・洪水が発生し、下流農地及び住宅に被害が及ぶため、その被害額を算定する。		
	○越流量 <table><tr><td>越流量</td><td>19.6 m3/s</td></tr></table>	越流量	19.6 m3/s
越流量	19.6 m3/s		

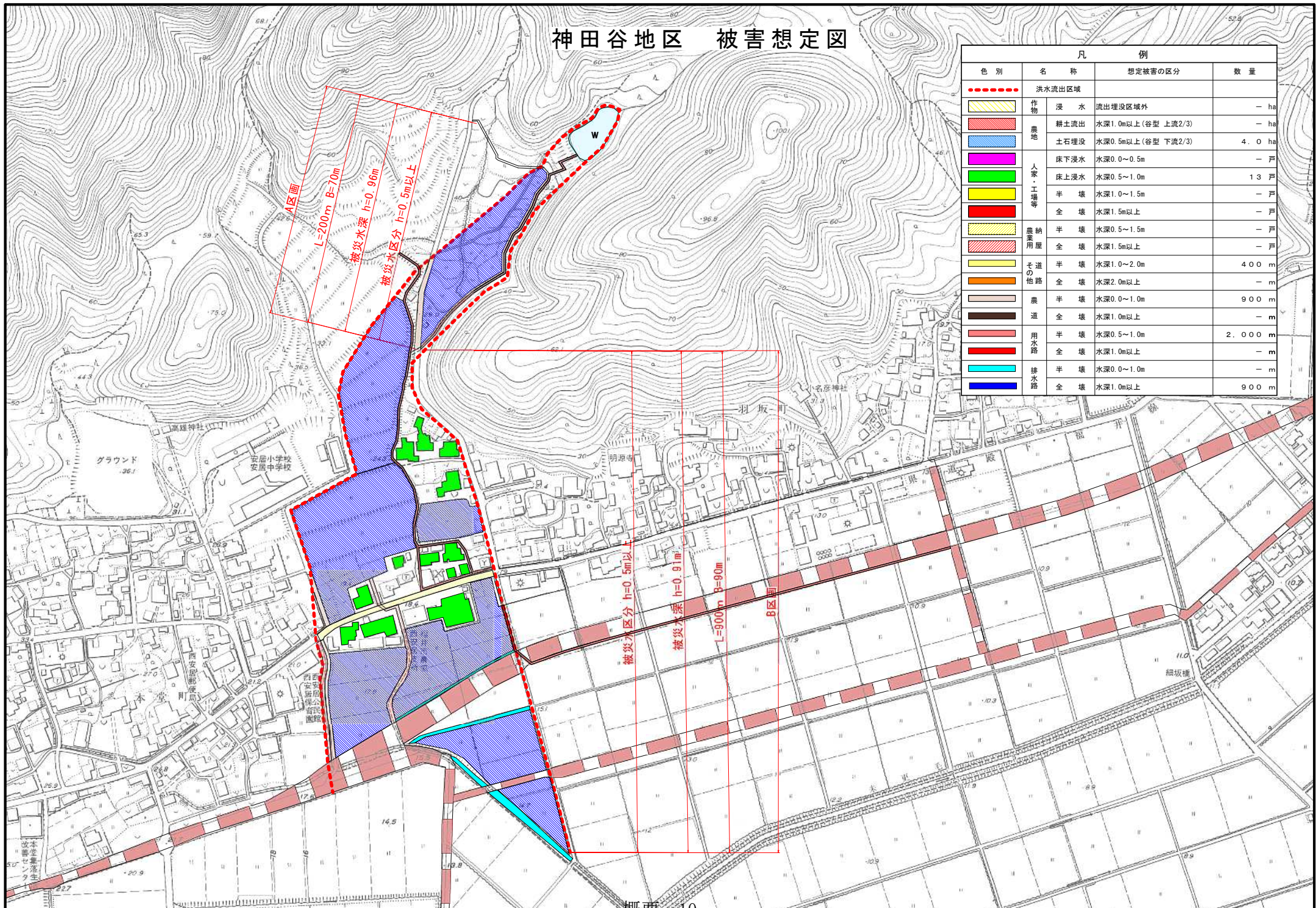
本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考
国産農産物 安定供給 効果	1. 諸 元 の 整 理 【 原 単 位 】 当該効果における減単位は次のとおりとする。 単位食料生産額当り効果額 49 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)	
	2. 本地区において発生する効果 本地区では、今後も食料生産を継続するとともに、計画において生産量が増減することから、当該効果を計上する。	

神田谷地区 被害想定図

凡 例			
色 別	名 称	想定被害の区分	数 量
-----	洪水流出区域		
斜線	作物	浸 水	流出埋没区域外
斜線	農地	耕土流出	水深1.0m以上(谷型 上流2/3)
斜線		土石埋没	水深0.5m以上(谷型 下流2/3)
斜線	人家・工場等	床下浸水	水深0.0~0.5m
斜線		床上浸水	水深0.5~1.0m
斜線		半 壊	水深1.0~1.5m
斜線		全 壊	水深1.5m以上
斜線	農業用屋	半 壊	水深0.5~1.5m
斜線		全 壊	水深1.5m以上
斜線	その他路	半 壊	水深1.0~2.0m
斜線		全 壊	水深2.0m以上
斜線	農 道	半 壊	水深0.0~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上
斜線	用水路	半 壊	水深0.5~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上
斜線	排水路	半 壊	水深0.0~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上



総 費 用 総 便 益 比
及 び 所 得 償 還 率

1. 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第1表)

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 費 用 (現 在 価 値 化)	③=①+②	152,091 千円	
当 該 事 業 に よ る 費 用	①	83,048 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	69,043 千円	
年 償 還 額	④	－ 千円/年	
う ち 機 能 向 上 分	④'	－ 千円/年	
年 総 効 果 (便 益) 額	⑤	8,556 千円	
現 況 年 総 農 業 所 得 額	⑥	1,904 千円	
年 総 増 加 農 業 所 得 額	⑦	-9 千円	
評 価 期 間 (当 該 事 業 の 工 事 期 間 +40 年)		44 年	工事期間 4 年 + 40 年 間
割 引 率		0.04	
総 便 益 額 (現 在 価 値 化)	⑧	167,168 千円	
総 費 用 総 便 益 比	⑨=⑧÷③	1.09	≥1.00
総 所 得 償 還 率	⑩=④ ÷ ⑥ × 100	－ %	≤20.0%
増 加 所 得 償 還 率	⑪=④' ÷ ⑦ × 100	－ %	≤40.0%

2. 総費用の総括

(単位:千円) (第2表)

費用区分 区分・施設番号・整備区分・施設名			事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全 ・再整備費 ④	評価期間 修了 時点の 資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④-⑤	備考
当該事業	1-1	ため池	—	—	—	—	—	0	
	2-2	ため池(構造物)	—	17,294	—	3,433	3,433	17,294	
	3-2	ため池(その他)	—	65,754	—	—	4,939	60,815	
	4	末端用水路	32,708	—	—	44,504	3,230	73,982	
			—	—	—	—	—	0	
		計	32,708	83,048	—	47,937	11,602	152,091	
造成 その他 施設									
		計							
合 計			32,708	83,048	—	47,937	11,602	152,091	

3. 年総効果額及び年総増加農業所得額の総括

(第3表)

区 分 効果項目	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額		備 考
			う ち 機 能 向 上 分	
食糧の安定供給の確保に関する効果	3,019	△9	△9	
作物生産効果	3,404	—	—	
営農経費節減効果	△322	—	—	
維持管理費節減効果	△63	△9	△9	
農業の持続的発展に関する効果	1,730	—	—	
災害防止効果（農業資産）	1,730	—	—	
農村の振興に関する効果	2,713	—	—	
災害防止効果（一般資産）	2,713	—	—	
多面的機能の発揮に関する効果	293	—	—	
災害防止効果（公共資産）	293	—	—	
その他の効果	801	—	—	
国産農産物安定供給効果	801	—	—	
合 計	8,556	△9	△9	

4. 農家負担年償還額の総括

(第4表)

事業名		事業費 A	負担率(%)				農家負担額 C=A×B	年賦金率 D	農家負担 年償還額 E=C×D	備考
			国	県	市町	地元 B				
当 該 事 業	ため池等整備事業(防災重点緊急整備型)	100,000	55.0	35.0	10.0	—	—			
	計	100,000					—		—	
関 連 事 業										
	計	—					—		—	
合 計		100,000					—		—	

５．総便益算出表

(第5表)

評 価 期 間	年 度	割引率 (1+割引率)	経 過 年	作物生産効果						営農経費節減効果						維持管理費節減効果						災害防止効果（農業資産）								
				更新分に係る効果			新設及び機能向上分に係る効果			計			更新分に係る効果			新設及び機能向上分に係る効果			計			更新分に係る効果			新設及び機能向上分に係る効果			計		
				年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生	年効	年効	効果発生
				果額	果額	割合	効果額	果額	割引後	果額	果額	割合	効果額	果額	割引後	果額	果額	割合	効果額	果額	割引後	果額	果額	割合	効果額	果額	割引後	果額	果額	割合
				B (千円)	C (千円)	D (%)	E=C×D (千円)	F=B+E (千円)	G=F/A (千円)	B (千円)	C (千円)	D (%)	E=C×D (千円)	F=B+E (千円)	G=F/A (千円)	B (千円)	C (千円)	D (%)	E=C×D (千円)	F=B+E (千円)	G=F/A (千円)	B (千円)	C (千円)	D (%)	E=C×D (千円)	F=B+E (千円)	G=F/A (千円)	B (千円)	C (千円)	D (%)
0	R.5	1.0000	0																											
1	R.6	1.0400	1	3.404	0	0.0	0	3.404	3.273	△322		0	0.0	0	△322	△310	△54	△9	0.0	0	△54	△52	0	1.730	0.0	0				
2	R.7	1.0816	2	3.404	0	35.0	0	3.404	3.147	△322	0	35.0	0	△322	△298	△54	△9	35.0	△3	△57	△53	0	1.730	35.0	606	606	560			
3	R.8	1.1249	3	3.404	0	70.0	0	3.404	3.026	△322	0	70.0	0	△322	△286	△54	△9	70.0	△6	△60	△53	0	1.730	70.0	1,211	1,211	1,077			
4	R.9	1.1699	4	3.404	0	100.0	0	3.404	2.910	△322	0	100.0	0	△322	△275	△54	△9	100.0	△9	△63	△54	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,479			
5	R.10	1.2167	5	3.404	0	100.0	0	3.404	2.798	△322	0	100.0	0	△322	△265	△54	△9	100.0	△9	△63	△52	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,422			
6	R.11	1.2653	6	3.404	0	100.0	0	3.404	2.690	△322	0	100.0	0	△322	△254	△54	△9	100.0	△9	△63	△50	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,367			
7	R.12	1.3159	7	3.404	0	100.0	0	3.404	2.587	△322	0	100.0	0	△322	△245	△54	△9	100.0	△9	△63	△48	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,315			
8	R.13	1.3686	8	3.404	0	100.0	0	3.404	2.487	△322	0	100.0	0	△322	△235	△54	△9	100.0	△9	△63	△46	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,264			
9	R.14	1.4233	9	3.404	0	100.0	0	3.404	2.392	△322	0	100.0	0	△322	△226	△54	△9	100.0	△9	△63	△44	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,215			
10	R.15	1.4802	10	3.404	0	100.0	0	3.404	2.300	△322	0	100.0	0	△322	△218	△54	△9	100.0	△9	△63	△43	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,169			
11	R.16	1.5395	11	3.404	0	100.0	0	3.404	2.211	△322	0	100.0	0	△322	△209	△54	△9	100.0	△9	△63	△41	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,124			
12	R.17	1.6010	12	3.404	0	100.0	0	3.404	2.126	△322	0	100.0	0	△322	△201	△54	△9	100.0	△9	△63	△39	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,081			
13	R.18	1.6651	13	3.404	0	100.0	0	3.404	2.044	△322	0	100.0	0	△322	△193	△54	△9	100.0	△9	△63	△38	0	1.730	100.0	1,730	1,730	1,039			
14	R.19	1.7317	14	3.404	0	100.0	0	3.404	1.966	△322	0	100.0	0	△322	△186	△54	△9	100.0	△9	△63	△36	0	1.730	100.0	1,730	1,730	999			
15	R.20	1.8009	15	3.404	0	100.0	0	3.404	1.890	△322	0	100.0	0	△322	△179	△54	△9	100.0	△9	△63	△35	0	1.730	100.0	1,730	1,730	961			
16	R.21	1.8730	16	3.404	0	100.0	0	3.404	1.817	△322	0	100.0	0	△322	△172	△54	△9	100.0	△9	△63	△34	0	1.730	100.0	1,730	1,730	924			
17	R.22	1.9479	17	3.404	0	100.0	0	3.404	1.748	△322	0	100.0	0	△322	△165	△54	△9	100.0	△9	△63	△32	0	1.730	100.0	1,730	1,730	888			
18	R.23	2.0258	18	3.404	0	100.0	0	3.404	1.680	△322	0	100.0	0	△322	△159	△54	△9	100.0	△9	△63	△31	0	1.730	100.0	1,730	1,730	854			
19	R.24	2.1068	19	3.404	0	100.0	0	3.404	1.616	△322	0	100.0	0	△322	△153	△54	△9	100.0	△9	△63	△30	0	1.730	100.0	1,730	1,730	821			
20	R.25	2.1911	20	3.404	0	100.0	0	3.404	1.554	△322	0	100.0	0	△322	△147	△54	△9	100.0	△9	△63	△29	0	1.730	100.0	1,730	1,730	790			
21	R.26	2.2788	21	3.404	0	100.0	0	3.404	1.494	△322	0	100.0	0	△322	△141	△54	△9	100.0	△9	△63	△28	0	1.730	100.0	1,730	1,730	759			
22	R.27	2.3699	22	3.404	0	100.0	0	3.404	1.436	△322	0	100.0	0	△322	△136	△54	△9	100.0	△9	△63	△27	0	1.730	100.0	1,730	1,730	730			
23	R.28	2.4647	23	3.404	0	100.0	0	3.404	1.381	△322	0	100.0	0	△322	△131	△54	△9	100.0	△9	△63	△26	0	1.730	100.0	1,730	1,730	702			
24	R.29	2.5633	24	3.404	0	100.0	0	3.404	1.328	△322	0	100.0	0	△322	△126	△54	△9	100.0	△9	△63	△25	0	1.730	100.0	1,730	1,730	675			
25	R.30	2.6658	25	3.404	0	100.0	0	3.404	1.277	△322	0	100.0	0	△322	△121	△54	△9	100.0	△9	△63	△24	0	1.730	100.0	1,730	1,730	649			
26	R.31	2.7725	26	3.404	0	100.0	0	3.404	1.228	△322	0	100.0	0	△322	△116	△54	△9	100.0	△9	△63	△23	0	1.730	100.0	1,730	1,730	624			
27	R.32	2.8834	27	3.404	0	100.0	0	3.404	1.181	△322	0	100.0	0	△322	△112	△54	△9	100.0	△9	△63	△22	0	1.730	100.0	1,730	1,730	600			
28	R.33	2.9987	28	3.404	0	100.0	0	3.404	1.135	△322	0	100.0	0	△322	△107	△54	△9	100.0	△9	△63	△21	0	1.730	100.0	1,730	1,730	577			
29	R.34	3.1187	29	3.404	0	100.0	0	3.404	1.091	△322	0	100.0	0	△322	△103	△54	△9	100.0	△9	△63	△20	0	1.730	100.0	1,730	1,730	555			
30	R.35	3.2434	30	3.404	0	100.0	0	3.404	1.050	△322	0	100.0	0	△322	△99	△54	△9	100.0	△9	△63	△19	0	1.730	100.0	1,730	1,730	533			
31	R.36	3.3731	31	3.404	0	100.0	0	3.404	1.009	△322	0	100.0	0	△322	△95	△54	△9	100.0	△9	△63	△19	0	1.730	100.0	1,730	1,730	513			
32	R.37	3.5081	32	3.404	0	100.0	0	3.404	970	△322	0	100.0	0	△322	△92	△54	△9	100.0	△9	△63	△18	0	1.730	100.0	1,730	1,730	493			
33	R.38	3.6484	33	3.404	0	100.0	0	3.404	933	△322	0	100.0	0	△322	△88	△54	△9	100.0	△9	△63	△17	0	1.730	100.0	1,730	1,730	474			
34	R.39	3.7943	34	3.404	0	100.0	0	3.404	897	△322	0	100.0	0	△322	△85	△54	△9	100.0	△9	△63	△17	0	1.730	100.0	1,730	1,730	456			
35	R.40	3.9461	35	3.404	0	100.0	0	3.404	863	△322	0	100.0	0	△322	△82	△54	△9	100.0	△9	△63	△16	0	1.730	100.0	1,730	1,730	438			
36	R.41	4.1039	36	3.404	0	100.0	0	3.404	829	△322	0	100.0	0	△322	△78	△54	△9	100.0	△9	△63	△15	0	1.730	100.0	1,730	1,730	422			
37	R.42	4.2681	37	3.404	0	100.0	0	3.404	798	△322	0	100.0	0	△322	△75	△54	△9	100.0	△9	△63	△15	0	1.730	100.0	1,730	1,730	405			
38	R.43	4.4388	38	3.404	0	100.0	0	3.404	767	△322	0	100.0	0	△322	△73	△54	△9	100.0	△9	△63	△14	0	1.730	100.0	1,730	1,730	390			
39	R.44	4.6164	39	3.404	0	100.0	0	3.404	737	△322	0	100.0	0	△322	△70	△54	△9	100.0	△9	△63	△14	0	1.730	100.0	1,730	1,730	375			
40	R.45	4.8010	40	3.404	0	100.0	0	3.404	709	△322	0	100.0	0	△322	△67	△54	△9	100.0	△9	△63	△13	0	1.730	100.0	1,730	1,730	360			
41	R.46	4.9931	41	3.404	0	100.0	0	3.404	682	△322	0	100.0	0	△322	△64	△54	△9	100.0	△9	△63	△13	0	1.730	100.0	1,730	1,730	346			
42	R.47	5.1928	42	3.404	0	100.0	0	3.404																						

５．総便益算出表

(第5表)

評 価 期 間	年 度	割引率 (1+割引率)	経 過 年	災 害 防 止 効 果 (一 般 資 産)						災 害 防 止 効 果 (公 共 資 産)						国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果						割 引 後 効 果 額 合 計 H=ΣG (千円)
				更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		
				年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	年 効 同 左 果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	年 効 同 左 果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	年 効 同 左 果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	
0	R.5	1.0000	0																			
1	R.6	1.0400	1	0	2,713	0.0	0			0	293	0.0	0			801	0	0.0	0	801	770	
2	R.7	1.0816	2	0	2,713	35.0	950	950	878	0	293	35.0	103	103	95	801	0	35.0	0	801	741	
3	R.8	1.1249	3	0	2,713	70.0	1,899	1,899	1,688	0	293	70.0	205	205	182	801	0	70.0	0	801	712	
4	R.9	1.1699	4	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,319	0	293	100.0	293	293	250	801	0	100.0	0	801	685	
5	R.10	1.2167	5	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,230	0	293	100.0	293	293	241	801	0	100.0	0	801	658	
6	R.11	1.2653	6	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,144	0	293	100.0	293	293	232	801	0	100.0	0	801	633	
7	R.12	1.3159	7	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,062	0	293	100.0	293	293	223	801	0	100.0	0	801	609	
8	R.13	1.3686	8	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,982	0	293	100.0	293	293	214	801	0	100.0	0	801	585	
9	R.14	1.4233	9	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,906	0	293	100.0	293	293	206	801	0	100.0	0	801	563	
10	R.15	1.4802	10	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,833	0	293	100.0	293	293	198	801	0	100.0	0	801	541	
11	R.16	1.5395	11	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,762	0	293	100.0	293	293	190	801	0	100.0	0	801	520	
12	R.17	1.6010	12	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,695	0	293	100.0	293	293	183	801	0	100.0	0	801	500	
13	R.18	1.6651	13	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,629	0	293	100.0	293	293	176	801	0	100.0	0	801	481	
14	R.19	1.7317	14	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,567	0	293	100.0	293	293	169	801	0	100.0	0	801	463	
15	R.20	1.8009	15	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,506	0	293	100.0	293	293	163	801	0	100.0	0	801	445	
16	R.21	1.8730	16	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,448	0	293	100.0	293	293	156	801	0	100.0	0	801	428	
17	R.22	1.9479	17	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,393	0	293	100.0	293	293	150	801	0	100.0	0	801	411	
18	R.23	2.0258	18	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,339	0	293	100.0	293	293	145	801	0	100.0	0	801	395	
19	R.24	2.1068	19	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,288	0	293	100.0	293	293	139	801	0	100.0	0	801	380	
20	R.25	2.1911	20	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,238	0	293	100.0	293	293	134	801	0	100.0	0	801	366	
21	R.26	2.2788	21	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,191	0	293	100.0	293	293	129	801	0	100.0	0	801	352	
22	R.27	2.3699	22	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,145	0	293	100.0	293	293	124	801	0	100.0	0	801	338	
23	R.28	2.4647	23	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,101	0	293	100.0	293	293	119	801	0	100.0	0	801	325	
24	R.29	2.5633	24	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,058	0	293	100.0	293	293	114	801	0	100.0	0	801	312	
25	R.30	2.6658	25	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,018	0	293	100.0	293	293	110	801	0	100.0	0	801	300	
26	R.31	2.7725	26	0	2,713	100.0	2,713	2,713	979	0	293	100.0	293	293	106	801	0	100.0	0	801	289	
27	R.32	2.8834	27	0	2,713	100.0	2,713	2,713	941	0	293	100.0	293	293	102	801	0	100.0	0	801	278	
28	R.33	2.9987	28	0	2,713	100.0	2,713	2,713	905	0	293	100.0	293	293	98	801	0	100.0	0	801	267	
29	R.34	3.1187	29	0	2,713	100.0	2,713	2,713	870	0	293	100.0	293	293	94	801	0	100.0	0	801	257	
30	R.35	3.2434	30	0	2,713	100.0	2,713	2,713	836	0	293	100.0	293	293	90	801	0	100.0	0	801	247	
31	R.36	3.3731	31	0	2,713	100.0	2,713	2,713	804	0	293	100.0	293	293	87	801	0	100.0	0	801	237	
32	R.37	3.5081	32	0	2,713	100.0	2,713	2,713	773	0	293	100.0	293	293	84	801	0	100.0	0	801	228	
33	R.38	3.6484	33	0	2,713	100.0	2,713	2,713	744	0	293	100.0	293	293	80	801	0	100.0	0	801	220	
34	R.39	3.7943	34	0	2,713	100.0	2,713	2,713	715	0	293	100.0	293	293	77	801	0	100.0	0	801	211	
35	R.40	3.9461	35	0	2,713	100.0	2,713	2,713	688	0	293	100.0	293	293	74	801	0	100.0	0	801	203	
36	R.41	4.1039	36	0	2,713	100.0	2,713	2,713	661	0	293	100.0	293	293	71	801	0	100.0	0	801	195	
37	R.42	4.2681	37	0	2,713	100.0	2,713	2,713	636	0	293	100.0	293	293	69	801	0	100.0	0	801	188	
38	R.43	4.4388	38	0	2,713	100.0	2,713	2,713	611	0	293	100.0	293	293	66	801	0	100.0	0	801	180	
39	R.44	4.6164	39	0	2,713	100.0	2,713	2,713	588	0	293	100.0	293	293	63	801	0	100.0	0	801	174	
40	R.45	4.8010	40	0	2,713	100.0	2,713	2,713	565	0	293	100.0	293	293	61	801	0	100.0	0	801	167	
41	R.46	4.9931	41	0	2,713	100.0	2,713	2,713	543	0	293	100.0	293	293	59	801	0	100.0	0	801	160	
42	R.47	5.1928	42	0	2,713	100.0	2,713	2,713	522	0	293	100.0	293	293	56	801	0	100.0	0	801	154	
43	R.48	5.4005	43	0	2,713	100.0	2,713	2,713	502	0	293	100.0	293	293	54	801	0	100.0	0	801	148	
44	R.49	5.6165	44	0	2,713	100.0	2,713	2,713	483	0	293	100.0	293	293	52	801	0	100.0	0	801	143	
合 計 (総便益額)									50,786						5,485						16,459	167,168

6. 現況年総農業所得額の算定

(第6表)

計画地目	作物名	現況 作付面積 A (ha)	現況単収 B (kg/10a)	生産量 C=A*B (t)	生産物 単価 D (円/kg)	粗収益額 E=C*D (千円/t)	所得率 F (%)	現況年 総農業 所得額 G=E*F (千円)
田	水稲	6.1	534	32.6	254	8,280	23	1,904
田(畑利用)								
	小計	6.1				—		—
普通畑								
	小計	—				—		—
合計		6.1				8,280		1,904

総 費 用 の 算 出

(1) 対象施設の概要整理

(第1表)

[illegible]

項 目		基準年 (評価年)										評価期間：当該事業の工事期間										評価期間：一定期間（40年）										合 計				
施設番号	西 暦	H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	...	...	...	...	R.35	...	...	...	...	...	...	...	R.49												
	和 暦	1989	1990	1991	1992	1993	2023	2024	2025	2026	2027	...	...	...	...	2053	...	...	...	...	...	...	...	2067												
施設名	支出済費用換算係数	1.4650	1.4070	1.3510	1.3300	1.3180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000												
ため池	基準年度＝ R.5年度	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165	5.6165													
	経過年数	-34	-33	-32	-31	-30	0	1	2	3	4	27	28	29	30	38	39	40	41	42	43	44	44													
ため池（構造物）	費用区分	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他	工事費	用地費	その他											
	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	10,228	28,592	27,390	26,374	25,475	34,016	9,179	25,592	24,608	23,669	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
ため池（その他）	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
未端用水路	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
	繰引後	2,696	7,837	7,809	7,820	7,854	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016												
合 計	決算額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	34,016	9,546	27,681	27,681	27,690	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016	34,016													

施設番号	項 目																							
	和 暦		H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20		
施設名	西 暦		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008		
	支出済費用換算係数		1.4650	1.4070	1.3510	1.3300	1.3180	1.3130	1.2940	1.2860	1.2630	1.2870	1.2980	1.2940	1.3100	1.3140	1.3150	1.2940	1.2500	1.2280	1.2180	1.1470		
	基準年度	割引率	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	0.3207	0.3335	0.3468	0.3607	0.3751	0.3901	0.4057	0.4220	0.4388	0.4564	0.4746	0.4936	0.5134	0.5339	0.5553		
ため池	R.5年度	経過年数	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23	-22	-21	-20	-19	-18	-17	-16	-15		
	費用区分																							
	全 体	耐用年数	80年																					
		償却施設費	換算額																					
	予防保全	耐用年数																						
償却施設費		換算額																						
2-2 ため池（溝造物）	用地 費																							
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	費用区分																							
	全 体	耐用年数	40年																					
		償却施設費	換算額																					
3-2 ため池（その他）	予防保全	耐用年数																						
		償却施設費	換算額																					
	用地 費																							
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4	費用区分																						
末端用水路	全 体	耐用年数	30年						30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
		償却施設費	換算額						34,016	32,882	31,748	30,614	29,480	28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140	17,006
	予防保全	耐用年数																						
		償却施設費	換算額																					
	用地 費								-															
計			-	-	-	-	-	34,016	32,882	31,748	30,614	29,480	28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140	17,006	

施設番号	項 目																基準年 (評価年)	評価期間：当該事業の工事期間			
			H. 21 2009	H. 22 2010	H. 23 2011	H. 24 2012	H. 25 2013	H. 26 2014	H. 27 2015	H. 28 2016	H. 29 2017	H. 30 2018	R. 1 2019	R. 2 2020	R. 3 2021	R. 4 2022	R. 5 2023	当該着工 R. 6 2024	R. 7 2025	R. 8 2026	当該完了 R. 9 2027
施設名	支出済費用換算係数		1.1800	1.1690	1.1540	1.1990	1.1490	1.1190	1.1180	1.1360	1.0930	1.0880	1.0690	1.0800	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝	割引率	0.5775	0.6006	0.6246	0.6496	0.6756	0.7026	0.7307	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699
	R. 5年度	経過年数	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
1-1	費用区分																				
ため池	全 体	耐用年数 80年																			
		償却施設費 換算額															-	-	-	-	-
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
2-2	費用区分																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業
ため池 (構造物)	全 体	耐用年数 40年																			40
		償却施設費 換算額																			19,283
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	19,283
3-2	費用区分																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業
ため池 (その他)	全 体	耐用年数 80年																			80
		償却施設費 換算額															-	-	-	-	55,498
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	55,498
4	費用区分																再整備				
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26
		償却施設費 換算額	15,872	14,738	13,604	12,470	11,336	10,202	9,068	7,935	6,801	5,668	4,534	3,401	2,267	1,134	34,016	32,882	31,748	30,614	29,480
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			
	計		15,872	14,738	13,604	12,470	11,336	10,202	9,068	7,935	6,801	5,668	4,534	3,401	2,267	1,134	34,016	32,882	31,748	30,614	29,480

施設番号	項 目		評価期間：一定期間（40年）																							
			R. 10	R. 11	R. 12	R. 13	R. 14	R. 15	R. 16	R. 17	R. 18	R. 19	R. 20	R. 21	R. 22	R. 23	R. 24	R. 25	R. 26	R. 27	R. 28	R. 29	R. 30	R. 31		
	西 暦	西 暦	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049		
施設名	支出済費用換算係数		1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度＝	割引率	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633	2.6658	2.7725		
	R. 5年度	経過年数	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
1-1	費用区分																									
ため池	全 体	耐用年数 80年																								
		償却施設費 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
2-2	費用区分																									
ため池（構造物）	全 体	耐用年数 40年	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18		
		償却施設費 換算額	18,801	18,319	17,837	17,355	16,873	16,391	15,909	15,427	14,945	14,463	13,981	13,499	13,017	12,535	12,053	11,571	11,089	10,607	10,125	9,643	9,161	8,679		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		18,801	18,319	17,837	17,355	16,873	16,391	15,909	15,427	14,945	14,463	13,981	13,499	13,017	12,535	12,053	11,571	11,089	10,607	10,125	9,643	9,161	8,679		
3-2	費用区分																									
ため池（その他）	全 体	耐用年数 80年	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58		
		償却施設費 換算額	54,804	54,110	53,416	52,722	52,028	51,334	50,640	49,946	49,252	48,558	47,864	47,170	46,476	45,782	45,088	44,394	43,700	43,006	42,312	41,618	40,924	40,230		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		54,804	54,110	53,416	52,722	52,028	51,334	50,640	49,946	49,252	48,558	47,864	47,170	46,476	45,782	45,088	44,394	43,700	43,006	42,312	41,618	40,924	40,230		
4	費用区分																									
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4		
		償却施設費 換算額	28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140	17,006	15,872	14,738	13,604	12,470	11,336	10,202	9,068	7,935	6,801	5,668	4,534		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140	17,006	15,872	14,738	13,604	12,470	11,336	10,202	9,068	7,935	6,801	5,668	4,534		

施設番号	項 目		評価期間：一定期間（40年）																	評価終了	事業着工 時 点 の 資産価額	評価期間 終了時点 (工期+40) の 資 産 価 額
	和 暦	R. 32	R. 33	R. 34	R. 35	R. 36	R. 37	R. 38	R. 39	R. 40	R. 41	R. 42	R. 43	R. 44	R. 45	R. 46	R. 47	R. 48	R. 49			
施設名	西 暦	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067			
	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000			
	基準年度＝ R. 5年度	割 引 率	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165		
	経過年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44			
1-1	費 用 区 分																					
ため池	全 体	耐用年数 80年																				
		償却施設費 換算額																				
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
	用 地 費																				－	
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
2-2	費 用 区 分																			再整備		
ため池 (構造物)	全 体	耐用年数 40年	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	40		
		償却施設費 換算額	8,197	7,715	7,233	6,751	6,269	5,787	5,305	4,823	4,341	3,859	3,377	2,895	2,413	1,930	1,448	965	483	19,283		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
	用 地 費																				－	
	計		8,197	7,715	7,233	6,751	6,269	5,787	5,305	4,823	4,341	3,859	3,377	2,895	2,413	1,930	1,448	965	483	19,283	－	
3-2	費 用 区 分																					
ため池 (その他)	全 体	耐用年数 80年	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40		
		償却施設費 換算額	39,536	38,842	38,148	37,454	36,760	36,066	35,372	34,678	33,984	33,290	32,596	31,902	31,208	30,514	29,821	29,127	28,434	27,740		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
	用 地 費																				－	
	計		39,536	38,842	38,148	37,454	36,760	36,066	35,372	34,678	33,984	33,290	32,596	31,902	31,208	30,514	29,821	29,127	28,434	27,740	－	
4	費 用 区 分					再整備																
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16		
		償却施設費 換算額	3,401	2,267	1,134	34,016	32,882	31,748	30,614	29,480	28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
	用 地 費																				－	
	計		3,401	2,267	1,134	34,016	32,882	31,748	30,614	29,480	28,346	27,212	26,078	24,944	23,810	22,676	21,542	20,408	19,274	18,140	32,708	

(4) 総費用の総括

(単位:千円) (第4表)

費 用 区 分			事業着工 時 点 の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全 ・再整備費 ④	評価期間 修 了 時 点 の 資産価額 ⑤	総 費 用 ①+②+③+④-⑤	備 考
区分・施設番号・施設名									
団体営	1-1	ため池	—	—	—	—	—	—	
県営	2-2	ため池(構造物)	—	17,294	—	3,433	3,433	17,294	
県営	3-2	ため池(その他)	—	65,754	—	—	4,939	60,815	
団体営	4	末端用水路	32,708	—	—	44,504	3,230	73,982	
計			32,708	83,048	—	47,937	11,602	152,091	

作物生産効果

〔 新 設 整 備 〕
該 当 事 項 な し

〔 更 新 整 備 〕

1. 面積関係の算定

ア. 地目別面積及び本地面積一覧表

(第12表)

計 (現 況 (なかりせば)		農 用 地					非 農 用 地		合 計 (ha)	う ち 本地面積 (ha)
		田 (ha)	普 通 畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	牧 草 畑 (ha)	計 (ha)	農 道・ 用排水路 (ha)	そ の 他 (ha)		
農 用 地	田 (ha)	(6.40 6.40) < — >	—			(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	(6.10 6.10) < — >
	輪換耕地 (ha)	(6.40 6.40) < — >	—			(6.40 6.40) < — >			(6.40 6.40) < — >	(6.10 6.10) < — >
	普 通 畑 (ha)					(—) < — >			(—) < — >	(—) < — >
	樹 園 地 (ha)					(—) < — >			(—) < — >	(—) < — >
	牧 草 畑 (ha)					(—) < — >			(—) < — >	(—) < — >
	計 (ha)	(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.4) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	(6.10 6.10) < — >
非 農 用 地	農 道・ 用排水路 (ha)					(—) < — >	—		(—) < — >	
	そ の 他 (ha)					(—) < — >			(—) < — >	
合 計 (ha)		(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	
うち本地面積 (ha)		(6.10 6.10) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.10 6.10) < — >				

※注記
・田の()は、水田の畑利用で内数
・田の〈 〉は、排水に係る不可避免受益で外数

イ. 本 地 率

(第12表の作業表)

地 目 班	傾 斜、区 画 の 条 件	本地率 (%)	備 考
		現 況	
田 → 田	1/1000, 30 a 区画	96.0	別添本地率算定表より

本地率算定表

(第12表の参考表)

区 分	標準区画イメージ図		本地率算定
現況 (30a区画)			区画面積： $100 \text{ m} \times 30 \text{ m} = 3,000 \text{ m}^2$ 田面差： $0.70 \text{ m} - 0.30 \text{ m} = 0.40 \text{ m}$ 畦畔面積： $(0.70 \text{ m} + 0.30 \text{ m} + 0.30 \text{ m}) \times 100 \text{ m} = 130 \text{ m}^2$ 本地面積： $3,000 \text{ m}^2 - 130 \text{ m}^2 = 2,870 \text{ m}^2$ 本地率： $2,870 \text{ m}^2 \div 3,000 \text{ m}^2 \times 100 = 96 \%$

ウ. 耕 地 区 分 (更新)

(第13表の作業表)

地 目 班	市町村名	区域番号	現 況 本 地 面 積 (ha)	対 策 工 種	事 業 な か り せ ば						備 考
					土地条件	被害の種類別発生面積					
						乾 質	干 害 (ha)	水 害 (ha)			
田 → 田	福 井 市	I	6.1	用水改良	I	—	—				
計			6.1		—	—	—	—	—	—	
普 通 畑 → 普 通 畑											
計			—		—	—	—	—	—	—	
そ の 他 → そ の 他											
計			—		—	—	—	—	—	—	
合 計			6.1		—	—	—	—	—	—	

エ. 対策耕種と効果要因別面積（更新）

（第13表）

市町村名	区域 番号	面 積				更 新 整 備											備 考		
		耕地面積		本地面積		対策工種			事業なかりせば効果の要因とその程度										
		現況	計画	現況	計画	用水 再 建 設	排 水 再 建 設	畑 漕 再 建 設	減産防止		立 地 条 件 の 好 転								
									干 害 防 止	水 害 防 止	乾田化		水管理 改 良		湿 潤 灌 漑	田 畑 輪 換			
											増収率(%)		増収率(%)						
											6	3	58						
(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)					
福 井 市	I	6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—	用水改良		
計		6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—			
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
合 計		6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—			

才．地目別作付面積（更新）

（第14表）

地 目		田					普 通 畑					計				
時 点		現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)
本 地 面 積		6.1		6.1		—	—		—		—	6.1		6.1		—
表 裏	作 物 名	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)
表	水 稻	6.1	100.0	6.1	100.0	—						6.1	100.0	6.1	100.0	—
小 計		6.1	100.0	6.1	100.0	—	—	—	—	—	—	6.1	100.0	6.1	100.0	—
裏																
小 計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		6.1	100.0	6.1	100.0	—	—	—	—	—	—	6.1	100.0	6.1	100.0	—

2. 作物増加生産量関係の算定

ア. 現況単収の算定（更新）

(第15表)

作物名	市町村名 項目 年次	福井市												計（平均）		
		作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)
水	H 29 年	5,260	542	28,500										5,260	542	28,500
	H 30 年	5,330	533	28,400										5,330	533	28,400
	R 1 年	5,290	533	28,200										5,290	533	28,200
	R 2 年	5,210	528	27,500										5,210	528	27,500
	R 3 年	4,990	531	26,500										4,990	531	26,500
	平均													26,080	533	139,100
	平均															
	平均															
	平均															
	平均															

イ. 作物別効果要因別増収率の算定（更新）

(第17表)

[illegible]

ウ. 効果要因別面積と生産増減量の算定（更新）

（第18表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積		効果要因 と その 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等							生 産 増減量	備 考		
		現 況 〔 なかり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あ り せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な か り せ ば					あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)				
							現 況 単 収 B (%)	立地条件好転		減産防止 単 収 D=	機能喪失 の 増 収率 C= A/(1+B) (kg/10a)		失われ る10 a 当 り 増加量 D= A-C (kg/10a)		機能喪失 により 失われ る 単 収 F=D+E (kg/10a)	なかり せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)
								失れ る増 収率	機 能 喪 失 時 の 単 収 C=							
田	水 稲	6.1	6.1	水 管 理 -3	6.1	533	58	224	309		309		18.8			
					小 計		533		224	309		309	224	18.8		
					小 計											
					小 計											
					小 計											
					小 計											
	普通畑															
					小 計											
					小 計											
合 計		6.1	6.1													

単価算出年度:(令和4 年 消費者物価指数 = 103.2)

(第19表)

[illegible]

才．純益率・所得率の算定（更新）

（第20表）

作 物 名	純 益 率(%)		所 得 率(%)		備 考
	作付増減	単収増加	作付増減	単収増加	
水 稲	－	71	23	79	通達資料：水稲（都府県）

カ. 生産増減効果の算定（更新）

（第21表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積		効果要因 と その 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等							生 産 増減量 あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)	生 産 物 単 価 (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 (千円)	年 効 果 額		年増加所得額				
		現 況 〔 なかり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あ り せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な か り せ ば				あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)	生 産 物 単 価 (千円/t)				増 加 粗 収 益 額 (千円)	純 益 率 (%)	増 加 純 益 額 (千円)	所 得 率 (%)	増 加 所 得 額 (千円)		
							失れ る増 収率 B (%)	機 能 喪 失 時 の 単 収 C= A/ (1+B) (kg/10a)	失われ る10 a 当 り 増加量 D= A-C (kg/10a)	失われ る10 a 当被害 防止量 E (kg/10a)											機能喪 失によ り失わ れる 単 収 F=D+E (kg/10a)	なかり せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)
田	水 稻	6.1	6.1	水 管 理 -3	6.1	533	58	224	309		309		18.8	255	4,794	71	3,404					
				小 計		533		224	309		309	224	18.8		4,794		3,404					
	小 計																					
	小 計																					
	小 計																					
	普通畑																					
小 計																						
				小 計																		
合 計		6.1	6.1											4,794		3,404						

キ. 作物生産効果の総括（更新）

（第22表）

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
事業なかりせば効果額	3,404		再建設整備
計	3,404	—	

〔 新 設 + 更 新 〕

キ. 生産増減効果の算定（新設+更新）

（第23表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積					効果要因 と そ の 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等										生産増減量		生 産 物 単 価 K (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 L= I・J+K (千円)	年 効 果 額		年増加所得額	
		更新整備		新設整備		増減 (ha)			現 況 単 収 A (kg/10a)	なかりせば		ありせば				単 作 付 収 増 減 J=X* ・A・H (t)	純 益 率 M (%)	増 加 純 益 額 N= L*M (千円)	所 得 率 O (%)	増 加 所 得 額 P= L*O (千円)						
		現況	計画	現況	計画					立地条 件機能 喪失時 の単収 C= A-B (kg/10a)	機能喪 失によ り失わ れる 単 収 D= A-C (kg/10a)	10 a 当 た り 被 害 防止量 E (kg/10a)	無被害 単 収 F= A-D (kg/10a)	10 a 当 た り 増加量 G (kg/10a)	計 画 単 収 H= F+G (kg/10a)								I=X*C ・E・G (t)			
																								(ha)	(ha)	(ha)
田（更新整備）	水 稲	6.1	6.1				水 管 理 -3	6.1	533	224	309					18.8		255	4,794	71	3,404					
							小 計		533	224	309	224				18.8			4,794		3,404					
							小 計																			
							小 計																			
							小 計																			
普通畑（更新整備）																										
小 合 計		6.1	6.1																4,794		3,404					
																			4,794		3,404					

ク. 作物生産効果の総括

(第24表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
作物生産効果 (事業ありせば効果額)	—	—	新設整備
作物生産効果 (事業なかりせば効果額)	3,404		再建設整備
計	3,404	—	

營 農 經 費 節 減 効 果

農地利用集積による効果発生面積整理表（全体）

●経営区分別、工種別面積の整理表① [単位 : ha]

経営分類	区画整理	
	現況	計画
個人 ⇒ 個人	6.1	6.1
担い手 ⇒ 担い手		
個人 ⇒ 担い手	-	
合計	6.1	6.1

●経営区分別、工種別面積の整理表②

[単位 : ha]

経営分類	現況				計画			
	整地	排水	用水	暗渠排水	整地	排水	用水	暗渠排水
個人 ⇒ 個人			6.1				6.1	
担い手 ⇒ 担い手								-
個人 ⇒ 担い手	-	-	-	-				-
合計	-	-	6.1	-	-	-	6.1	-

農地利用集積による効果発生面積整理表（用水改良）

●経営区分別、経営面積の整理表

経営分類	区画規模	経営面積 (ha)			備考
		現況	計画	差	
個別経営	30a	6.1	6.1	0.0	
担い手経営	30a	-	-		
		-	-		
計	10a	6.1	6.1		
	30a	-	-		
	全体	6.1	6.1		

※この表は畦畔を含む面積とする。

●経営区分別、作付け面積の整理表

区画規模	作付作物	経営分類別面積：現況 (ha)			
		個別経営	担い手経営		計
30a	水稲	6.1			6.1
					-
					-
					-
比率		100.00	-		100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

経営分類		計画 区画規模	経営面積 (ha)	同左比 (%)
現況	⇒ 計画			
個別経営	⇒ 個別経営	30a	6.1	100.00
担い手経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
担い手経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
個別経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
個別経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
計		30a	6.1	
		全体	6.1	100.00

※この表は畦畔を含む面積とする。

区画規模	作付作物	経営分類別面積：計画 (ha)			
		個別経営	担い手経営	個別経営 ↓ 担い手経営	計
1.0 ha	水稲	6.1			6.1
比率		100.00	-	-	100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

※本表は「排水改良」の効果算定のための整理表である。

〔 新 設 整 備 〕
該 当 事 項 な し

〔 更 新 整 備 〕

ア. 営農の現状

作物名		水 稲		現 況		30a(標 準)乾 田		用水供給		用 水 路		排水管理		排 水 路		改良区分		用 水		(第8表)	
作 業 名																					
作業方法		種子与措	苗代一切	本田耕起				本田整地	田植	追肥	除草	水 管 理(用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計			
作 業 期 間		10上-03下	03下-04下	10下-04下				04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上				
作 業 方 法 回 数 等																					
作 業 手 段 (機 械 名)			共同施設	トラクタ-32ps ロータリー				トラクタ-32ps ハロー	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設				
ha当り 所 要 時 間	人 力			18.1				10.0	15.8	4.0	49.0	41.0	30.0	1.2	20.2	9.0		198.3			
	機械力			18.1				10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7			
時 間 当 り 費 用	人 力			1,703				1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703					
	機械力			0				0	0	0	0			0	0	0					
ha当り 経 費	人 力			30,824				17,030	26,907	6,812	83,447	69,823	51,090	2,044	34,401	15,327		337,705			
	機械力			0				0	0	0	0			0	0	0					
ha当り使用 資 材 量									追肥1号 150kg	ペクチン-10kg				ラッパッサ 40kg							

作物名				現 況			用水供給			排水管理			改良区分			(第8表)
作 業 名																計
作業方法																
作 業 期 間																
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)																
ha当り 所 要 時 間	人 力															
	機械力															
時 間 当 り 費 用	人 力															
	機械力															
ha当り 経 費	人 力															
	機械力															
ha当り使用 資 材 量																

イ. 事業なかりせば想定される営農作業体系

作物名		水 稲		なかりせば	30a(標 準)乾 田		用水供給	用 水 供 給 な し		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水		(第9表)
作 業 名																
作業方法		種子与措	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水 管 理 (用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)
作 業 期 間		10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)			共同施設	トラクタ-32ps ロータリー			トラクタ-32ps ハロー	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設
ha当り 所 要 時 間	人 力			18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	10.0	30.0	1.2	20.2	9.0	167.3
	機械力			18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0	59.7
時 間 当 り 費 用	人 力			1,703			1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	
	機械力			0			0	0	0	0			0	0	0	
ha当り 経 費	人 力			30,824			17,030	26,907	6,812	83,447	17,030	51,090	2,044	34,401	15,327	284,912
	機械力			0			0	0	0	0			0	0	0	
ha当り使用 資 材 量								追肥1号 150kg	ペクチン-10kg				ラップパッサ 40kg			

作物名				なかりせば			用水供給			排水管理			改良区分			(第9表)
作 業 名																計
作業方法																
作 業 期 間																
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)																
ha当り 所 要 時 間	人 力															
	機械力															
時 間 当 り 費 用	人 力															
	機械力															
ha当り 経 費	人 力															
	機械力															
ha当り使用 資 材 量																

ウ. 事業なかりせばと事業ありせば（現況）との対比

(第10表)

改良区分	用水	事業なかりせば			事業ありせば		
区	分	水			水		
作物	名	30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
ほ場	条件	用水供給なし			用水供給なし		
用水	給	排水路			排水路		
排水	管	排水路			排水路		
労働費		所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
種子与措							
苗代一切							
本田耕起		18.1	1,703	30,824	18.1	1,703	30,824
本田整地		10.0	1,703	17,030	10.0	1,703	17,030
田植		15.8	1,703	26,907	15.8	1,703	26,907
追肥		4.0	1,703	6,812	4.0	1,703	6,812
除草		49.0	1,703	83,447	49.0	1,703	83,447
水管理(用)		10.0	1,703	17,030	41.0	1,703	69,823
"(排)		30.0	1,703	51,090	30.0	1,703	51,090
防除		1.2	1,703	2,044	1.2	1,703	2,044
稲刈脱穀		20.2	1,703	34,401	20.2	1,703	34,401
運搬		9.0	1,703	15,327	9.0	1,703	15,327
乾燥調整(稲)							
小計		167.3		284,912	198.3		337,705
機械経費		稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
種子与措							
苗代一切							
本田耕起		18.1	0	0	18.1	0	0
本田整地		10.0	0	0	10.0	0	0
田植		7.9	0	0	7.9	0	0
追肥		2.0	0	0	2.0	0	0
除草		2.0	0	0	2.0	0	0
水管理(用)							
"(排)							
防除		0.6	0	0	0.6	0	0
稲刈脱穀		10.1	0	0	10.1	0	0
運搬		9.0	0	0	9.0	0	0
乾燥調整(稲)							
小計		59.7			59.7		
その他の生産資材経費		生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
苗箱費		200	700	140,000	200	700	140,000
乾燥調整費		5,350	22.4	119,840	5,350	22.4	119,840
小計				259,840			259,840
合計				544,752			597,545

エ. 再建設整備による営農経費節減効果の総括

(第11表)

作物名	なかりせば区分名	用水供給・排水管理区分				単位面積当たり営農経費節減額(円/ha)			効果発生面積 (ha)	年効果額 (千円)	備考
		事業なかりせば		事業ありせば		事業なかりせば	事業ありせば	差			
		用水供給	排水管理	用水供給	排水管理	①	②	③=①-②			
水 稲	30a(標準)乾 田	用水供給なし	排水管路	用水路	排水路	544,752	597,545	△ 52,793	6.1	△ 322	用水
合 計										△ 322	

才. 営農経費節減効果の総括

(第12表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
営農経費節減効果 (事業ありせば効果額)	—	—	新設整備
営農経費節減効果 (事業なかりせば効果額)	△ 322		再建設整備
計	△ 322	—	

維持管理費節減效果

4. 維持管理費節減効果

ア 施設管理団体一覧

(第1表)

団 体 名	団 体 の 所 在 地	団 体 の 賦 課 面 積 (ha)								最近年における ha当り賦課金(円)		賦課戸数(戸)	
						本 計 画 の 受 益 区 域							本計画の 受益戸数
		田	畑	その他	計	田	畑	その他	計	経 常 費	特別賦課金		
羽坂町	福井市羽坂町	8.1	—	—	8.1	6.4	—	—	6.4			11	11

イ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の概要及び変更区分

(第2表)

現況 施設 番号	施 設 名	団 体 名	設置 年度	大改修 年 度	現 況 施 設 の 概 要		今後の 予想耐 用年数	本 事 業 に よ る 改 良 ・ 廃 止 維 持 管 理 費 の 変 更 の 区 分 及 び そ の 理 由	
					構 造 ・ 数 量 及 び 機 能	維 持 管 理 方 法		区 分	理 由
1	ため池	羽坂町	S. 47	—	ため池 V=2, 074m3	・羽坂町管理 ・賦役による草刈り	0	既 設 利 用	—
2	ため池(構造物)	羽坂町	S. 47	—	洪水吐 他	・羽坂町管理	0	廃 止	耐震補強及び老朽化対策
3	末端用水路	羽坂町	S. 47	—	BF-300～400 L=2, 340. 0m	・羽坂町管理 ・賦役による草刈り	0	既 設 利 用	—

ウ. 受益範囲内の団体で管理する
水利施設の既往年経費

(第3表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分 区 分			1 た め 池		2 た め 池 (構 造 物)		3 末 端 用 水 路						計	
			既 設 利 用		廃 止		既 設 利 用							
			決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)		
維持 管 理 費	年々 経 常 的 な も の	H 30 年度 (1.088)	0	0	0	0	0	0						
		R 1 " (1.069)	0	0	0	0	0	0						
		R 2 " (1.080)	0	0	0	0	0	0						
		R 3 " (1.000)	0	0	0	0	0	0						
		R 4 " (1.000)	0	0	0	0	0	0						
		既往年平均経費			0		0		0					
		本 地 区 分 ①		0.000	0	0.000	0	0.000	0					
	短期 周 期 的 な も の	H 30 年度 (1.088)	0	0	0	0	0	0						
		R 1 " (1.069)	0	0	0	0	0	0						
		R 2 " (1.080)	0	0	0	0	0	0						
		R 3 " (1.000)	0	0	0	0	0	0						
		R 4 " (1.000)	0	0	0	0	0	0						
		既往年平均経費			0		0		0					
		本 地 区 分 ②		1.000	0	1.000	0	1.000	0					
賦 役 ・ そ の 他	そ の 他 経 費	H 30 年度 (1.088)	150	163			100	109						
		R 1 " (1.069)	151	161			101	108						
		R 2 " (1.080)	148	160			98	106						
		R 3 " (1.000)	162	162			108	108						
		R 4 " (1.000)	169	169			112	112						
		既往年平均経費			163				109					
	本 地 区 分 ③		1.000	163	1.000		1.000	109					272	
	事 業 内 容 (算 出 基 礎)	・ 草 刈 り 11人*4hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr		・ 賦役なし		・ 草 刈 り 11人*2hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr								
		・ 泥 上 げ 11人*1hr/回*1回/年 *時間当たり人件費/hr				・ 泥 上 げ 11人*2hr/回*1回/年 *時間当たり人件費/hr								
	既 往 年 平 均 経 費 ① + ② + ③				163		0		109					272

エ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業ありせば維持管理費

(第4表)

計画 施設 番号	施 設 名	新 設 改 良 等 の 区 分	現況 施設 番号	管理団体	計 画 施 設 の 概 要		施 設 の 維 持 管 理 等 に 要 す る 事 業 あ り せ ば 年 経 費					
					構 造 ・ 数 量 ・ 機 能	工 事 費 (千円)	予 定 耐 用 年 数	維 持 修 繕 費		運 転 費		経 費 計 (千円) ① + ②
								経 費 (千円) ①	算 出 基 礎	経 費 (千円) ②	算 出 基 礎	
1-2	ため池	既 設 利 用	1	羽 坂 町		—	80	—	既往年経費(第3表)より転記			163
2-2	ため池(構造物)	更 新	2	羽 坂 町	神田谷ため池 V=2,880m ³	—		9	+2,880m ³ *3.0円/m ³ =9千円 ・福井県諸元調査より	—	—	9
4	末端用水路	既 設 利 用	3	羽 坂 町	BF-300~400 L=2,340m	—	30		既往年経費(第3表)より転記			109
合 計												281

オ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業なかりせば維持管理費

(第5表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分 区 分			1 た め 池		2 た め 池 (構 造 物)		3 末 端 用 水 路								計
			既 設 利 用		廃 止		既 設 利 用								
			決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	
維持 管理 費	年々 経常 的な もの	H 30 年度 (1.088)	0	0	0	0	0	0							
		R 1 " (1.069)	0	0	0	0	0	0	0						
		R 2 " (1.080)	0	0	0	0	0	0	0						
		R 3 " (1.000)	0	0	0	0	0	0	0						
		R 4 " (1.000)	0	0	0	0	0	0	0						
		既往年平均経費		0		0		0							
		本 地 区 分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0							
賦 役 ・ そ の 他	そ の 他 経 費	H 30 年度 (1.088)	134	146	0	0	67	73							
		R 1 " (1.069)	134	143	0	0	67	72							
		R 2 " (1.080)	131	141	0	0	66	71							
		R 3 " (1.000)	144	144	0	0	72	72							
		R 4 " (1.000)	150	150	0	0	75	75							
		既往年平均経費		145			73								
		本 地 区 分 ③	1.000	145	1.000		1.000	73							218
そ の 他	事 業 内 容 (算 出 基 礎)	・ 草刈り 11人*4hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr		・ 賦役なし		・ 草刈り 11人*2hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr									
		既 往 年 平 均 経 費 ① + ② + ③			145		0		73						218

カ. 団体の管理する水利施設以外の施設等の年経費

(第6表)

施 設 番 号 及 び 施 設 名		番 号							合 計
		現 況							
		計 画							
		変 更 区 分							
管 理 者 名									
現 況	施設の概 要	構 造 ・ 数 量							
		経 費 (千円)①							
	既 往 年経費	算 出 基 礎							
計 画	施設の概 要	構 造 ・ 数 量		該 当 事 項 な し					
		経 費 (千円)③							
	計 画 年経費	算 出 基 礎							
な か り せ ば	既 往 年経費	経 費 (千円)②							
		算 出 基 礎							
維 持 管 理 費 節 減 額	効果額	更新分 ②－①							
		新設分 ①－③							
		所 得 額 ①－③							

キ 維持管理費節減効果の算定

(第7表)

施設番号		施設名		管理団体	改良 廃止 新設 変更なし 等の区分	現況施設の維持管理費 (既往年経費)				事業なかりせば維持管理費 (既往年経費)			事業ありせば 維持管理費 〔計画年経費〕 (千円) ③	維持管理費節減効果額		年増加 所得額 (千円) ①－③
現況	計画	現況	計画			維持管理費		賦役 その他 (千円)	計 (千円) ①	維持管理費	賦役 その他 (千円)	計 (千円) ②		年効果額 〔再建設 整備〕 (千円) ②－①	年効果額 〔新設 整備〕 (千円) ①－③	
						年々 経常的なもの (千円)	短期 周期的なもの (千円)			年々 経常的なもの (千円)						
1	1	ため池		羽坂町	既設利用	0	0	163	163	0	145	145	163	△ 18	0	0
2	2	ため池(構造物)		羽坂町	廃止	0	0		0	0		0	9	0	△ 9	△ 9
3	3	末端用水路		羽坂町	既設利用	0	0	109	109	0	73	73	109	△ 36	0	0
合計									272			218	281	△ 54	△ 9	△ 9

ク. 維持管理費節減効果の総括

(第8表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
維持管理費節減効果 (事業ありせば効果額)	△ 9	△ 9	新設整備
維持管理費節減効果 (事業なかりせば効果額)	△ 54		再建設整備
計	△ 63	△ 9	

(災 害 防 止 効 果
た め 池 等 整 備)

年 効 果 額 の 算 定

1. 災害防止効果
 (1) 災害防止効果
 農業資産

(第1表)

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		40,046	0.0432	1,730	
計		40,046		1,730	

一般資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		62,790	0.0432	2,713	
計		62,790		2,713	

公共資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		6,788	0.0432	293	
計		6,788		293	

全 体

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		109,624	0.0432	4,736	
計		109,624		4,736	

$$\begin{aligned} \text{還 元 率} &= \frac{i \times (1+i)^n}{i \times (1+i)^n - 1} = \frac{0.04 \times (1+0.04)^{66}}{(1+0.04)^{66}} & i &= 4 \% \\ & & n &= 66 \text{ 年} \\ &= \frac{0.53243}{12.31068} \end{aligned}$$

総合耐用年数算定表

区分 種別	工種等 (施設名)	耐用年数 ① (年)	工事費 ② (千円)	工事費年減価 ③=①/② (千円)
当該事業	ため池(構造物)	40	18,100	453
	ため池(その他)	80	68,900	861
	小 計		87,000	1,314
	その他費用	66	13,000	197
	計		100,000	1,511
関連事業				
	小 計			
	計			
合 計		66	100,000	1,511

想 定 被 害 額 総 括 表

単位[単価:円, 被害想定額:千円]

種目	区 分		数 量	単価	被害想定額	算出基礎	種目	区分		数 量	単価	被害想定額	算出基礎		
農 地	農 地	耕 土	田	ha	5,900,000	谷型:水深1.0m以上, 上流2/3	人 家	木 造	床下浸水	— 戸	690,000	—	水深0.0～0.5m		
		流 出	畑	— ha	—	—			床上浸水	13.0 戸	4,830,000	62,790	水深0.5～1.0m		
		土 石	田	4.00 ha	1,975,500	7,902			半 壊	— 戸	7,590,000	—	水深1.0～1.5m		
		埋 没	畑	— ha	—	—			全 壊	— 戸	23,000,000	—	水深1.5m以上		
	用水路 (土水路)	半 壊	— m	—	—	水深0.0～0.5m	一 般 被 害	木 造	床下浸水	— 戸	—	—	水深0.0～0.5m		
			全 壊	— m	—	—			水深0.5m以上	床上浸水	— 戸	—	—	水深0.5～1.0m	
		用水路 (コンクリート)	半 壊	2,000.0 m	3,379	6,758			水深0.5～1.0m	半 壊	— 戸	—	—	水深1.0～1.5m	
				全 壊	— m	—			—		水深1.0m以上	全 壊	— 戸	—	—
		排水路	半 壊	900.0 m	13,541	12,187		水深0.0～1.0m	木 造	半 壊	— 戸	588,000	—	水深0.0～1.5m	
				全 壊	— m	—		—			水深1.0m以上	全 壊	— 戸	2,800,000	—
		農 道	半 壊	900.0 m	14,666	13,199		水深0.0～1.0m	そ の 他						
				全 壊	— m	—		—							
	農 業 被 害	農 業 用 施 設 (そ の 他)						一般被害 (計)					62,790		
			公 共 被 害	そ の 他 道 路	その他	半 壊	400.0 m	16,970	6,788	水深1.0～2.0m					
						全 壊	— m	—	—	水深2.0m以上					
						半 壊	— m	—	—	水深1.0～2.0m					
全 壊						— m	—	—	水深2.0m以上						
					半 壊	— m	—	—	水深1.0～2.0m						
		全 壊			— m	—	—	水深2.0m以上							
農 産 物		かんばつ		— ha	—	—	受益農地のうち次の区域外 流出・埋没・浸水								
		浸 水		— ha	—	—	農地の流出埋没区域外								
		流出埋没		— ha	—	—	農地の流出埋没区域								
納 屋		半 壊	— 戸	—	—	—	水深0.5～1.5m								
		農機具等	全 壊	— 戸	—	—	水深1.5m以上								
家 畜		牛		— 頭	—	—									
		豚		— 頭	—	—									
		鶏		— 羽	—	—									
農業被害 (計)						40,046									

洪水量・被災区域
及び湛水深度の決定

1. 被害発生のかえ方

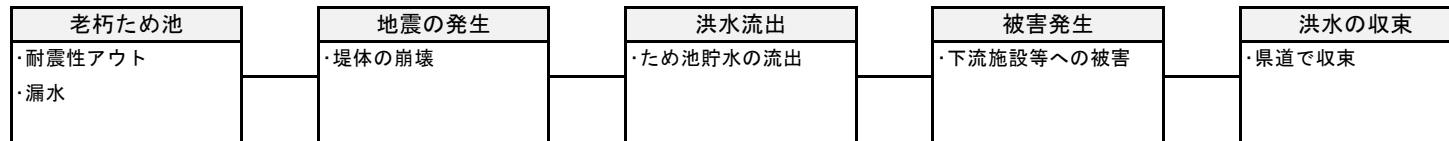
(1) 想定被災地域の設定

ため池周辺の地形条件を整理した結果、ため池型、受益地の区分は次のとおりとする。

項 目	型	受益地	内 容
ため池区分	谷池	谷型受益	山間や丘陵地で谷をせき止めて造られたため池

(2) 被害発生のかえ方

当該ため池は明治時代に築造され、H15年に改修工事し現在に至っているが、堤体は老朽化による安定に欠け（耐震アウト）の状態である。そこで、今回大規模な地震が発生したことを想定し、堤体の崩壊による下流域への被害額を算定する。堤体崩壊により発生した洪水は、ため池下流の住宅、農地に流れ込み、県道まで流下するものとする。



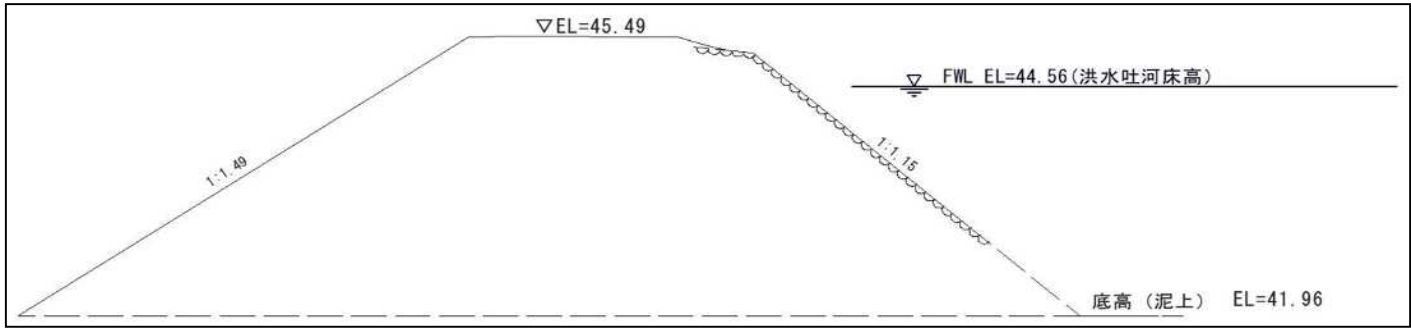
2. 洪水量の算定

(1) 洪水量の想定

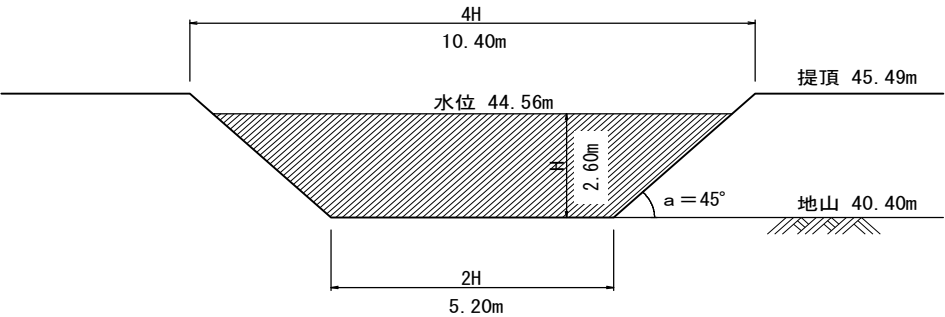
洪水量は防災事業便覧〔図2-30 決壊箇所の流積（堤体決壊想定断面）〕に準拠する。

(2) 堤体の決壊断面想定

【堤体横断】



【堤体決壊想定断面】



項 目	右 岸	左 岸	備 考
堤 頂 地 盤 高 ①	45.49 m		
地 山 地 盤 高 ②	40.40 m		
水 面 水 位 ③	44.56 m		
池 底 高 ④	41.96 m		
破 堤 水 深 ⑤=③-④	2.60 m		
破 堤 上 幅 ⑥=⑤×4	10.40 m		
破 堤 下 幅 ⑦=⑤×2	5.20 m		

(3) 想定洪水量の算定

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は 49.1 m³/s とする。

$$Q = 4.5 \times H^{5/2}$$
$$= 4.5 \times 2.60^{5/2}$$
$$= 4.5 \times 10.9$$
$$= 49.1 \text{ m}^3/\text{s}$$

常時満水位FWL (m)	最低水位LWL (m)	H=FWL-LWL (m)	流出洪水量 (m ³ /s)
44.56	40.40	4.16	49.1

(1) 被災区域の想定

(2) 洪水高の想定

R : 径深 $R = A / P$ P : 潤辺 (流れの横断面 : $2H + B$)

流域の状況	等価粗度 N ($\text{m}^{-1/3} \cdot \text{s}$)
階段状に宅地造成を行った丘陵地帯	0.05
流域の一部(15%)に宅地造成が行われた丘陵地帯	0.1~0.2
階段状田畑主体流域	0.2~0.4
上流山地、中下流に市街地を含む階段状田畑主体流域	0.3~0.5
林相のかなりよい山地流域	0.4~0.8
上流丘陵地 50%, 中流市街地 20%, 下流低平水田 30%の流域	0.6~1.1
排水改良の行われていない水田地帯	1~3

災害-9

被害額の算定

4. 被害程度の想定

発生する被害の程度は、防災事業便覧P256〔表2-7 想定被害算定基礎表〕に準拠する。

事項	項 目	細 目	対象地域等	想定被害の程度	備 考
農業被害	農地	耕土流出	水深1.0m以上の洪水流出区域	上流1/2(平野型受益地)	耕土流出被害と土砂埋没被害の重複を避けること
				または上流2/3(谷型受益地)	
		土砂埋没	水深0.5m以上の洪水流出区域	下流1/2(平野型受益地)	
				または下流2/3(谷型受益地)	
	農業用施設	コンクリート水路	水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		土水路	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは半壊	
				水深0.5m以上は全壊	
		排水路及び農道	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		下流ため池、揚水機場、取水ゼキ	水深0.5m以上の洪水流出区域	壊水深0.5～1.5mは半壊	
				壊水深1.5m以上は全壊	
	農作物	流出・埋没被害	農地欄で算定した全面積	収量0	相互に重複しないこと
		浸水・埋没被害	全洪水流出区域から上記を除いた面積	適宜の減収	
		干魃被害	被災を想定した全かんがい施設がかり面積	適宜の減収	
	農業用納屋等		水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.5mは半壊 水深1.5m以上は全壊	
	家畜		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
公共関係	人家、工場、公共建物等		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは床下浸水	
				水深0.5～1.0mは床上浸水	
				水深1.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
	道路、橋梁、鉄道等		水深1.0m以上の洪水流出区域	水深1.0～2.0mは半壊	
				水深2.0m以上は全壊	
	人 命		半壊以上家屋の住人	半壊家屋は1/2の危険	
				全壊家屋は全員の危険	

（ 被 害 単 価 物 ）
（ 農 地 ・ 農 作 物 ）

農地及び農作物被害

(1) 被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

農 地	a. 耕土流出	谷 型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 2／3 の面積
		皿 型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 1／2 の面積
	b. 土砂埋没	谷 型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 2／3 の面積（a の区域と重複しないこと）
		皿 型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 1／2 の面積（a の区域と重複しないこと）
農 作 物	c. 浸 水		洪水流出区域のうち a 及び b のいずれにも属さない区域（農作物被害のみの計上とする）
	d. 干 ば つ		改修ため池の受益のうち、a、b 及び c のいずれにも属さない区域
	e. 流出埋没		農地被害の全面積

農 地 復 旧 単 価

【 耕土流出 】

流出した耕土を復旧する客土工費用を見込んだものである。

工 種	面 積	工 事 費	備 考
客 土 工	13.6 ha	80,000 千円	

(参考) 県営経営体育成基盤整備事業計画概要書における、整地工内の客土工費。

$$\text{客土工} \quad 80,000 \text{ 千円} \div 13.6 \text{ ha} = 5,882 \text{ 千円/ha} \quad \approx \quad 5,900,000 \text{ 円/ha}$$

【 土砂埋没 】

堆積した土砂を搬出処分し、整地を行う費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削積込	500 m ³	548 円	274,000 円/ha		$10,000 \text{ m}^2 \times 0.05 \text{ m} = 500 \text{ m}^3$ ※機械積込費内訳 機械土工（ブルドーザ掘削押土） 255 円/m ³ バックホウ掘削 293 円/m ³ 計 548 円/m ³
残土処分	500 m ³	1,647 円	823,500 円/ha		
諸経費	80 %	1,097,500 円	878,000 円/ha		※残土処分費内訳 ダンプトラック運搬（BH0.45、L=10km以下） 1,647 円/m ³
計			1,975,500 円/ha		

（ 被 害 の 程 度
農 業 資 産 ）

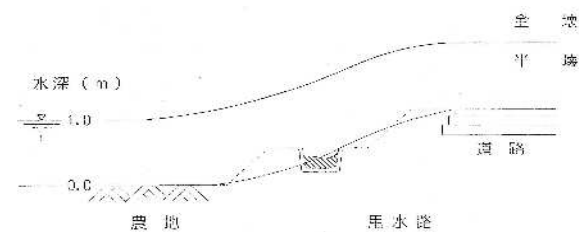
農業用施設被害

(1) 被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

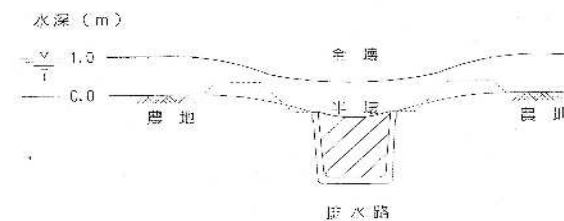
農 道		半 壊	水深0.0～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
用 水 路	土 水 路	半 壊	水深0.0～0.5m
		全 壊	水深0.5m以上
	コンクリート水路	半 壊	水深0.5～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
排 水 路		半 壊	水深0.0～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
そ の 他		半 壊	壊水深0.5～1.5m
		全 壊	壊水深1.5m以上

農業用水路



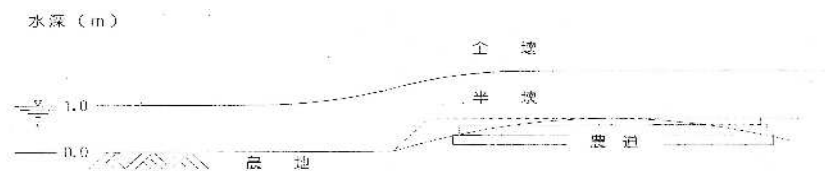
※洪水は常に流下しているため、用水路の土砂埋没や崩壊が予想され、本路機能の低下が考えられる。
そのため、農地からの洪水が用水路縦方向に流下するよりもむしろ、道路側への越流がほとんどである。
このことから、農地、用水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

農業排水路



※洪水は常に流下しているため、農地の排水流出や畦畔の崩壊による、排水路の土砂埋没や破損が予想される。
そのため、排水路機能の著しい低下が予想され、全洪水を流下させる能力はなくなり、次の農地へと越流するものと考えられる。このことから、農地、排水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

道路



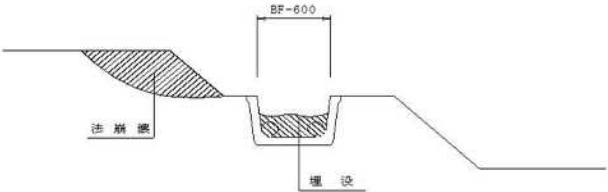
※洪水は常に流下しているが、陸揚的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農道と一定水深のまで農道に
流下するものと考えられる。

(被 害 単 価
農 業 用 水 路)

用水路復旧単価

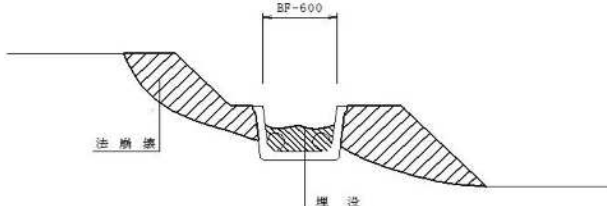
【 半 壊 】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.10 m ³	8,468 円	847 円/m	S単- 1号	用水路半壊 
残土処分	0.10 m ³	1,647 円	165 円/m	T単- 1号	
購入土	0.10 m ³	3,000 円	300 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.10 m ³	3,500 円	350 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	0.5 m ²	430 円	215 円/m	S単-10号	
諸経費	80 %	1,877 円	1,502 円/m		
計			3,379 円/m		

【 全 壊 】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

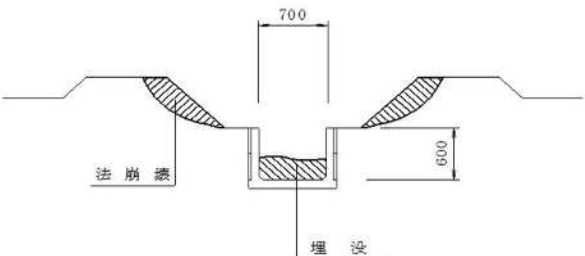
費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.11 m ³	8,468 円	931 円/m	S単- 1号	用水路全壊 
残土処分	0.11 m ³	1,647 円	181 円/m	T単- 1号	
購入土	0.11 m ³	3,000 円	330 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.11 m ³	3,500 円	385 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
B F 布設	1.0 m	8,500 円	8,500 円/m	T単-12号	
撤去	1.0 m	2,600 円	2,600 円/m	S単-14号	
諸経費	80 %	13,357 円	10,686 円/m		
計			24,043 円/m		

（ 被 害 単 価
農 業 排 水 路 ）

排水路復旧単価

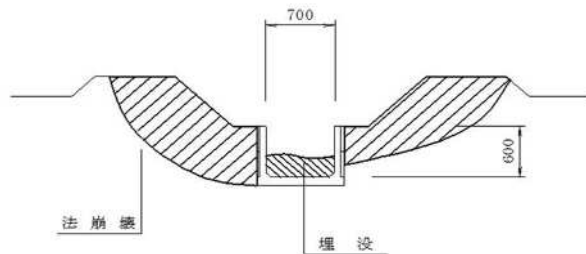
【半壊】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.21 m ³	8,468 円	1,778 円/m	S単-1号	排水路半壊 
機械小運搬	0.21 m ³	756 円	159 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m ³	1,647 円	346 円/m	T単-1号	
購入土	0.40 m ²	3,000 円	1,200 円/m	T単-2号	
機械小運搬	0.40 m ³	756 円	302 円/m	S単-11号	
盛土転圧（人力併用）	0.40 m ³	3,500 円	1,400 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.4 m ²	430 円	602 円/m	S単-10号	
水替・仮設・その他	30 %	5,787 円	1,736 円/m		
諸経費	80 %	7,523 円	6,018 円/m		
計			13,541 円/m		

【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

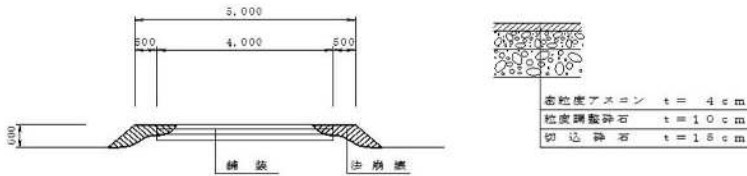
費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.21 m ³	8,468 円	1,778 円/m	S単-1号	排水路全壊 
機械小運搬	0.21 m ³	756 円	159 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m ³	1,647 円	346 円/m	T単-1号	
購入土	2.12 m ²	3,000 円	6,360 円/m	T単-2号	
機械小運搬	1.76 m ³	756 円	1,331 円/m	S単-11号	
盛土転圧（人力併用）	1.76 m ³	3,500 円	6,160 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.4 m ²	430 円	602 円/m	S単-10号	
H F 布設	1.0 m	23,000 円	23,000 円/m	T単-3号	
水替・仮設・その他	30 %	39,736 円	11,921 円/m		
諸経費	80 %	51,657 円	41,326 円/m		
計			92,983 円/m		

（ 被 害 単 価 道 ）
農

農道復旧単価

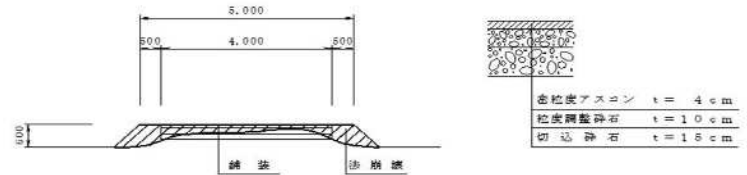
【半壊】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	T単-2号	農道半壊 
盛土工	0.60 m ³	3,500 円	2,100 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	1.2 m ²	1,702 円	2,042 円/m	S単-20号	
上層路盤復旧	1.2 m ²	760 円	912 円/m	T単-4号	
下層路盤復旧	1.2 m ²	720 円	864 円/m	T単-5号	
諸経費	80 %	8,148 円	6,518 円/m		
計			14,666 円/m		

【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	T単-2号	農道全壊 
盛土工	0.60 m ³	3,500 円	2,100 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	4.0 m ²	1,702 円	6,808 円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	4.0 m ²	760 円	3,040 円/m	T単-4号	
下層路盤復旧	4.0 m ²	720 円	2,880 円/m	T単-5号	
諸経費	80 %	17,058 円	13,646 円/m		
計			30,704 円/m		

(被 害 の 程 度
一 般 資 産)

一般資産被害

(1) 被害の考え方

被災区域は地形勾配が1/500以上のため水害被害率は「Cグループ」を採用する。

〔一般資産水害被害率〕

資産種類等		浸水深等の規模 床下浸水	床上浸水			土砂堆積(床上)		全壊 (流失)
			50cm未満	50～99cm	100cm以上	50cm未満	50cm以上	
家屋 (木造+ 非木造)	Aグループ	0.03	0.053	0.072	0.117	0.43	0.57	1.0
	Bグループ		0.083	0.126	0.192			
	Cグループ		0.124	0.210	0.330			
家庭用品		—	0.086	0.191	0.366	0.50	0.69	
事業所	償却資産	—	0.180	0.314	0.443	0.54	0.63	
	在庫資産	—	0.127	0.276	0.398	0.48	0.56	
農・漁家	償却資産	—	0.156	0.237	0.311	0.37	0.45	
	在庫資産	—	0.199	0.370	0.510	0.58	0.69	

(注) 1. A, B, Cの各グループ区分は、地盤勾配の区分で、Aは1/1,000未満、Bは1/1,000～1/500未満、Cは1/500以上である。

2. 家屋の被害率は、木造、非木造の別の値を合成したものである。

なお、各資産の単位当たり評価額(いわゆる単価)については、「水害統計」を参照されたい。

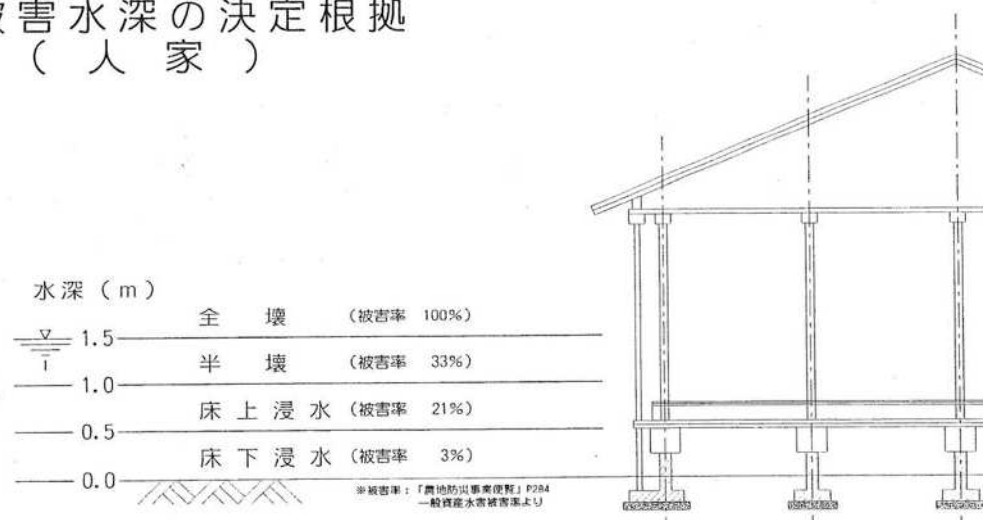
(被 害 単 価
建 築 物)

一般資産（建築物）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

想定被害水深の決定根拠 （人 家）



※宅地基礎地盤標高は、道路標高と同等と考えられる。つまり、道路における想定被害水深と宅地における想定被害水深は等しいこととした。

また、宅地における床高は「建築基準法」によると地盤より45cm以上と定められていることから、床高を概ね50cm以上とし、床上下浸水の境界とした。

建築物復旧単価

【1戸当り評価額】

建築の種類	区分	建築物の数 (棟) A	工事予定額 (百万円) B	1戸当り 工事予定額 (百万円) C=B/A	支出済費用 換算係数 D	1戸当り 工事予定額 (千円) E=C*D	備 考
住 宅	木造					23,000	別紙参照
倉 庫	その他					2,800	〃

【被害単価】

建築の種類	区分	単位当り 評価額 (千円)	浸 水 深								備考
			0.5m未満(床下浸水)		0.5～1.0m(床上浸水)		1.0～1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)		
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
住 宅	建物A										
	建物B										
	建物C	23,000	0.030	690	0.210	4,830	0.330	7,590	1.000	23,000	

建築の種類	区分	単位当り	浸 水 深								備考
		評 価 額 (千円)			0.5～1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)				
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
倉 庫	建物A										
	建物B										
	建物C	2,800	0.030	84	0.210	588	0.210	588	1.000	2,800	

福井県における用途別・構造別 建築物予定工事費整理表

用途		年度	木造				鉄骨鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造				鉄骨造				コンクリートブロック造				その他			
			建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)
1	住 宅	H. 29	2,766	60,648	1.028	22,540			1.028		3	520	1.028	178,187	296	9,854	1.028	34,221			1.028	137	166	1.028	1,242	
		H. 30	3,187	71,596	1.027	23,072			1.027		3	434	1.027	148,573	256	12,082	1.027	48,471	1	2	1.027	2,054	261	302	1.027	1,187
		R. 1	3,197	74,117	1.044	24,203			1.044		7	2,724	1.044	406,265	251	11,035	1.044	45,897			1.044	191	203	1.044	1,107	
		R. 2	2,908	65,548	1.004	22,631	1	39	1.004	38,955	2	165	1.004	82,830	224	10,146	1.004	45,475			1.004	201	187	1.004	935	
		R. 3	3,082	70,855	1.000	22,990	4	3,017	1.000	754,125	10	2,434	1.000	243,390	295	15,825	1.000	53,644			1.000	228	279	1.000	1,225	
		平均		22,367		23,000				396,500				211,800				45,500				2,000				1,100
2	産 業 用 物 建 築	H. 29	237	5,415	1.028	23,490	6	1,083	1.028	185,554	26	16,380	1.028	647,627	468	42,631	1.028	93,643	8	19	1.028	2,457	22	36	1.028	1,682
		H. 30	242	6,365	1.027	27,013	3	5,541	1.027	1,896,732	31	2,374	1.027	78,640	537	77,362	1.027	147,953	6	19	1.027	3,252	31	107	1.027	3,547
		R. 1	269	7,559	1.044	29,336	2	6,001	1.044	3,132,699	26	32,800	1.044	1,317,051	431	58,225	1.044	141,038	4	9	1.044	2,307	29	51	1.044	1,825
		R. 2	231	5,476	1.004	23,800	2	83	1.004	41,566	16	18,856	1.004	1,183,195	301	42,498	1.004	141,755			1.004	31	68	1.004	2,190	
		R. 3	222	6,010	1.000	27,072	3	56	1.000	18,500	23	13,544	1.000	588,873	414	60,547	1.000	146,250			1.000	53	390	1.000	7,353	
		平均				26,100				1,055,000				763,000				134,100				2,600				3,300
3	事 務 所	H. 26	95	10,333	1.028	111,815	44	853	1.028	19,922			1.028		1	2,995	1.028	3,078,860	50	6,485	1.028	133,340			1.028	
		H. 29	95	5,232	1.027	56,564	38	745	1.027	20,131			1.027		7	1,306	1.027	191,638	48	3,180	1.027	68,032			1.027	
		H. 30	116	9,477	1.044	85,294	53	1,029	1.044	20,269			1.044		3	910	1.044	316,680	60	7,538	1.044	131,164			1.044	
		R. 1	104	25,471	1.004	245,893	42	1,112	1.004	26,586	1	370	1.004	371,480	6	16,551	1.004	2,769,450	55	7,438	1.004	135,783			1.004	
		R. 2	135	18,215	1.000	134,922	45	1,234	1.000	27,428	1	1,670	1.000	1,670,000	1	150	1.000	150,000	88	15,160	1.000	172,275			1.000	
		R. 3				126,800				22,800				1,020,700				1,301,300				128,100				
4	店 舗	H. 29	27	804	1.028	30,604			1.028				1.028		57	793	1.028	14,300			1.028				1.028	
		H. 30	29	6,351	1.027	224,907			1.027				1.027		66	4,772	1.027	74,260			1.027	1	10	1.027	10,270	
		R. 1	21	753	1.044	37,451			1.044				1.044		46	2,629	1.044	59,672			1.044		4	1.044	4,176	
		R. 2	14	286	1.004	20,482			1.004		1	660	1.004	662,640	34	5,678	1.004	167,668			1.004				1.004	
		R. 3	23	620	1.000	26,967			1.000				1.000		44	5,117	1.000	116,300			1.000	1	6	1.000	5,640	
		平均				68,000								662,600				86,400								6,600
5	工 場	H. 29	24	467	1.028	20,001			1.028		1	7,000	1.028	7,196,000	90	14,165	1.028	161,799			1.028				1.028	
		H. 30	10	140	1.027	14,415			1.027		3	915	1.027	313,358	107	36,573	1.027	351,029	1	3	1.027	3,081			1.027	
		R. 1	17	361	1.044	22,199			1.044		2	19,000	1.044	9,918,000	78	21,314	1.044	285,286			1.044	10	1	1.044	104	
		R. 2	28	1,096	1.004	39,294			1.004		2	6,424	1.004	3,224,848	61	13,067	1.004	215,077			1.004	4	17	1.004	4,192	
		R. 3	27	839	1.000	31,063			1.000		2	2,160	1.000	1,080,000	102	18,353	1.000	179,933			1.000	13	146	1.000	11,254	
		平均				25,300								4,346,400				238,600				3,000				5,100
6	倉 庫	H. 29	206	2,933	1.028	14,639	85	514	1.028	6,222	1	4	1.028	4,019	1	18	1.028	17,990	108	2,344	1.028	22,310	4	19	1.028	4,883
		H. 30	196	5,074	1.027	26,589	71	743	1.027	10,741	1	8	1.027	8,216	1	12	1.027	12,642	107	4,187	1.027	40,191	2	8	1.027	4,005
		R. 1	179	6,852	1.044	39,966	69	642	1.044	9,712			1.044		8	2,598	1.044	339,000	98	3,605	1.044	38,406	3	7	1.044	2,332
		R. 2	194	4,373	1.004	22,631	68	517	1.004	7,627	1	500	1.004	502,000			1.004		116	3,343	1.004	28,936	5	7	1.004	1,329
		R. 3	200	6,752	1.000	33,758	62	545	1.000	8,785	2	28	1.000	13,800	3	40	1.000	13,333	124	6,124	1.000	49,391	1	2	1.000	1,500
		平均				27,500				8,600				132,000				95,700				35,800				2,800
7	学 校 校 舎	H. 29	2	420	1.028	215,880			1.028				1.028		10	2,427	1.028	249,454			1.028				1.028	
		H. 30	2	530	1.027	272,155			1.027				1.027		11	1,904	1.027	177,783			1.027				1.027	
		R. 1	2	374	1.044	194,967			1.044		1	2,718	1.044	2,838,010	7	754	1.044	112,454			1.044				1.044	
		R. 2			1.004				1.004		2	1,616	1.004	811,232	4	962	1.004	241,547			1.004				1.004	
		R. 3	1	15	1.000	15,000	1	33	1.000	33,000	2	850	1.000	425,000	1	30	1.000	30,000			1.000				1.000	
		平均				174,500				33,000				1,358,000				162,200								
8	病 院 診 療 所	H. 29	3	76	1.028	26,043			1.028		1	3,558	1.028	3,657,624	6	750	1.028	128,500			1.028				1.028	
		H. 30	13	454	1.027	35,853			1.027		1	40	1.027	41,080	3	268	1.027	91,848			1.027				1.027	
		R. 1	11	700	1.044	66,470			1.044				1.044		3	215	1.044	74,820			1.044				1.044	
		R. 2	9	482	1.004	53,750			1.004		1	4,273	1.004	4,290,092	2	14	1.004	7,028			1.004				1.004	
		R. 3	7	423	1.000	60,371			1.000		2	1,088	1.000	544,085	2	1,017	1.000	508,600			1.000				1.000	
		平均				48,400				2,133,200				162,100												

※この表は建築着工統計調査から抜粋したものである。

公 共 資 産 被 害

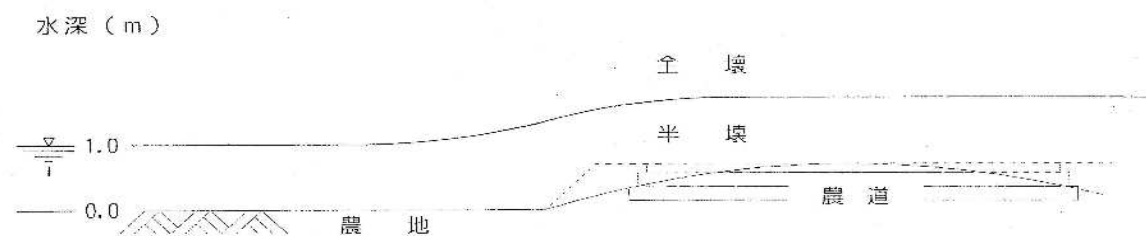
被害単価（公共道路）

公共施設被害（道路）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

想定被害水深の決定根拠 （ 農 道 ）

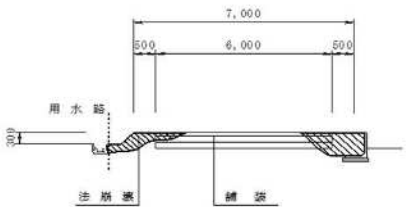


※洪水は常に流下しているが、簡易的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農地と一定水深のまま農道に
流下するものと考えられる。

その他道路復旧単価

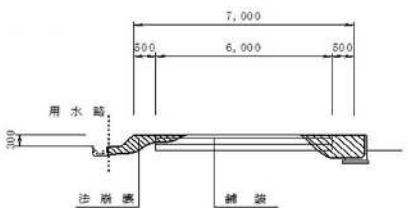
【 半 壊 】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	P96001	 密粒度アスコン t=10cm 粒度調整砕石 t=25cm 切込砕石 t=35cm
盛土工	0.60 m ³	1,647 円	988 円/m	T単-1号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	2.0 m ²	1,625 円	3,250 円/m	S単-14号	
上層路盤復旧	2.0 m ²	760 円	1,520 円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	2.0 m ²	720 円	1,440 円/m	T単-3号	
諸経費	80 %	9,428 円	7,542 円/m		
計			16,970 円/m		

【 全 壊 】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	P96001	 密粒度アスコン t=10cm 粒度調整砕石 t=25cm 切込砕石 t=35cm
盛土転圧(人力併用)	0.60 m ³	1,647 円	988 円/m	T単-1号	
法面仕上げ	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	6.0 m ²	1,625 円	9,750 円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	6.0 m ²	760 円	4,560 円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	6.0 m ²	720 円	4,320 円/m	T単-3号	
諸経費	80 %	21,848 円	17,478 円/m		
計			39,326 円/m		

国産農産物安定供給効果

ア 生産増減量及び増加粗収益額の算定

(第1表)

計画地目	作物名	作付面積					効果要因	効果発生面積	単 収 等 (kg/10a)								生産増減量				生産物単価	増加粗収益額		
		更新整備		新設整備		増減			現況単収	なかりせば			ありせば				単収増	作付増減	再建設整備	新設整備		再建設整備	新設整備	
		現況	計画	現況	計画					立地条件好転機能喪失時の単収	機能喪失により失われる単収	単収	10㍇ル当たり被害防止量	無被害単収	10㍇ル当たり増加量	計画単収								
		ha	ha	ha	ha	ha		x	a	b	c=a-b	d=a-c	e	f=a-d	g	h=f+g	i=x×c ・e・g	j=x×a・h	k=i	l=i・j	m	n=k×m	o=l×m	
田	水稲	ha	ha	ha	ha	ha		ha									t	t	t	t	千円/t	千円	千円	
		6.1	6.1	—	—	—	水管理-3計	6.1	533	224	309							18.8		18.8		255	4,794	
				—	—		作付減			—	—	—												
							水稲計	—		224	309	224	—				0	18.8		18.8			4,794	
							計	—					—	—	—	—								
							作付減			—	—	—												
							計	—														0	0	
							計	—					—	—	—	—								
							作付増			—	—	—					0							
							計	—									0			0.0		—	0	
計																			—	—		4,794	0	

イ 増加供給熱量の算定

(第2表)

地目	作物名	生産増減量		作物別重量 当たり 供給熱量 ③	増加供給熱量		備 考
		再建設整備 ①	新設整備 ②		再建設整備 ①*③	新設整備 ②*③	
田	水稻	t 18.8	t —	千kcal/t 3,040	千kcal 57,152	千kcal —	水稻(飼料用を除く)
畑							
合 計					57,152	0	

ウ 国産農産物安定供給効果の総括

(第3表)

効 果 名	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額 当たり効果額 ③	単位供給熱量当 たり効果額 ④	当該土地改良事業 における年効果額 ①*③+②*④	備 考
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円	
国産農産物安定供給効果 (事業ありせば年効果額)	—	—	49	9.9	—	新設整備
国産農産物安定供給効果 (事業なかりせば年効果額)	4,794	57,152	49	9.9	801	再建設整備
計	4,794	57,152			801	

別表

作物別重量当たり供給熱量

類 別	作 物 名	重量当たり供給熱量 (千kcal/t)	備 考
穀 類	水 稻 (飼 料 用 を 除 く)	3, 040	
	小 麦	2, 610	
	大 麦	1, 460	
	は だ か 麦	1, 810	
	そ の 他 の 雑 穀	2, 160	
いも類	か ん し よ	1, 140	
	ば れ い し よ	510	
でん粉	か ん し よ	1, 000	
	ば れ い し よ	710	
豆 類	大 豆	3, 680	
	そ の 他 の 豆 類	3, 340	
野 菜	果 菜 類	240	
	葉 茎 菜 類	180	
	根 菜 類	250	
果 実	う ん し ゅ う み か ん	310	
	り ん ご	410	
	そ の 他 の 果 実	470	
砂糖類	て ん さ い	610	
	さ と う き び	460	
油脂類	な た ね	2, 480	
肉 類	飼 料 作 物 (牛 肉 (枝 肉))	1, 580	牛肉 (枝肉) の値
	飼 料 作 物 (豚 肉 (枝 肉))	1, 330	豚肉 (枝肉) の値
	飼 料 作 物 (鶏 肉 (骨 付 き 肉))	1, 020	鶏肉 (骨付き肉) の値
鶏 卵	飼 料 作 物 (鶏 卵)	1, 180	鶏卵の値
牛 乳	飼 料 作 物 (生 乳)	620	生乳の値

令和 6 年度 着工

令和 7 年度 [第 1 回変更]

ため池等整備事業(防災重点緊急整備型)【防災重点農業用ため池緊急整備事業】

効 果 算 定 調 査 表

神 田 谷 地 区
(農 業 用 水 路)

福 井 県

地 区 の 概 要

神田谷地区

項 目	内 容	備 考																																											
地 区 概 要	本ため池(神田谷)の造成年は不明であるが、平成15年頃、市単独事業にて改修された農業用のため池であり、約6.4haの農地をかんがいしている。令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されておりこの法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。 本事業により老朽化したため池の改修を実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、地域住民の安全と安定的な農業経営を図り、早急かつ計画的に事業を推進していく。																																												
計 画 内 容	(本 地 区)農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業 <table><tr><th>工 種</th><th>数 量</th><th>規格・規模等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>た め 池 改 修</td><td>1.0 式</td><td>築堤盛土、洪水吐・取水施設改修</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工 種	数 量	規格・規模等	備 考	た め 池 改 修	1.0 式	築堤盛土、洪水吐・取水施設改修																																					
工 種	数 量	規格・規模等	備 考																																										
た め 池 改 修	1.0 式	築堤盛土、洪水吐・取水施設改修																																											
受 益 区 域	<table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="2">田 (ha)</th><th colspan="2">畑 (ha)</th><th colspan="2">計 (ha)</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>現 況</th><th>計 画</th><th>現 況</th><th>計 画</th><th>現 況</th><th>計 画</th></tr><tr><td>用 水 受 益</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td>—</td><td>—</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>6.4</td><td>6.4</td><td>—</td><td>—</td><td>6.4</td><td>6.4</td></tr></table>	工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画	用 水 受 益	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																計	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4	
工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考																																						
	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画																																							
用 水 受 益	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																																							
計	6.4	6.4	—	—	6.4	6.4																																							

営 農 状 況 及 び 営 農 計 画

神田谷地区

項 目	内 容	備 考
営 農 計 画 概 要	1. 農業経営の状況及び計画 本地区の農業経営は個別経営となっており、今後も個別で営農を行っていく予定である。	
	2. 作付状況及び計画	
	(1) 作付状況 本地区では、水稻を作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。	
	(2) 作付計画 本地区では、現状で作付けしている作物を継続することで地元合意を得ている。	

経営区分	現 況 (ha)			計 画 (ha)			備 考
	受益	不可避受益	計	受益	不可避受益	計	
水稻	6.1		6.1	6.1		6.1	
延 作 付 面 積	6.1	—	6.1	6.1	—	6.1	
本 地 面 積	6.1	—	6.1	6.1	—	6.1	
作 付 率	100.0	—	100.0	100.0	—	100.0	

総 費 用 対 象 施 設 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容												備 考
総費用 対象施設	・ 現況の余水吐はB900×H800の開水路であり、1/200年確率雨量の排水能力に欠けている。 ・ 現況取水施設は取水のための調整ゲートがないので、適切な配水が難しく営農に支障を来している。 ・ 底樋はφ300と小さく、ため池の管理が不十分である。大雨時の緊急放流ができないため、危険な状態である。												
	区分	施設 番号	施 設 名	管理団体名	設置 年度	供用 開始 年度	大 改修 年度	施 設 の 概 要 構造・数量・機能	耐用 年数	整備区分及び内容			
										事業 区分	整備区分	整 備 理 由	事業 主体
	団体営造成	1-1	ため池	羽坂町	S. 6	S. 7	—	ため池 V=5, 700m3	80	関連施設	既設利用	—	団体営
	県営造成	2-2	ため池(構造物)	羽坂町	R. 9	R. 10	—	洪水吐他	40	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営
	県営造成	3-2	ため池(その他)	羽坂町	R. 9	R. 10	—	堤体 V=5, 400m3	80	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営
	団体営造成	4	末端用水路	羽坂町	H. 5	H. 6	—	BF300～400 L=2, 340.0m	30	関連施設	既設利用	—	団体営
												—	

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考													
作物生産効果	1. 諸 元 の 整 理														
	【 作 物 単 収 】 最近 5 ヶ年の単収の加重平均値をもって現況単収とした。（「農林水産統計年報」参照）なお「水稻」については関係市町の単収を採用した。その他作物については、関係市町において「指定産地」となっている作物については、関係市町の単収、その他の作物については福井県の単収を採用した。														
	【 作 物 単 価 】 作物単価については最近 5 ヶ年の単価に消費者物価指数を乗じて算出した相対平均価格を採用した。なお、水稻については福井県農村振興課の調査による 5 ヶ年のデータを採用した。その他作物については農業物価統計調査における 5 ヶ年の全国データを採用した。（「農業物価統計調査」参照）														
	【純益率・所得率】 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和 5 年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）														
	【 本 地 率 】 現況については、地区の標準区画における本地率の算定値を採用した。また計画については、計画本地率＝現況本地率とした。（「別添作物生産効果」参照） <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">本 地 率</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>現 況</th><th>計 画</th></tr><tr><td>3 0 a 区画</td><td>96.0 %</td><td>96.0 %</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	区 分	本 地 率		摘 要	現 況	計 画	3 0 a 区画	96.0 %	96.0 %					
区 分	本 地 率		摘 要												
	現 況	計 画													
3 0 a 区画	96.0 %	96.0 %													

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考																																																							
作物生産効果	2. 本地区において発生する効果																																																								
	【更 新 効 果】																																																								
	・概 要																																																								
	農業用排水路の更新により、現況で発揮されている「効果」が今後も継続して発揮されることから、当該効果を計上する。効果の発生割合については「改訂版 新たな土地改良の効果算定マニュアル」に基づく。																																																								
	・効果発生面積																																																								
	用排水受益の現況作付面積とする。																																																								
	・増 収 率																																																								
	<table><tr><th>効果要因</th><th>対象作物</th><th>増収率(%)</th><th>記号</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>水管理改良</td><td>水稻</td><td>58.0</td><td>水管理-3</td><td>通達資料</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料																																													
	効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要																																																				
	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料																																																				

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考		
営農経費 節減効果	1. 諸 元 の 整 理			
	【 労 務 単 価 】			
	北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和5年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）			
	<table><tr><td>労務単価</td><td>1,703 円/hr</td></tr></table>	労務単価	1,703 円/hr	
	労務単価	1,703 円/hr		
	【 機械稼働単価 】			
	福井県土地改良事業諸元調査に基づき、地区の農業経営状況を考慮して算定した。			
	2. 本地区において発生する効果			
	【新設・機能向上効果】			
	該当事項なし			
【更 新 効 果】				
○用排水管理時間の増減				
・ 概 要				
「用排水なかりせば」において用排水施設の機能がなくなることにより、用排水管理に要する労働時間が変動するため、当該効果を計上する。				
・ 効果発生面積				
用排水受益における現況作付け面積とする。ただし、純益率及び所得率の標準値を使用していない作物については対象外とする。				

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考											
維持管理費 節 減 効 果	1. 諸 元 の 整 理 【 労 務 単 価 】 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 (「令和5年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照) <table><tr><td rowspan="5">労務単価</td><td>1,520 円/hr</td><td>R1</td></tr><tr><td>1,526 円/hr</td><td>R2</td></tr><tr><td>1,490 円/hr</td><td>R3</td></tr><tr><td>1,638 円/hr</td><td>R4</td></tr><tr><td>1,703 円/hr</td><td>R5</td></tr></table>	労務単価	1,520 円/hr	R1	1,526 円/hr	R2	1,490 円/hr	R3	1,638 円/hr	R4	1,703 円/hr	R5	
	労務単価		1,520 円/hr	R1									
			1,526 円/hr	R2									
			1,490 円/hr	R3									
			1,638 円/hr	R4									
		1,703 円/hr	R5										
	2. 維持管理の考え方												
	○更新施設												
	・現 況 既往年経費の平均値を採用する。												
	・なかりせば 既往年経費のうち安全管理・財産管理に必要な経費とする。												
・ありせば 計画年経費（福井県 諸元調査より）を採用する。													
○新設施設													
・現 況 該 当 な し													
・なかりせば 該 当 な し													
・ありせば 該 当 な し													

本事業により発生する便益の整理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考	
災 害 防 止 効 果	1. 災害発生要因 当該施設は、堤体の耐震アウト、基準値以上の漏水発生、斜樋ゲートの開閉不能が問題となっている。この施設状態において地震が発生した際、堤体の崩壊・洪水が発生し、下流農地及び住宅に被害が及ぶため、その被害額を算定する。		
	○越流量 <table><tr><td>越流量</td><td>19.6 m3/s</td></tr></table>	越流量	19.6 m3/s
越流量	19.6 m3/s		

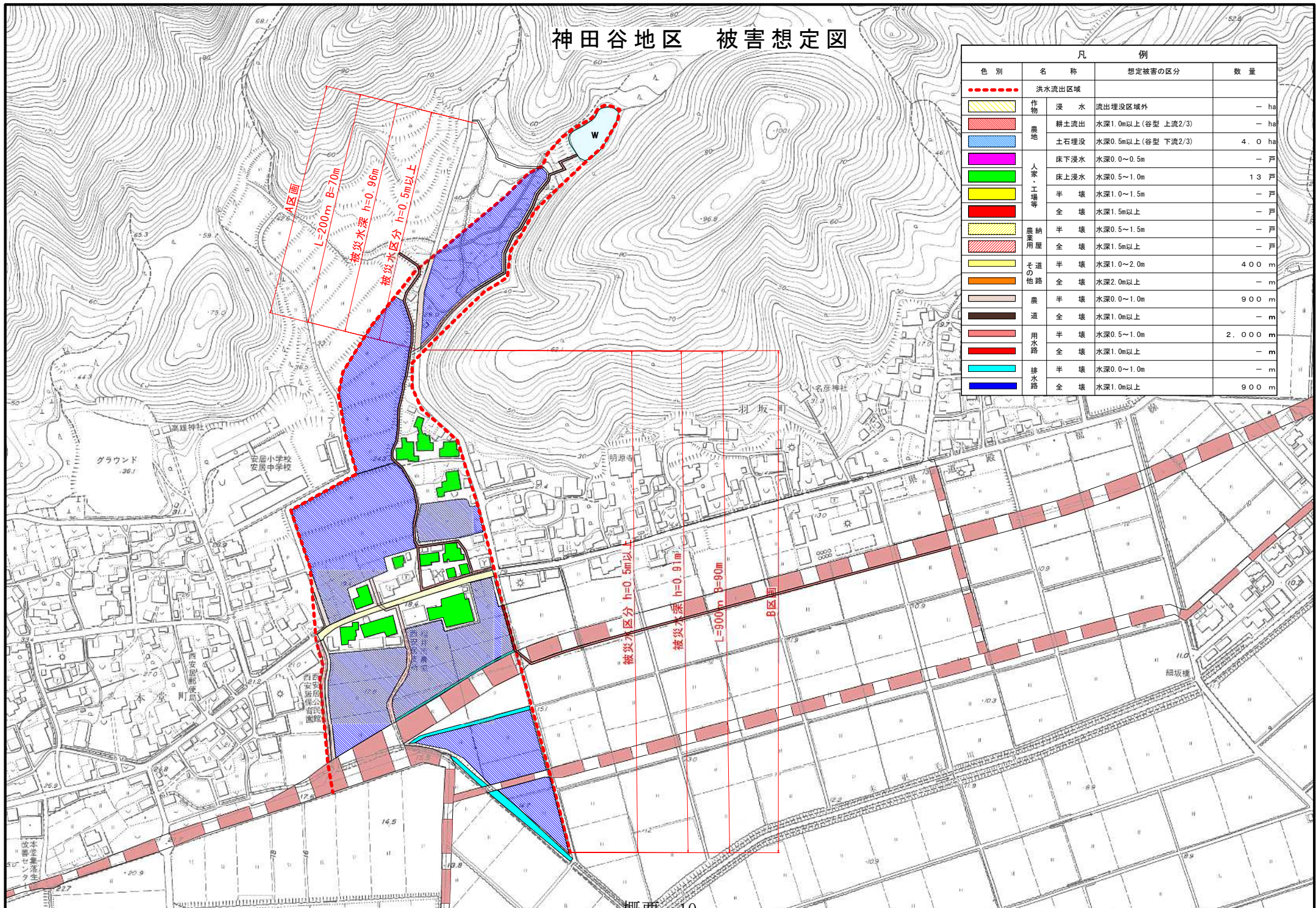
本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

神田谷地区

項 目	内 容	備 考
国産農産物 安定供給 効	1. 諸 元 の 整 理 【 原 単 位 】 当該効果における減単位は次のとおりとする。 単位食料生産額当り効果額 49 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)	
	2. 本地区において発生する効果 本地区では、今後も食料生産を継続するとともに、計画において生産量が増減することから、当該効果を計上する。	

神田谷地区 被害想定図

凡 例			
色 別	名 称	想定被害の区分	数 量
-----	洪水流出区域		
斜線	作物	浸 水	流出埋没区域外
斜線	農地	耕土流出	水深1.0m以上(谷型 上流2/3)
斜線		土石埋没	水深0.5m以上(谷型 下流2/3)
斜線	人家・工場等	床下浸水	水深0.0~0.5m
斜線		床上浸水	水深0.5~1.0m
斜線		半 壊	水深1.0~1.5m
斜線		全 壊	水深1.5m以上
斜線	農業用屋	半 壊	水深0.5~1.5m
斜線		全 壊	水深1.5m以上
斜線	その他路	半 壊	水深1.0~2.0m
斜線		全 壊	水深2.0m以上
斜線	農 道	半 壊	水深0.0~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上
斜線	用水路	半 壊	水深0.5~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上
斜線	排水路	半 壊	水深0.0~1.0m
斜線		全 壊	水深1.0m以上



総 費 用 総 便 益 比
及 び 所 得 償 還 率

1. 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第1表)

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 費 用 (現 在 価 値 化)	③=①+②	229,449 千円	
当 該 事 業 に よ る 費 用	①	141,882 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	87,567 千円	
年 償 還 額	④	－ 千円/年	
う ち 機 能 向 上 分	④'	－ 千円/年	
年 総 効 果 (便 益) 額	⑤	11,234 千円	
現 況 年 総 農 業 所 得 額	⑥	2,215 千円	
年 総 増 加 農 業 所 得 額	⑦	-11 千円	
評 価 期 間 (当 該 事 業 の 工 事 期 間 +40 年)		44 年	工事期間 4 年 + 40 年 間
割 引 率		0.04	
総 便 益 額 (現 在 価 値 化)	⑧	243,679 千円	
総 費 用 総 便 益 比	⑨=⑧÷③	1.06	≥1.00
総 所 得 償 還 率	⑩=④ ÷ ⑥ × 100	－ %	≤20.0%
増 加 所 得 償 還 率	⑪=④' ÷ ⑦ × 100	－ %	≤40.0%

2. 総費用の総括

(単位:千円) (第2表)

費用区分 区分・施設番号・整備区分・施設名			事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全 ・再整備費 ④	評価期間 修了 時点の 資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④-⑤	備考
当該事業	1-1	ため池	—	—	—	—	—	—	
	2-2	ため池(構造物)	—	71,088	—	13,787	13,787	71,088	
	3-2	ため池(その他)	—	70,794	—	—	5,667	65,127	
	4	末端用水路	40,883	—	—	56,389	4,038	93,234	
			—	—	—	—	—	—	
		計	40,883	141,882	—	70,176	23,492	229,449	
造成 その他 施設									
		計							
合 計			40,883	141,882	—	70,176	23,492	229,449	

3. 年総効果額及び年総増加農業所得額の総括

(第3表)

区 分 効果項目	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額		備 考
			う ち 機 能 向 上 分	
食糧の安定供給の確保に関する効果	5,702	△11	△11	
作物生産効果	4,228	—	—	
営農経費節減効果	1,547	—	—	
維持管理費節減効果	△73	△11	△11	
農業の持続的発展に関する効果	1,730	—	—	
災害防止効果（農業資産）	1,730	—	—	
農村の振興に関する効果	2,713	—	—	
災害防止効果（一般資産）	2,713	—	—	
多面的機能の発揮に関する効果	293	—	—	
災害防止効果（公共資産）	293	—	—	
その他の効果	796	—	—	
国産農産物安定供給効果	796	—	—	
合 計	11,234	△11	△11	

4. 農家負担年償還額の総括

(第4表)

事業名		事業費 A	負担率(%)				農家負担額 C=A×B	年賦金率 D	農家負担 年償還額 E=C×D	備考
			国	県	市町	地元 B				
当 該 事 業	ため池等整備事業(防災重点緊急整備型)	150,000	55.0	35.0	10.0	—	—	—	—	
	計	150,000					—	—	—	
関 連 事 業										
	計	—					—	—	—	
合 計		150,000					—	—	—	

5. 総便益算出表

(第5表)

評 価 期 間 度	年	割引率 (+割引率)	経 過 年	作 物 生 産 効 果						営 農 経 費 節 減 効 果						維 持 管 理 費 節 減 効 果						災 害 防 止 効 果 (農 業 資 産)											
				更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計		更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計		更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計		更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計							
				年 効	年 効	効果 発生	年 効	同 左	年 効	年 効	効果 発生	年 効	同 左	年 効	年 効	効果 発生	年 効	同 左	年 効	年 効	効果 発生	年 効	同 左	年 効	年 効	効果 発生	年 効	同 左					
				果 額 B	果 額 C	割合 D	効果額 E=C×D	果 額 F=B+E	割 引 後 G=F/A	果 額 B	果 額 C	割合 D	効果額 E=C×D	果 額 F=B+E	割 引 後 G=F/A	果 額 B	果 額 C	割合 D	効果額 E=C×D	果 額 F=B+E	割 引 後 G=F/A	果 額 B	果 額 C	割合 D	効果額 E=C×D	果 額 F=B+E	割 引 後 G=F/A	果 額 B	果 額 C	割合 D	効果額 E=C×D	果 額 F=B+E	割 引 後 G=F/A
				(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
0	R.5	0.9246	-2	4,228	0	8.6	0	4,228	4,397	1,547	0	8.6	0	1,547	1,609	△62	△11	0.0	0	△62	△64	0	1,730	8.6	149	149	155						
1	R.6	0.9615	-1	4,228	0	68.0	0	4,228	4,228	1,547	0	68.0	0	1,547	1,547	△62	△11	0.0	0	△62	△62	0	1,730	68.0	1,176	1,176	1,176						
2	R.7	1.0000	0	4,228	0	99.3	0	4,228	4,065	1,547	0	99.3	0	1,547	1,488	△62	△11	0.0	0	△62	△60	0	1,730	99.3	1,718	1,718	1,652						
3	R.8	1.0400	1	4,228	0	100.0	0	4,228	3,909	1,547	0	100.0	0	1,547	1,430	△62	△11	0.0	0	△62	△57	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,599						
4	R.9	1.0816	2	4,228	0	100.0	0	4,228	3,759	1,547	0	100.0	0	1,547	1,375	△62	△11	100.0	△11	△73	△65	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,538						
5	R.10	1.1249	3	4,228	0	100.0	0	4,228	3,614	1,547	0	100.0	0	1,547	1,322	△62	△11	100.0	△11	△73	△62	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,479						
6	R.11	1.1699	4	4,228	0	100.0	0	4,228	3,475	1,547	0	100.0	0	1,547	1,271	△62	△11	100.0	△11	△73	△60	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,422						
7	R.12	1.2167	5	4,228	0	100.0	0	4,228	3,342	1,547	0	100.0	0	1,547	1,223	△62	△11	100.0	△11	△73	△58	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,367						
8	R.13	1.2653	6	4,228	0	100.0	0	4,228	3,213	1,547	0	100.0	0	1,547	1,176	△62	△11	100.0	△11	△73	△55	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,315						
9	R.14	1.3159	7	4,228	0	100.0	0	4,228	3,089	1,547	0	100.0	0	1,547	1,130	△62	△11	100.0	△11	△73	△53	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,264						
10	R.15	1.3686	8	4,228	0	100.0	0	4,228	2,971	1,547	0	100.0	0	1,547	1,087	△62	△11	100.0	△11	△73	△51	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,215						
11	R.16	1.4233	9	4,228	0	100.0	0	4,228	2,856	1,547	0	100.0	0	1,547	1,045	△62	△11	100.0	△11	△73	△49	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,169						
12	R.17	1.4802	10	4,228	0	100.0	0	4,228	2,746	1,547	0	100.0	0	1,547	1,005	△62	△11	100.0	△11	△73	△47	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,124						
13	R.18	1.5395	11	4,228	0	100.0	0	4,228	2,641	1,547	0	100.0	0	1,547	966	△62	△11	100.0	△11	△73	△46	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,081						
14	R.19	1.6010	12	4,228	0	100.0	0	4,228	2,539	1,547	0	100.0	0	1,547	929	△62	△11	100.0	△11	△73	△44	0	1,730	100.0	1,730	1,730	1,039						
15	R.20	1.6651	13	4,228	0	100.0	0	4,228	2,442	1,547	0	100.0	0	1,547	893	△62	△11	100.0	△11	△73	△42	0	1,730	100.0	1,730	1,730	999						
16	R.21	1.7317	14	4,228	0	100.0	0	4,228	2,348	1,547	0	100.0	0	1,547	859	△62	△11	100.0	△11	△73	△41	0	1,730	100.0	1,730	1,730	961						
17	R.22	1.8009	15	4,228	0	100.0	0	4,228	2,257	1,547	0	100.0	0	1,547	826	△62	△11	100.0	△11	△73	△39	0	1,730	100.0	1,730	1,730	924						
18	R.23	1.8730	16	4,228	0	100.0	0	4,228	2,171	1,547	0	100.0	0	1,547	794	△62	△11	100.0	△11	△73	△37	0	1,730	100.0	1,730	1,730	888						
19	R.24	1.9479	17	4,228	0	100.0	0	4,228	2,087	1,547	0	100.0	0	1,547	764	△62	△11	100.0	△11	△73	△36	0	1,730	100.0	1,730	1,730	854						
20	R.25	2.0258	18	4,228	0	100.0	0	4,228	2,007	1,547	0	100.0	0	1,547	734	△62	△11	100.0	△11	△73	△35	0	1,730	100.0	1,730	1,730	821						
21	R.26	2.1068	19	4,228	0	100.0	0	4,228	1,930	1,547	0	100.0	0	1,547	706	△62	△11	100.0	△11	△73	△33	0	1,730	100.0	1,730	1,730	790						
22	R.27	2.1911	20	4,228	0	100.0	0	4,228	1,855	1,547	0	100.0	0	1,547	679	△62	△11	100.0	△11	△73	△32	0	1,730	100.0	1,730	1,730	759						
23	R.28	2.2788	21	4,228	0	100.0	0	4,228	1,784	1,547	0	100.0	0	1,547	653	△62	△11	100.0	△11	△73	△31	0	1,730	100.0	1,730	1,730	730						
24	R.29	2.3699	22	4,228	0	100.0	0	4,228	1,715	1,547	0	100.0	0	1,547	628	△62	△11	100.0	△11	△73	△30	0	1,730	100.0	1,730	1,730	702						
25	R.30	2.4647	23	4,228	0	100.0	0	4,228	1,649	1,547	0	100.0	0	1,547	604	△62	△11	100.0	△11	△73	△28	0	1,730	100.0	1,730	1,730	675						
26	R.31	2.5633	24	4,228	0	100.0	0	4,228	1,586	1,547	0	100.0	0	1,547	580	△62	△11	100.0	△11	△73	△27	0	1,730	100.0	1,730	1,730	649						
27	R.32	2.6658	25	4,228	0	100.0	0	4,228	1,525	1,547	0	100.0	0	1,547	558	△62	△11	100.0	△11	△73	△26	0	1,730	100.0	1,730	1,730	624						
28	R.33	2.7725	26	4,228	0	100.0	0	4,228	1,466	1,547	0	100.0	0	1,547	537	△62	△11	100.0	△11	△73	△25	0	1,730	100.0	1,730	1,730	600						
29	R.34	2.8834	27	4,228	0	100.0	0	4,228	1,410	1,547	0	100.0	0	1,547	516	△62	△11	100.0	△11	△73	△24	0	1,730	100.0	1,730	1,730	577						
30	R.35	2.9987	28	4,228	0	100.0	0	4,228	1,356	1,547	0	100.0	0	1,547	496	△62	△11	100.0	△11	△73	△23	0	1,730	100.0	1,730	1,730	555						
31	R.36	3.1187	29	4,228	0	100.0	0	4,228	1,304	1,547	0	100.0	0	1,547	477	△62	△11	100.0	△11	△73	△23	0	1,730	100.0	1,730	1,730	533						
32	R.37	3.2434	30	4,228	0	100.0	0	4,228	1,253	1,547	0	100.0	0	1,547	459	△62	△11	100.0	△11	△73	△22	0	1,730	100.0	1,730	1,730	513						
33	R.38	3.3731	31	4,228	0	100.0	0	4,228	1,205	1,547	0	100.0	0	1,547	441	△62	△11	100.0	△11	△73	△21	0	1,730	100.0	1,730	1,730	493						
34	R.39	3.5081	32	4,228	0	100.0	0	4,228	1,159	1,547	0	100.0	0	1,547	424	△62	△11	100.0	△11	△73	△20	0	1,730	100.0	1,730	1,730	474						
35	R.40	3.6484	33	4,228	0	100.0	0	4,228	1,114	1,547	0	100.0	0	1,547	408	△62	△11	100.0	△11	△73	△19	0	1,730	100.0	1,730	1,730	456						
36	R.41	3.7943	34	4,228	0	100.0	0	4,228	1,071	1,547	0	100.0	0	1,547	392	△62	△11	100.0	△11	△73	△18	0	1,730	100.0	1,730	1,730	438						
37	R.42	3.9461	35	4,228	0	100.0	0	4,228	1,030	1,547	0	100.0	0	1,547	377	△62	△11	100.0	△11	△73	△18	0	1,730	100.0	1,730	1,730	422						
38	R.43	4.1039	36	4,228	0	100.0	0	4,228	991	1,547	0	100.0	0	1,547	362	△62	△11	100.0	△11	△73	△17	0	1,730	100.0	1,730	1,730	405						
39	R.44	4.2681	37	4,228	0	100.0	0	4,228	953	1,547	0	100.0	0	1,547	349	△62	△11	100.0	△11	△73	△16	0	1,730	100.0	1,730	1,730	390						
40	R.45	4.4388	38	4,228	0	100.0	0	4,228	916	1,547	0	100.0	0	1,547	335	△62	△11	100.0	△11	△73	△16	0	1,730	100.0	1,730	1,730	375						
41	R.46	4.6164	39	4,228	0	100.0	0	4,228	881	1,547	0	100.0	0	1,547	322	△62	△11	100.0	△11	△73	△15	0	1,730	100.0	1,730	1,730	360						
42	R.47	4.8010	40	4,228	0	100.0	0	4,228	847	1,547	0	100.0	0	1,547	310	△62	△11	100.0	△11	△73	△15	0	1,730	100.0	1,730	1,730	346						
43	R.48	4.9931	41	4,228	0	100.0	0	4,228	814	1,547	0	100.0	0	1,547	298	△62	△11	100.0	△11	△73	△14	0	1,730	100.0	1,730	1,730	333						
44	R.49	5.1928	42	4,228	0	100.0	0	4,228	93.970	1,547	0	100.0	0	1,547	34.384	△62	△11	100.0	△11	△73	△1.576	0	1,730	100.0	1,730	1,730	36.241						
合 計 (総便益額)									93.970					34.384						△1.576								36.241					

5. 総便益算出表

(第5表)

評 価 期 間	年 度	割引率 (1+割引率)	経 過 年	災 害 防 止 効 果 (一 般 資 産)						災 害 防 止 効 果 (公 共 資 産)						国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果						割 引 後 効 果 額 合 計 H=ΣG (千円)
				更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		
				年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年発生 効果額 E=C*D (千円)	果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	
0	R.5	0.9246	-2																			
1	R.6	0.9615	-1	0	2,713	8.6	233	233	242	0	293	8.6	25	25	26	796	0	8.6	0	796	828	
2	R.7	1.0000	0	0	2,713	68.0	1,845	1,845	1,845	0	293	68.0	199	199	199	796	0	68.0	0	796	796	
3	R.8	1.0400	1	0	2,713	99.3	2,694	2,694	2,590	0	293	99.3	291	291	280	796	0	99.3	0	796	765	
4	R.9	1.0816	2	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,508	0	293	100.0	293	293	271	796	0	100.0	0	796	736	
5	R.10	1.1249	3	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,412	0	293	100.0	293	293	260	796	0	100.0	0	796	708	
6	R.11	1.1699	4	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,319	0	293	100.0	293	293	250	796	0	100.0	0	796	680	
7	R.12	1.2167	5	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,230	0	293	100.0	293	293	241	796	0	100.0	0	796	654	
8	R.13	1.2653	6	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,144	0	293	100.0	293	293	232	796	0	100.0	0	796	629	
9	R.14	1.3159	7	0	2,713	100.0	2,713	2,713	2,062	0	293	100.0	293	293	223	796	0	100.0	0	796	605	
10	R.15	1.3686	8	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,982	0	293	100.0	293	293	214	796	0	100.0	0	796	582	
11	R.16	1.4233	9	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,906	0	293	100.0	293	293	206	796	0	100.0	0	796	559	
12	R.17	1.4802	10	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,833	0	293	100.0	293	293	198	796	0	100.0	0	796	538	
13	R.18	1.5395	11	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,762	0	293	100.0	293	293	190	796	0	100.0	0	796	517	
14	R.19	1.6010	12	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,695	0	293	100.0	293	293	183	796	0	100.0	0	796	497	
15	R.20	1.6651	13	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,629	0	293	100.0	293	293	176	796	0	100.0	0	796	478	
16	R.21	1.7317	14	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,567	0	293	100.0	293	293	169	796	0	100.0	0	796	460	
17	R.22	1.8009	15	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,506	0	293	100.0	293	293	163	796	0	100.0	0	796	442	
18	R.23	1.8730	16	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,448	0	293	100.0	293	293	156	796	0	100.0	0	796	425	
19	R.24	1.9479	17	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,393	0	293	100.0	293	293	150	796	0	100.0	0	796	409	
20	R.25	2.0258	18	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,339	0	293	100.0	293	293	145	796	0	100.0	0	796	393	
21	R.26	2.1068	19	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,288	0	293	100.0	293	293	139	796	0	100.0	0	796	378	
22	R.27	2.1911	20	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,238	0	293	100.0	293	293	134	796	0	100.0	0	796	363	
23	R.28	2.2788	21	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,191	0	293	100.0	293	293	129	796	0	100.0	0	796	349	
24	R.29	2.3699	22	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,145	0	293	100.0	293	293	124	796	0	100.0	0	796	336	
25	R.30	2.4647	23	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,101	0	293	100.0	293	293	119	796	0	100.0	0	796	323	
26	R.31	2.5633	24	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,058	0	293	100.0	293	293	114	796	0	100.0	0	796	311	
27	R.32	2.6658	25	0	2,713	100.0	2,713	2,713	1,018	0	293	100.0	293	293	110	796	0	100.0	0	796	299	
28	R.33	2.7725	26	0	2,713	100.0	2,713	2,713	979	0	293	100.0	293	293	106	796	0	100.0	0	796	287	
29	R.34	2.8834	27	0	2,713	100.0	2,713	2,713	941	0	293	100.0	293	293	102	796	0	100.0	0	796	276	
30	R.35	2.9987	28	0	2,713	100.0	2,713	2,713	905	0	293	100.0	293	293	98	796	0	100.0	0	796	265	
31	R.36	3.1187	29	0	2,713	100.0	2,713	2,713	870	0	293	100.0	293	293	94	796	0	100.0	0	796	255	
32	R.37	3.2434	30	0	2,713	100.0	2,713	2,713	836	0	293	100.0	293	293	90	796	0	100.0	0	796	245	
33	R.38	3.3731	31	0	2,713	100.0	2,713	2,713	804	0	293	100.0	293	293	87	796	0	100.0	0	796	236	
34	R.39	3.5081	32	0	2,713	100.0	2,713	2,713	773	0	293	100.0	293	293	84	796	0	100.0	0	796	227	
35	R.40	3.6484	33	0	2,713	100.0	2,713	2,713	744	0	293	100.0	293	293	80	796	0	100.0	0	796	218	
36	R.41	3.7943	34	0	2,713	100.0	2,713	2,713	715	0	293	100.0	293	293	77	796	0	100.0	0	796	210	
37	R.42	3.9461	35	0	2,713	100.0	2,713	2,713	688	0	293	100.0	293	293	74	796	0	100.0	0	796	202	
38	R.43	4.1039	36	0	2,713	100.0	2,713	2,713	661	0	293	100.0	293	293	71	796	0	100.0	0	796	194	
39	R.44	4.2681	37	0	2,713	100.0	2,713	2,713	636	0	293	100.0	293	293	69	796	0	100.0	0	796	186	
40	R.45	4.4388	38	0	2,713	100.0	2,713	2,713	611	0	293	100.0	293	293	66	796	0	100.0	0	796	179	
41	R.46	4.6164	39	0	2,713	100.0	2,713	2,713	588	0	293	100.0	293	293	63	796	0	100.0	0	796	172	
42	R.47	4.8010	40	0	2,713	100.0	2,713	2,713	565	0	293	100.0	293	293	61	796	0	100.0	0	796	166	
43	R.48	4.9931	41	0	2,713	100.0	2,713	2,713	543	0	293	100.0	293	293	59	796	0	100.0	0	796	159	
44	R.49	5.1928	42	0	2,713	100.0	2,713	2,713	522	0	293	100.0	293	293	56	796	0	100.0	0	796	153	
合 計 (総便益額)									56,832						6,138						17,690	243,679

6. 現況年総農業所得額の算定

(第6表)

計画地目	作物名	現況 作付面積 A (ha)	現況単収 B (kg/10a)	生産量 C=A*B (t)	生産物 単価 D (円/kg)	粗収益額 E=C*D (千円/t)	所得率 F (%)	現況年 総農業 所得額 G=E*F (千円)
田	水稲	6.1	529	32.3	254	8,204	27	2,215
田(畑利用)								
	小計	6.1				—		—
普通畑								
	小計	—				—		—
合計		6.1				8,204		2,215

総 費 用 の 算 出

(1) 対象施設の概要整理

(第1表)

[illegible]

施設番号	項 目	評価期間：基準年 当該事業(評価年)										評価期間：一定期間(40年)										合 計											
		H.1 1989	H.2 1990	H.3 1991	H.4 1992	H.5 1993	R.5 2023	R.6 2024	R.7 2025	R.8 2026	R.9 2027							R.35 2053									R.49 2067	建設費	施設 整備費	当該 事業費	関 連 事業費	評価期間 における 再整備費	
施設名	支出済費用総額	1.6930	1.6260	1.5610	1.5370	1.5230	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000						
	基準年度＝ R.7年度 経過年数	0.2437	0.2534	0.2636	0.2741	0.2851	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987	4.1039	4.2681	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928											
1-1	費用区分 防 保 全	-36	-35	-34	-33	-32	-2	-1	0	1	2	25	26	27	28	36	37	38	39	40	41	42											
ため池	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
計	施設整備引換額																																
2-2	費用区分 防 保 全																																
ため池（構造物）	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
計	施設整備引換額																																
3-2	費用区分 防 保 全																																
ため池（その他）	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
	工事費(償却施設)																																
	用地費																																
	その他の費用																																
計	施設整備引換額																																
4	費用区分 防 保 全																																
末端用水路	工事費(償却施設)	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	39,309																										
	用地費																																
	その他の費用																																
	工事費(償却施設)	3,115	9,057	9,023	9,038	9,076	40,017																										
	用地費																																
	その他の費用																																
計	施設整備引換額	1,840	5,570	5,780	5,880	5,959	39,309																										
合 計	施設整備引換額	3,115	9,057	9,023	9,038	9,076	40,017	12,410	84,954	44,865	954																						
	割引後	12,782	35,742	34,230	32,973	31,834	43,280	12,907	84,954	43,139	862																						

施設番号	項 目																					
	和 暦		H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20
施設名	西 暦		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
	支出済費用換算係数		1.6930	1.6260	1.5610	1.5370	1.5230	1.5170	1.4950	1.4860	1.4590	1.4870	1.4990	1.4950	1.5140	1.5180	1.5190	1.4950	1.4440	1.4190	1.4080	1.3250
	基準年度－	割引率	0.2437	0.2534	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	0.3207	0.3335	0.3468	0.3607	0.3751	0.3901	0.4057	0.4220	0.4388	0.4564	0.4746	0.4936	0.5134
	R.7年度	経過年数	-36	-35	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23	-22	-21	-20	-19	-18	-17
1-1	費 用 区 分																					
ため池	全 体	耐用年数	80年																			
		償却施設費	換算額																			
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用 地 費																					
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-2	費 用 区 分																					
ため池（構造物）	全 体	耐用年数	40年																			
		償却施設費	換算額																			
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用 地 費																					
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-2	費 用 区 分																					
ため池（その他）	全 体	耐用年数	80年																			
		償却施設費	換算額																			
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用 地 費																					
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	費 用 区 分		施設建設	施設建設	施設建設	施設建設	施設建設															
末端用水路	全 体	耐用年数	30年				30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
		償却施設費	換算額				39,309	37,999	36,689	35,379	34,069	32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968	19,658
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用 地 費						-															
	計		-	-	-	-	39,309	37,999	36,689	35,379	34,069	32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968	19,658

施設番号	項 目																基準年 (評価年)	評価期間：当該事業の工事期間			
			H. 21 2009	H. 22 2010	H. 23 2011	H. 24 2012	H. 25 2013	H. 26 2014	H. 27 2015	H. 28 2016	H. 29 2017	H. 30 2018	R. 1 2019	R. 2 2020	R. 3 2021	R. 4 2022	R. 5 2023	当該着工 R. 6 2024	当該事業 R. 7 2025	当該事業 R. 8 2026	当該完了 R. 9 2027
施設名	支出済費用換算係数		1.3630	1.3510	1.3330	1.3860	1.3280	1.2930	1.2920	1.3130	1.2630	1.2570	1.2360	1.2480	1.1560	1.0430	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度－	割引率	0.5339	0.5553	0.5775	0.6006	0.6246	0.6486	0.6756	0.7026	0.7307	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816
	R. 7年度 経過年数		-16	-15	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2
1-1	費用区分																				
ため池	全 体	耐用年数 80年																			
		償却施設費 換算額															-	-	-	-	-
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-2	費用区分																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業
ため池 (構造物)	全 体	耐用年数 40年																			40
		償却施設費 換算額																			71,591
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			-
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71,591
3-2	費用区分																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業
ため池 (その他)	全 体	耐用年数 80年																			80
		償却施設費 換算額																-	-	-	53,410
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	2,727			2,727
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,727	-	-	56,137
4	費用区分																再整備				
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26
		償却施設費 換算額	18,347	17,037	15,726	14,416	13,105	11,795	10,484	9,174	7,863	6,553	5,242	3,932	2,621	1,311	39,309	37,999	36,689	35,379	34,069
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																	-			
	計		18,347	17,037	15,726	14,416	13,105	11,795	10,484	9,174	7,863	6,553	5,242	3,932	2,621	1,311	39,309	37,999	36,689	35,379	34,069

施設番号	項 目		評価期間：一定期間（40年）																							
			R. 10	R. 11	R. 12	R. 13	R. 14	R. 15	R. 16	R. 17	R. 18	R. 19	R. 20	R. 21	R. 22	R. 23	R. 24	R. 25	R. 26	R. 27	R. 28	R. 29	R. 30	R. 31		
	和 暦	西 暦	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049		
施設名	支出済費用換算係数		1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度＝	割引率	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633		
	R. 7年度	経過年数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
1-1	費用区分																									
ため池	全 体	耐用年数 80年																								
		償却施設費 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
2-2	費用区分																									
ため池（構造物）	全 体	耐用年数 40年	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18		
		償却施設費 換算額	69,801	68,011	66,221	64,431	62,641	60,851	59,061	57,271	55,481	53,691	51,901	50,111	48,321	46,531	44,741	42,951	41,161	39,371	37,581	35,791	34,001	32,211		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		69,801	68,011	66,221	64,431	62,641	60,851	59,061	57,271	55,481	53,691	51,901	50,111	48,321	46,531	44,741	42,951	41,161	39,371	37,581	35,791	34,001	32,211		
3-2	費用区分																									
ため池（その他）	全 体	耐用年数 80年	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58		
		償却施設費 換算額	52,742	52,074	51,406	50,738	50,070	49,402	48,734	48,066	47,398	46,730	46,062	45,394	44,726	44,058	43,390	42,722	42,054	41,386	40,718	40,050	39,383	38,715		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		52,742	52,074	51,406	50,738	50,070	49,402	48,734	48,066	47,398	46,730	46,062	45,394	44,726	44,058	43,390	42,722	42,054	41,386	40,718	40,050	39,383	38,715		
4	費用区分																									
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4		
		償却施設費 換算額	32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968	19,658	18,347	17,037	15,726	14,416	13,105	11,795	10,484	9,174	7,863	6,553	5,242		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費																									
	計		32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968	19,658	18,347	17,037	15,726	14,416	13,105	11,795	10,484	9,174	7,863	6,553	5,242		

施設番号	項 目		評価期間：一定期間（40年）																	評価終了 R.49 2067	事業着工 時 点 の 資産価額	評価期間 終了時点 (工期+40) の 資 産 価 額
	和 暦	R.32	R.33	R.34	R.35	R.36	R.37	R.38	R.39	R.40	R.41	R.42	R.43	R.44	R.45	R.46	R.47	R.48				
	西 暦	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066				
施設名	支出済費用換算係数		1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度－ R.7年度	割引率	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928		
	R.7年度 経過年数		25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42		
1-1	費用区分																					
ため池	全 体	耐用年数 80年																				
		償却施設費 換算額																				
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
用地費																				－	（ 割 引 後 ）	
計																						
2-2	費用区分																			再整備		
ため池（溝造物）	全 体	耐用年数 40年	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	40		
		償却施設費 換算額	30,422	28,632	26,843	25,053	23,264	21,474	19,685	17,895	16,106	14,316	12,527	10,737	8,948	7,158	5,369	3,579	1,790	71,591		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
用地費																					－	（ 割 引 後 ）
計			30,422	28,632	26,843	25,053	23,264	21,474	19,685	17,895	16,106	14,316	12,527	10,737	8,948	7,158	5,369	3,579	1,790	71,591		13,787
3-2	費用区分																					
ため池（その他）	全 体	耐用年数 80年	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40		
		償却施設費 換算額	38,048	37,380	36,713	36,045	35,378	34,710	34,043	33,375	32,708	32,040	31,373	30,705	30,038	29,370	28,703	28,035	27,368	26,700		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
用地費																					2,727	（ 割 引 後 ）
計			38,048	37,380	36,713	36,045	35,378	34,710	34,043	33,375	32,708	32,040	31,373	30,705	30,038	29,370	28,703	28,035	27,368	29,427		5,667
4	費用区分					再整備																
末端用水路	全 体	耐用年数 30年	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16		
		償却施設費 換算額	3,932	2,621	1,311	39,309	37,999	36,689	35,379	34,069	32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968		
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費 換算額																				
用地費																					－	（ 割 引 後 ）
計			3,932	2,621	1,311	39,309	37,999	36,689	35,379	34,069	32,759	31,449	30,139	28,829	27,519	26,209	24,899	23,589	22,279	20,968		40,883 4,038

(4) 総費用の総括

(単位:千円) (第4表)

費 用 区 分 区分・施設番号・施設名			事業着工 時 点 の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全 ・再整備費 ④	評価期間 修　了 時 点 の 資産価額 ⑤	総 費 用 ①+②+③+④-⑤	備　考
団体営	1-1	ため池	—	—	—	—	—	—	
県営	2-2	ため池(構造物)	—	71,088	—	13,787	13,787	71,088	
県営	3-2	ため池(その他)	—	70,794	—	—	5,667	65,127	
団体営	4	末端用水路	40,883	—	—	56,389	4,038	93,234	
計			40,883	141,882	—	70,176	23,492	229,449	

作物生産効果

〔 新 設 整 備 〕
該 当 事 項 な し

〔 更 新 整 備 〕

1. 面積関係の算定

ア. 地目別面積及び本地面積一覧表

(第12表)

計 (現 況 (なかりせば)		農 用 地				非 農 用 地		合 計 (ha)	う ち 本地面積 (ha)
		田 (ha)	普 通 畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	牧 草 畑 (ha)	計 (ha)	農 道・ 用排水路 (ha)	そ の 他 (ha)	
農 用 地	田 (ha)	(6.40 6.40) < — >	—			(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >
	輪換耕地 (ha)	(6.40 6.40) < — >	—			(6.40 6.40) < — >			(6.40 6.40) < — >
	普 通 畑 (ha)					(—) < — >			(—) < — >
	樹 園 地 (ha)					(—) < — >			(—) < — >
	牧 草 畑 (ha)					(—) < — >			(—) < — >
	計 (ha)	(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >
非 農 用 地	農 道・ 用排水路 (ha)					(—) < — >	—		(—) < — >
	そ の 他 (ha)					(—) < — >			(—) < — >
合 計 (ha)		(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.40 6.40) < — >
うち本地面積 (ha)		(6.10 6.10) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(—) < — >	(6.10 6.10) < — >			

※注記

- ・田の()は、水田の畑利用で内数
- ・田の〈 〉は、排水に係る不可避免受益で外数

イ. 本 地 率

(第12表の作業表)

地 目 班	傾 斜、区 画 の 条 件	本地率 (%)	備 考
		現 況	
田 → 田	1/1000, 30 a 区画	96.0	別添本地率算定表より

本地率算定表

(第12表の参考表)

区 分	標準区画イメージ図		本地率算定
現況 (30a区画)			区画面積： $100 \text{ m} \times 30 \text{ m} = 3,000 \text{ m}^2$ 田面差： $0.70 \text{ m} - 0.30 \text{ m} = 0.40 \text{ m}$ 畦畔面積： $(0.70 \text{ m} + 0.30 \text{ m} + 0.30 \text{ m}) \times 100 \text{ m} = 130 \text{ m}^2$ 本地面積： $3,000 \text{ m}^2 - 130 \text{ m}^2 = 2,870 \text{ m}^2$ 本地率： $2,870 \text{ m}^2 \div 3,000 \text{ m}^2 \times 100 = 96 \%$

ウ. 耕 地 区 分 (更新)

(第13表の作業表)

地 目 班	市町村名	区域番号	現 況 本 地 積 (ha)	対 策 工 種	事 業 な か り せ ば						備 考
					土地条件	被害の種類別発生面積					
						乾 質	干 害	水 害			
田 → 田	福 井 市	I	6.1	用水改良	I	—	—				
計			6.1		—	—	—	—	—	—	
普 通 畑 → 普 通 畑											
計			—		—	—	—	—	—	—	
そ の 他 → そ の 他											
計			—		—	—	—	—	—	—	
合 計			6.1		—	—	—	—	—	—	

エ. 対策耕種と効果要因別面積（更新）

（第13表）

市町村名	区域 番号	面 積				更 新 整 備											備 考		
		耕地面積		本地面積		対策工種			事業なかりせば効果の要因とその程度										
		現況	計画	現況	計画	用水 再 建 設	排 水 再 建 設	畑 漙 再 建 設	減産防止		立 地 条 件 の 好 転								
									干 害 防 止	水 害 防 止	乾田化		水管理 改 良		湿 潤 灌 漑	田 畑 輪 換			
											増収率(%)		増収率(%)						
											6	3	58						
(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)				
福 井 市	I	6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—	用水改良		
計		6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—			
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
合 計		6.4	6.4	6.1	6.1	6.1	—	—	—	—	—	—	6.1	—	—	—			

才．地目別作付面積（更新）

（第14表）

地 目		田					普 通 畑					計				
時 点		現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)
本 地 面 積		6.1		6.1		—	—		—		—	6.1		6.1		—
表 裏	作 物 名	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)
表	水 稻	6.1	100.0	6.1	100.0	—						6.1	100.0	6.1	100.0	—
小 計		6.1	100.0	6.1	100.0	—	—	—	—	—	—	6.1	100.0	6.1	100.0	—
裏																
小 計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		6.1	100.0	6.1	100.0	—	—	—	—	—	—	6.1	100.0	6.1	100.0	—

2. 作物増加生産量関係の算定

ア. 現況単収の算定（更新）

(第15表)

作物名	市町村名 項目 年次	福井市												計（平均）		
		作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付 面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)
水	R 1 年	5,290	533	28,200										5,290	533	28,200
	R 2 年	5,210	528	27,500										5,210	528	27,500
	R 3 年	4,990	531	26,500										4,990	531	26,500
	R 4 年	4,970	511	25,400										4,970	511	25,400
	R 5 年	5,020	542	27,200										5,020	542	27,200
	平均													25,480	529	134,800
	平均															
	平均															
	平均															
	平均															

イ. 作物別効果要因別増収率の算定（更新）

(第17表)

[illegible]

ウ. 効果要因別面積と生産増減量の算定（更新）

（第18表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積		効果要因 と その 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等							生 産 増減量	備 考
		現 況 〔 なかり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あ り せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な か り せ ば					あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)		
							現 況 単 収 B (%)	立地条件好転		減産防止	機能喪失		なかり	
								失れ る増 収率 C= A/(1+B) (kg/10a)	失われ る10 a 当 り 増加量 D= A-C (kg/10a)	失われ る10 a 当被害 防止量 E (kg/10a)	失によ り失わ れる 単 収 F=D+E (kg/10a)		せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)	
田	水 稻	6.1	6.1	水 管 理 -3	6.1	529	58	222	307		307		18.7	
				小 計		529		222	307		307	222	18.7	
				小 計										
				小 計										
				小 計										
普通畑														
				小 計										
				小 計										
合 計		6.1	6.1											

単価算出年度:(令和4 年 消費者物価指数 = 103.2)

(第19表)

[illegible]

才．純益率・所得率の算定（更新）

（第20表）

作 物 名	純 益 率(%)		所 得 率(%)		備 考
	作付増減	単収増加	作付増減	単収増加	
水 稲	－	89	27	89	通達資料(都府県)

カ. 生産増減効果の算定（更新）

（第21表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積		効果要因 と その 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等							生 産 増減量 あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)	生 産 物 単 価 (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 (千円)	年 効 果 額		年増加所得額				
		現 況 〔 なかり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あ り せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な か り せ ば				あ り せ ば 単収増 H=X*F (t)	生 産 物 単 価 (千円/t)				増 加 粗 収 益 額 (千円)	純 益 率 (%)	増 加 純 益 額 (千円)	所 得 率 (%)	増 加 所 得 額 (千円)		
							失れ る増 収率 B (%)	機 能 喪 失 時 の 単 収 C= A/ (1+B) (kg/10a)	失われ る10 a 当 り 増加量 D= A-C (kg/10a)	失われ る10 a 当被害 防止量 E (kg/10a)											機能喪 失によ り失わ れる 単 収 F=D+E (kg/10a)	なかり せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)
田	水 稻	6.1	6.1	水 管 理 -3	6.1	529	58	222	307		307		18.7	254	4,750	89	4,228					
				小 計		529		222	307		307	222	18.7		4,750		4,228					
	小 計																					
	小 計																					
	小 計																					
	普通畑																					
小 計																						
				小 計																		
合 計		6.1	6.1											4,750		4,228						

キ. 作物生産効果の総括（更新）

（第22表）

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
事業なかりせば効果額	4,228		再建設整備
計	4,228	—	

〔 新 設 + 更 新 〕

キ. 生産増減効果の算定（新設+更新）

（第23表）

地 目 班	作 物 名	作 付 面 積					効果要因 と その 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等										生産増減量		生 産 物 単 価 K (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 L= I・J+K (千円)	年 効 果 額		年増加所得額	
		更新整備		新設整備		増減 (ha)			現 況 単 収 A (kg/10a)	なかりせば				ありせば				単 収 I=X*C ・E・G (t)	作 付 増 減 J=X* ・A・H	純 益 率 M (%)			増 加 純 益 額 N= L*M (千円)	所 得 率 O (%)	増 加 所 得 額 P= L*O (千円)	
		現況	計画	現況	計画					立地条 件機能 喪失時 の単収 B (kg/10a)	機能喪 失によ り失わ れる 単 収 C= A-B (kg/10a)	単 収 D= A-C (kg/10a)	10 a 当 た り 被 害 防 止 量 E (kg/10a)	無被害 単 収 F= A-D (kg/10a)	10 a 当 た り 増 加 量 G (kg/10a)	計 画 単 収 H= F+G (kg/10a)										
																	(ha)									(ha)
田（更新整備）	水 稲	6.1	6.1				水 管 理 -3	6.1	529	222	307						18.7		254	4,750	89	4,228				
						小 計		529	222	307	222						18.7		4,750		4,228					
						小 計																				
						小 計																				
						小 計																				
普通畑（更新整備）																										
小 合 計		6.1	6.1																4,750		4,228					
																			4,750		4,228					

ク. 作物生産効果の総括

(第24表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
作物生産効果 (事業ありせば効果額)	—	—	新設整備
作物生産効果 (事業なかりせば効果額)	4,228		再建設整備
計	4,228	—	

營 農 經 費 節 減 効 果

農地利用集積による効果発生面積整理表（全体）

●経営区分別、工種別面積の整理表① [単位 : ha]

経営分類	区画整理	
	現況	計画
個 人 ⇒ 個 人	6.1	6.1
担 い 手 ⇒ 担 い 手		
個 人 ⇒ 担 い 手	-	
合 計	6.1	6.1

●経営区分別、工種別面積の整理表②

[単位 : ha]

経営分類	現況				計画			
	整地	排水	用水	暗渠排水	整地	排水	用水	暗渠排水
個 人 ⇒ 個 人			6.1				6.1	
担 い 手 ⇒ 担 い 手								-
個 人 ⇒ 担 い 手	-	-	-	-				-
合 計	-	-	6.1	-	-	-	6.1	-

農地利用集積による効果発生面積整理表（用水改良）

●経営区分別、経営面積の整理表

経営分類	区画規模	経営面積 (ha)			備考
		現況	計画	差	
個別経営	30a	6.1	6.1	0.0	
担い手経営	30a	-	-		
		-	-		
計	10a	6.1	6.1		
	30a	-	-		
	全体	6.1	6.1		

※この表は畦畔を含む面積とする。

●経営区分別、作付け面積の整理表

区画規模	作付作物	経営分類別面積：現況 (ha)			
		個別経営	担い手経営		計
30a	水稲	6.1			6.1
					-
					-
					-
比率		100.00	-		100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

経営分類		計画 区画規模	経営面積 (ha)	同左比 (%)
現況	⇒ 計画			
個別経営	⇒ 個別経営	30a	6.1	100.00
担い手経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
担い手経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
個別経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
個別経営	⇒ 担い手経営	30a	-	-
計		30a	6.1	
		全体	6.1	100.00

※この表は畦畔を含む面積とする。

区画規模	作付作物	経営分類別面積：計画 (ha)			
		個別経営	担い手経営	個別経営 ↓ 担い手経営	計
1.0 ha	水稲	6.1			6.1
比率		100.00	-	-	100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

※本表は「排水改良」の効果算定のための整理表である。

〔 新 設 整 備 〕
該 当 事 項 な し

〔 更 新 整 備 〕

ア. 営農の現状

作物名		水 稲		現 況		30a(標 準)乾 田		用水供給		用 水 路		排水管理		排 水 路		改良区分		用 水		(第8表)
作 業 名																				
作業方法		種子与措	苗代一切	本田耕起				本田整地		田植	追肥	除草	水 管 理 (用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計	
作 業 期 間		10上-03下	03下-04下	10下-04下				04下-05上		05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上		
作 業 方 法 回 数 等																				
作 業 手 段 (機 械 名)			共同施設	トラクタ-32ps ロータリー				トラクタ-32ps ハロー		田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設		
ha当り 所 要 時 間	人 力			18.1				10.0		15.8	4.0	49.0	41.0	30.0	1.2	20.2	9.0		198.3	
	機械力			18.1				10.0		7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7	
時 間 当 り 費 用	人 力			1,780				1,780		1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			
	機械力			65,535				78,527		141,609	13,388	13,388			101,394	248,113	43,344			
ha当り 経 費	人 力			32,218				17,800		28,124	7,120	87,220	72,980	53,400	2,136	35,956	16,020		352,974	
	機械力			1,186,184				785,270		1,118,711	26,776	26,776			60,836	2,505,941	390,096		6,100,590	
ha当り使用 資 材 量										追肥1号 150kg	ペクチン-10kg				ラッパ 40kg					

作物名				現 況		用水供給		排水管理		改良区分						(第8表)
作 業 名																計
作業方法																
作 業 期 間																
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)																
ha当り 所 要 時 間	人 力															
	機械力															
時 間 当 り 費 用	人 力															
	機械力															
ha当り 経 費	人 力															
	機械力															
ha当り使用 資 材 量																

イ. 事業なかりせば想定される営農作業体系

作物名		水 稲		なかりせば	30a(標 準)乾 田		用水供給	用 水 供 給 な し		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水		(第9表)
作 業 名																
作業方法		種子与措	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水 管 理 (用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)
作 業 期 間		10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)			共同施設	トラクタ-32ps ロータリー			トラクタ-32ps ハロー	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設
ha当り 所 要 時 間	人 力			18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	10.0	30.0	1.2	20.2	9.0	167.3
	機械力			18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0	59.7
時 間 当 り 費 用	人 力			1,780			1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	
	機械力			68,926			82,644	148,177	13,988	13,988			101,394	261,593	45,096	
ha当り 経 費	人 力			32,218			17,800	28,124	7,120	87,220	17,800	53,400	2,136	35,956	16,020	297,794
	機械力			1,247,561			826,440	1,170,598	27,976	27,976			60,836	2,642,089	405,864	6,409,340
ha当り使用 資 材 量									追肥1号 150kg	ペクタ-10kg			ラッパッサ 40kg			

作物名				なかりせば			用水供給			排水管理			改良区分			(第9表)
作 業 名																計
作業方法																
作 業 期 間																
作 業 方 法 回 数 等																
作 業 手 段 (機 械 名)																
ha当り 所 要 時 間	人 力															
	機械力															
時 間 当 り 費 用	人 力															
	機械力															
ha当り 経 費	人 力															
	機械力															
ha当り使用 資 材 量																

ウ、事業なかりせばと事業ありせば（現況）との対比

(第10表)

改良区分	用水	事業なかりせば			事業ありせば		
区	分	水			水		
作物	名	30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
ほ場	条件	用水供給なし			用水供給なし		
用水	給	排水路			排水路		
排水	管	排水路			排水路		
労働費		所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
種子与措							
苗代一切							
本田耕起		18.1	1,780	32,218	18.1	1,780	32,218
本田整地		10.0	1,780	17,800	10.0	1,780	17,800
田植		15.8	1,780	28,124	15.8	1,780	28,124
追肥		4.0	1,780	7,120	4.0	1,780	7,120
除草		49.0	1,780	87,220	49.0	1,780	87,220
水管理(用)		10.0	1,780	17,800	41.0	1,780	72,980
"(排)		30.0	1,780	53,400	30.0	1,780	53,400
防除		1.2	1,780	2,136	1.2	1,780	2,136
稲刈脱穀		20.2	1,780	35,956	20.2	1,780	35,956
運搬		9.0	1,780	16,020	9.0	1,780	16,020
乾燥調整(稲)							
小計		167.3		297,794	198.3		352,974
機械経費		稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
種子与措							
苗代一切							
本田耕起		18.1	68,926	1,247,561	18.1	65,535	1,186,184
本田整地		10.0	82,644	826,440	10.0	78,527	785,270
田植		7.9	148,177	1,170,598	7.9	141,609	1,118,711
追肥		2.0	13,988	27,976	2.0	13,388	26,776
除草		2.0	13,988	27,976	2.0	13,388	26,776
水管理(用)							
"(排)							
防除		0.6	101,394	60,836	0.6	101,394	60,836
稲刈脱穀		10.1	261,593	2,642,089	10.1	248,113	2,505,941
運搬		9.0	45,096	405,864	9.0	43,344	390,096
乾燥調整(稲)							
小計		59.7		6,409,340	59.7		6,100,590
その他の生産資材経費		生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
苗箱費		200	700	140,000	200	700	140,000
乾燥調整費		5,350	22.4	119,840	5,350	22.4	119,840
小計				259,840			259,840
合計				6,966,974			6,713,404

エ. 再建設整備による営農経費節減効果の総括

(第11表)

作物名	なかりせば区分名	用水供給・排水管理区分				単位面積当たり営農経費節減額(円/ha)			効果発生面積 (ha)	年効果額 (千円)	備考
		事業なかりせば		事業ありせば		事業なかりせば	事業ありせば	差			
		用水供給	排水管理	用水供給	排水管理	①	②	③=①-②			
水 稲	30a(標準)乾 田	用水供給なし	排水管路	用水路	排水路	6,966,974	6,713,404	253,570	6.1	1,547	用水
合 計										1,547	

才．営農経費節減効果の総括

(第12表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
営農経費節減効果 (事業ありせば効果額)	—	—	新設整備
営農経費節減効果 (事業なかりせば効果額)	1,547		再建設整備
計	1,547	—	

維持管理費節減效果

4. 維持管理費節減効果

ア 施設管理団体一覧

(第1表)

団 体 名	団 体 の 所 在 地	団 体 の 賦 課 面 積 (ha)								最近年における ha当り賦課金(円)		賦課戸数(戸)	
						本 計 画 の 受 益 区 域							本計画の 受益戸数
		田	畑	その他	計	田	畑	その他	計	経 常 費	特別賦課金		
羽坂町	福井市羽坂町	8.1	—	—	8.1	6.4	—	—	6.4			11	11

イ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の概要及び変更区分

(第2表)

現況 施設 番号	施 設 名	団 体 名	設置 年度	大改修 年 度	現 況 施 設 の 概 要		今後の 予想耐 用年数	本 事 業 に よ る 改 良 ・ 廃 止 維 持 管 理 費 の 変 更 の 区 分 及 び そ の 理 由	
					構 造 ・ 数 量 及 び 機 能	維 持 管 理 方 法		区 分	理 由
1	ため池	羽坂町	S. 47	—	ため池 V=2, 074m3	・羽坂町管理 ・賦役による草刈り	0	既 設 利 用	—
2	ため池(構造物)	羽坂町	S. 47	—	洪水吐 他	・羽坂町管理	0	廃 止	耐震補強及び老朽化対策
3	末端用水路	羽坂町	S. 47	—	BF-300～400 L=2, 340. 0m	・羽坂町管理 ・賦役による草刈り	0	既 設 利 用	—

ウ. 受益範囲内の団体で管理する
水利施設の既往年経費

(第3表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分 区 分			1 た め 池		2 た め 池 (構 造 物)		3 末 端 用 水 路						計
			既 設 利 用		廃 止		既 設 利 用						
			決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	
維持 管理 費	年々 経常的 なもの	H 30 年度 (1.257)	0	0	0	0	0	0					
		R 1 " (1.236)	0	0	0	0	0	0					
		R 2 " (1.248)	0	0	0	0	0	0					
		R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0					
		R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0					
		既往年平均経費		0		0		0					
		本 地 区 分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0					
	短期 周期的 なもの	H 30 年度 (1.257)	0	0	0	0	0	0					
		R 1 " (1.236)	0	0	0	0	0	0					
		R 2 " (1.248)	0	0	0	0	0	0					
		R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0					
		R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0					
		既往年平均経費		0		0		0					
		本 地 区 分 ②	1.000	0	1.000	0	1.000	0					
賦 役 ・ そ の 他	そ の 他 経 費	H 30 年度 (1.257)	150	189			100	126					
		R 1 " (1.236)	151	187			101	125					
		R 2 " (1.248)	148	185			98	122					
		R 3 " (1.156)	162	187			108	125					
		R 4 " (1.043)	169	176			112	117					
		既往年平均経費		185				123					
	本 地 区 分 ③	1.000	185	1.000		1.000	123					308	
	事 業 内 容 (算 出 基 礎)	・ 草 刈 り 11人*4hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr		・ 賦役なし		・ 草 刈 り 11人*2hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr							
		・ 泥 上 げ 11人*1hr/回*1回/年 *時間当たり人件費/hr				・ 泥 上 げ 11人*2hr/回*1回/年 *時間当たり人件費/hr							
既 往 年 平 均 経 費 ① + ② + ③				185		0		123					308

エ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業ありせば維持管理費

(第4表)

計画 施設 番号	施 設 名	新 設 改 良 等 の 区 分	現況 施設 番号	管理団体	計 画 施 設 の 概 要		施 設 の 維 持 管 理 等 に 要 す る 事 業 あ り せ ば 年 経 費					
					構 造 ・ 数 量 ・ 機 能	工 事 費 (千円)	予 定 耐 用 年 数	維 持 修 繕 費		運 転 費		経 費 計 (千円) ① + ②
								経 費 (千円) ①	算 出 基 礎	経 費 (千円) ②	算 出 基 礎	
1-2	ため池	既 設 利 用	1	羽 坂 町		—	80	—	既往年経費(第3表)より転記			185
2-2	ため池(構造物)	更 新	2	羽 坂 町	神田谷ため池 V=2,880m ³	—		11	+2,880m ³ *3.8円/m ³ =11千円 ・福井県諸元調査より	—	—	11
4	末端用水路	既 設 利 用	3	羽 坂 町	BF-300~400 L=2,340m	—	30		既往年経費(第3表)より転記			123
合 計												319

オ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業なかりせば維持管理費

(第5表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分 区 分			1 た め 池		2 た め 池 (構 造 物)		3 末 端 用 水 路								計
			既 設 利 用		廃 止		既 設 利 用								
			決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	決 算 額 (千円)	換 算 額 (千円)	
維持 管理 費	年々 経 常 的 な も の	H 30 年度 (1.257)	0	0	0	0	0	0							
		R 1 " (1.236)	0	0	0	0	0	0							
		R 2 " (1.248)	0	0	0	0	0	0							
		R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0							
		R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0							
		既往年平均経費		0		0		0							
	本 地 区 分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0								
賦 役 ・ そ の 他	そ の 他 経 費	H 30 年度 (1.257)	134	168	0	0	67	84							
		R 1 " (1.236)	134	166	0	0	67	83							
		R 2 " (1.248)	131	163	0	0	66	82							
		R 3 " (1.156)	144	166	0	0	72	83							
		R 4 " (1.043)	150	156	0	0	75	78							
		既往年平均経費		164			82								
	本 地 区 分 ③	1.000	164	1.000		1.000	82							246	
そ の 他	事 業 内 容 (算 出 基 礎)	・草刈り 11人*4hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr		・賦役なし		・草刈り 11人*2hr/回*2回/年 *時間当たり人件費/hr									
既 往 年 平 均 経 費 ① + ② + ③				164		0		82							246

カ. 団体の管理する水利施設以外の施設等の年経費

(第6表)

施 設 番 号 及 び 施 設 名		番 号							合 計
		現 況							
		計 画							
		変 更 区 分							
管 理 者 名									
現 況	施設の概 要	構 造 ・ 数 量							
		経 費 (千円)①							
	既 往 年経費	算 出 基 礎							
計 画	施設の概 要	構 造 ・ 数 量		該 当 事 項 な し					
		経 費 (千円)③							
	計 画 年経費	算 出 基 礎							
な か り せ ば	既 往 年経費	経 費 (千円)②							
		算 出 基 礎							
維 持 管 理 費 節 減 額	効果額	更新分 ②－①							
		新設分 ①－③							
		所 得 額 ①－③							

キ 維持管理費節減効果の算定

(第7表)

施設番号		施設名		管理団体	改良 廃止 新設 変更なし 等の区分	現況施設の維持管理費 (既往年経費)				事業なかりせば維持管理費 (既往年経費)			事業ありせば 維持管理費 〔計画年経費〕 (千円) ③	維持管理費節減効果額		年増加 所得額 (千円) ①－③
現況	計画	現況	計画			維持管理費		賦役 その他 (千円)	計 (千円) ①	維持管理費	賦役 その他 (千円)	計 (千円) ②				
						年々 経常的なもの (千円)	短期 周期的なもの (千円)			年々 経常的なもの (千円)						
1	1	ため池		羽坂町	既設利用	0	0	185	185	0	164	164	185	△ 21	0	0
2	2	ため池(構造物)		羽坂町	廃止	0	0		0	0		0	11	0	△ 11	△ 11
3	3	末端用水路		羽坂町	既設利用	0	0	123	123	0	82	82	123	△ 41	0	0
合計									308			246	319	△ 62	△ 11	△ 11

ク. 維持管理費節減効果の総括

(第8表)

効 果 名	年 効 果 額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備 考
維持管理費節減効果 (事業ありせば効果額)	△ 11	△ 11	新設整備
維持管理費節減効果 (事業なかりせば効果額)	△ 62		再建設整備
計	△ 73	△ 11	

(災 害 防 止 効 果
た め 池 等 整 備)

年 効 果 額 の 算 定

1. 災害防止効果
 (1) 災害防止効果
 農業資産

(第1表)

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		40,046	0.0432	1,730	
計		40,046		1,730	

一般資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		62,790	0.0432	2,713	
計		62,790		2,713	

公共資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		6,788	0.0432	293	
計		6,788		293	

全 体

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
ため池		109,624	0.0432	4,736	
計		109,624		4,736	

$$\begin{aligned} \text{還 元 率} &= \frac{i \times (1+i)^n}{i \times (1+i)^n - 1} = \frac{0.04 \times (1+0.04)^{66}}{(1+0.04)^{66}} & i &= 4 \% \\ & & n &= 66 \text{ 年} \\ &= \frac{0.53243}{12.31068} \end{aligned}$$

総合耐用年数算定表

区分 種別	工種等 (施設名)	耐用年数 ① (年)	工事費 ② (千円)	工事費年減価 ③=①/② (千円)
当該事業	ため池(構造物)	40	18,100	453
	ため池(その他)	80	68,900	861
	小 計		87,000	1,314
	その他費用	66	13,000	197
	計		100,000	1,511
関連事業				
	小 計			
	計			
合 計		66	100,000	1,511

想 定 被 害 額 総 括 表

単位[単価:円, 被害想定額:千円]

種目	区 分		数 量		単価	被害想定額	算出基礎		種目	区分		数 量		単価	被害想定額	算出基礎	
農地	農地	耕 土	田	ha	5,900,000		谷型:水深1.0m以上, 上流2/3		人 家	木 造	床下浸水	— 戸	690,000	—	水深0.0～0.5m		
		流 出	畑	— ha	—	—					床上浸水	13.0 戸	4,830,000	62,790	水深0.5～1.0m		
		土 石	田	4.00 ha	1,975,500	7,902	谷型:水深0.5m以上, 下流2/3				半 壊	— 戸	7,590,000	—	水深1.0～1.5m		
		埋 没	畑	— ha	—	—					全 壊	— 戸	23,000,000	—	水深1.5m以上		
	用水路 (土水路)	用水路	半 壊	— m	—	—	水深0.0～0.5m		一般被害	木 造	床下浸水	— 戸		—	水深0.0～0.5m		
			全 壊	— m	—	—	水深0.5m以上				床上浸水	— 戸		—	水深0.5～1.0m		
		用水路 (コンクリート)	半 壊	2,000.0 m	3,379	6,758	水深0.5～1.0m				半 壊	— 戸		—	水深1.0～1.5m		
			全 壊	— m	—	—	水深1.0m以上				全 壊	— 戸		—	水深1.5m以上		
		排水路	半 壊	900.0 m	13,541	12,187	水深0.0～1.0m			木 造	半 壊	— 戸	588,000	—	水深0.0～1.5m		
			全 壊	— m	—	—	水深1.0m以上				全 壊	— 戸	2,800,000	—	水深1.5m以上		
		農 道	半 壊	900.0 m	14,666	13,199	水深0.0～1.0m										
			全 壊	— m	—	—	水深1.0m以上										
	農業被害	農業用施設 (その他)							一般被害 (計)					62,790			
									公共被害	その他道路	その他	半 壊	400.0 m	16,970	6,788	水深1.0～2.0m	
			全 壊	— m		—	水深2.0m以上										
				半 壊	— m		—	水深1.0～2.0m									
全 壊				— m		—	水深2.0m以上										
半 壊				— m		—	水深1.0～2.0m										
全 壊		— m			—	水深2.0m以上											
農産物		かんばつ	— ha	—	—	受益農地のうち次の区域外 流出・埋没・浸水		その他									
		浸 水	— ha	—	—	農地の流出埋没区域外											
		流出埋没	— ha	—	—	農地の流出埋没区域											
	納 屋	半 壊	— 戸	—	—	水深0.5～1.5m											
農機具等	全 壊	— 戸	—	—	水深1.5m以上		公共被害 (計)					6,788					
家 畜	牛	— 頭	—	—	—		被 害 額 (合計)					109,624					
	豚	— 頭	—	—	—		人 命 被害	全壊家屋住人		人							
	鶏	— 羽	—	—	—	半壊家屋住人		人									
農業被害 (計)						40,046	人命被害 (計)		人								

洪水量・被災区域
及び湛水深度の決定

1. 被害発生のかえ方

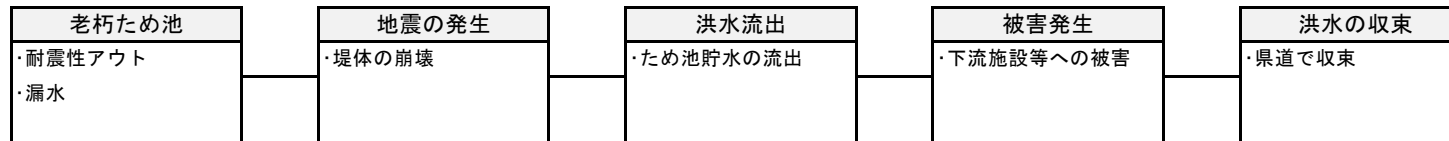
(1) 想定被災地域の設定

ため池周辺の地形条件を整理した結果、ため池型、受益地の区分は次のとおりとする。

項 目	型	受益地	内 容
ため池区分	谷池	谷型受益	山間や丘陵地で谷をせき止めて造られたため池

(2) 被害発生のかえ方

当該ため池は明治時代に築造され、H15年に改修工事し現在に至っているが、堤体は老朽化による安定に欠け（耐震アウト）の状態である。そこで、今回大規模な地震が発生したことを想定し、堤体の崩壊による下流域への被害額を算定する。堤体崩壊により発生した洪水は、ため池下流の住宅、農地に流れ込み、県道まで流下するものとする。



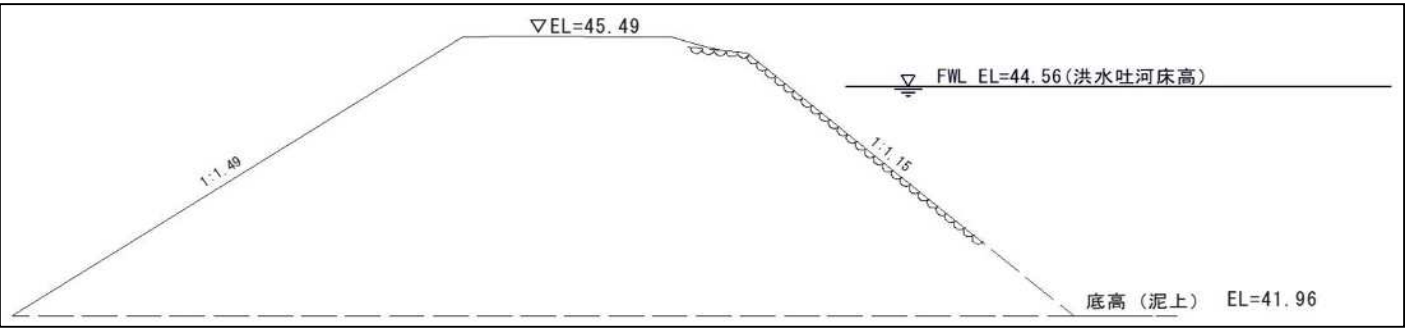
2. 洪水量の算定

(1) 洪水量の想定

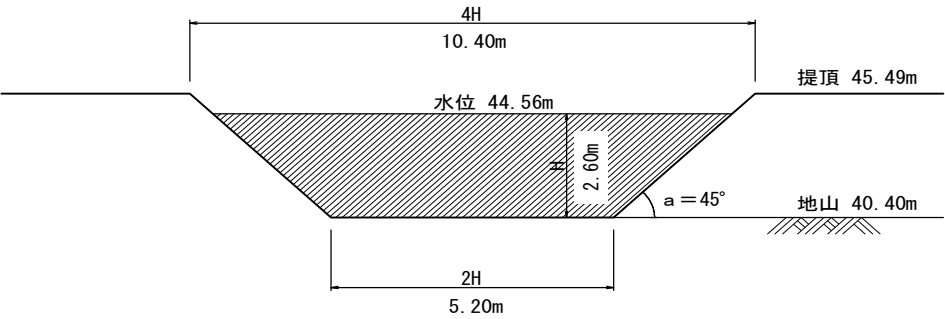
洪水量は防災事業便覧〔図2-30 決壊箇所の流積（堤体決壊想定断面）〕に準拠する。

(2) 堤体の決壊断面想定

【堤体横断】



【堤体決壊想定断面】



項 目	右 岸	左 岸	備 考
堤 頂 地 盤 高 ①	45.49 m		
地 山 地 盤 高 ②	40.40 m		
水 面 水 位 ③	44.56 m		
池 底 高 ④	41.96 m		
破 堤 水 深 ⑤=③-④	2.60 m		
破 堤 上 幅 ⑥=⑤×4	10.40 m		
破 堤 下 幅 ⑦=⑤×2	5.20 m		

(3) 想定洪水量の算定

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は 49.1 m³/s とする。

$$Q = 4.5 \times H^{5/2}$$
$$= 4.5 \times 2.60^{5/2}$$
$$= 4.5 \times 10.9$$
$$= 49.1 \text{ m}^3/\text{s}$$

常時満水位FWL (m)	最低水位LWL (m)	H=FWL-LWL (m)	流出洪水量 (m ³ /s)
44.56	40.40	4.16	49.1

(1) 被災区域の想定

(2) 洪水高の想定

R : 径深 $R = A / P$ P : 潤辺 (流れの横断面 : $2H + B$)

流域の状況	等価粗度 N ($\text{m}^{-1/3} \cdot \text{s}$)
階段状に宅地造成を行った丘陵地帯	0.05
流域の一部(15%)に宅地造成が行われた丘陵地帯	0.1~0.2
階段状田畑主体流域	0.2~0.4
上流山地、中下流に市街地を含む階段状田畑主体流域	0.3~0.5
林相のかなりよい山地流域	0.4~0.8
上流丘陵地 50%, 中流市街地 20%, 下流低平水田 30%の流域	0.6~1.1
排水改良の行われていない水田地帯	1~3

災害-9

被害額の算定

4. 被害程度の想定

発生する被害の程度は、防災事業便覧P256〔表2-7 想定被害算定基礎表〕に準拠する。

事項	項 目	細 目	対象地域等	想定被害の程度	備 考
農業被害	農地	耕土流出	水深1.0m以上の洪水流出区域	上流1/2(平野型受益地)	耕土流出被害と土砂埋没被害の重複を避けること
				または上流2/3(谷型受益地)	
		土砂埋没	水深0.5m以上の洪水流出区域	下流1/2(平野型受益地)	
				または下流2/3(谷型受益地)	
	農業用施設	コンクリート水路	水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		土水路	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは半壊	
				水深0.5m以上は全壊	
		排水路及び農道	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		下流ため池、揚水機場、取水ゼキ	水深0.5m以上の洪水流出区域	壊水深0.5～1.5mは半壊	
				壊水深1.5m以上は全壊	
	農作物	流出・埋没被害	農地欄で算定した全面積	収量0	相互に重複しないこと
		浸水・埋没被害	全洪水流出区域から上記を除いた面積	適宜の減収	
		干魃被害	被災を想定した全かんがい施設がかり面積	適宜の減収	
	農業用納屋等		水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.5mは半壊 水深1.5m以上は全壊	
	家畜		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
公共関係	人家、工場、公共建物等		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは床下浸水	
				水深0.5～1.0mは床上浸水	
				水深1.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
	道路、橋梁、鉄道等		水深1.0m以上の洪水流出区域	水深1.0～2.0mは半壊	
				水深2.0m以上は全壊	
	人 命		半壊以上家屋の住人	半壊家屋は1/2の危険	
				全壊家屋は全員の危険	

（ 被 害 単 価
農 地 ・ 農 作 物 ）

農地及び農作物被害

(1) 被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

農 地	a. 耕土流出	谷 型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 2／3 の面積
		皿 型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 1／2 の面積
	b. 土砂埋没	谷 型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 2／3 の面積（a の区域と重複しないこと）
		皿 型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 1／2 の面積（a の区域と重複しないこと）
農 作 物	c. 浸 水		洪水流出区域のうち a 及び b のいずれにも属さない区域（農作物被害のみの計上とする）
	d. 干 ば つ		改修ため池の受益のうち、a、b 及び c のいずれにも属さない区域
	e. 流出埋没		農地被害の全面積

農 地 復 旧 単 価

【 耕土流出 】

流出した耕土を復旧する客土工費用を見込んだものである。

工 種	面 積	工 事 費	備 考
客 土 工	13.6 ha	80,000 千円	

(参考) 県営経営体育成基盤整備事業計画概要書における、整地工内の客土工費。

$$\text{客土工} \quad 80,000 \text{ 千円} \div 13.6 \text{ ha} = 5,882 \text{ 千円/ha} \quad \approx \quad 5,900,000 \text{ 円/ha}$$

【 土砂埋没 】

堆積した土砂を搬出処分し、整地を行う費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削積込	500 m ³	548 円	274,000 円/ha		$10,000 \text{ m}^2 \times 0.05 \text{ m} = 500 \text{ m}^3$ ※機械積込費内訳 機械土工（ブルドーザ掘削押土） 255 円/m ³ バックホウ掘削 293 円/m ³ 計 548 円/m ³
残土処分	500 m ³	1,647 円	823,500 円/ha		
諸経費	80 %	1,097,500 円	878,000 円/ha		※残土処分費内訳 ダンプトラック運搬（BH0.45、L=10km以下） 1,647 円/m ³
計			1,975,500 円/ha		

（ 被 害 の 程 度
農 業 資 産 ）

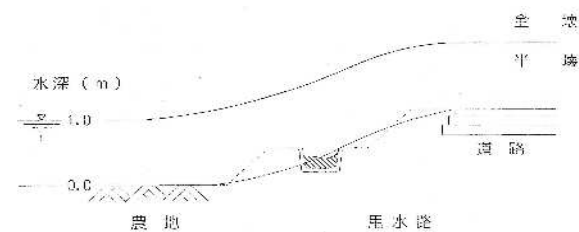
農業用施設被害

(1) 被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

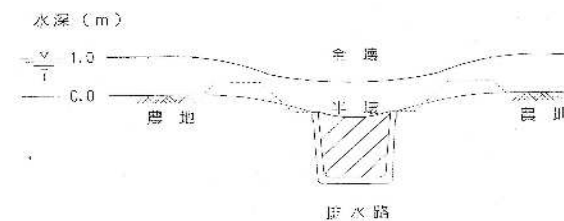
農 道		半 壊	水深0.0～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
用 水 路	土 水 路	半 壊	水深0.0～0.5m
		全 壊	水深0.5m以上
	コンクリート水路	半 壊	水深0.5～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
排 水 路		半 壊	水深0.0～1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
そ の 他		半 壊	壊水深0.5～1.5m
		全 壊	壊水深1.5m以上

農業用水路



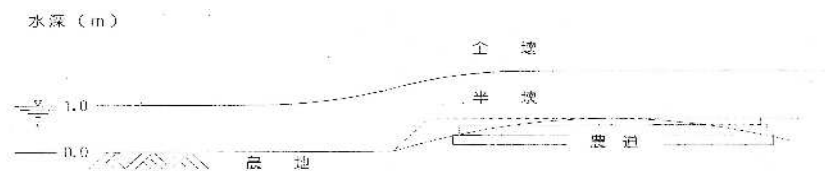
※洪水は常に流下しているため、用水路の土砂埋没や崩壊が予想され、本路機能の低下が考えられる。
そのため、農地からの洪水が用水路縦方向に流下するよりもむしろ、道路側への越流がほとんどである。
このことから、農地、用水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

農業排水路



※洪水は常に流下しているため、農地の排水流出や畦畔の崩壊による、排水路の土砂埋没や破損が予想される。
そのため、排水路機能の著しい低下が予想され、全洪水を流下させる能力はなくなり、次の農地へと越流するものと考えられる。このことから、農地、排水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

道路



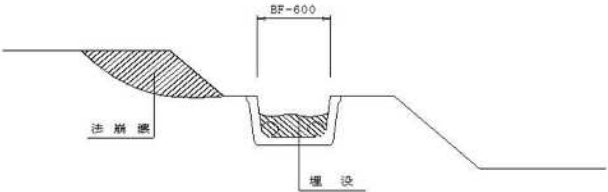
※洪水は常に流下しているが、陸揚的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農道と一定水深のまで農道に
流下するものと考えられる。

(被 害 単 価
農 業 用 水 路)

用水路復旧単価

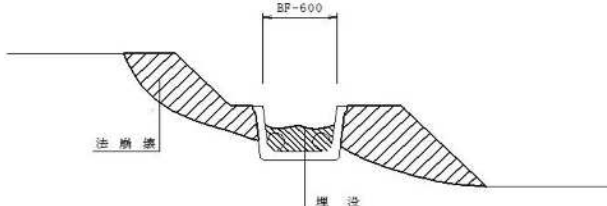
【 半 壊 】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.10 m ³	8,468 円	847 円/m	S単- 1号	用水路半壊 
残土処分	0.10 m ³	1,647 円	165 円/m	T単- 1号	
購入土	0.10 m ³	3,000 円	300 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.10 m ³	3,500 円	350 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	0.5 m ²	430 円	215 円/m	S単-10号	
諸経費	80 %	1,877 円	1,502 円/m		
計			3,379 円/m		

【 全 壊 】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

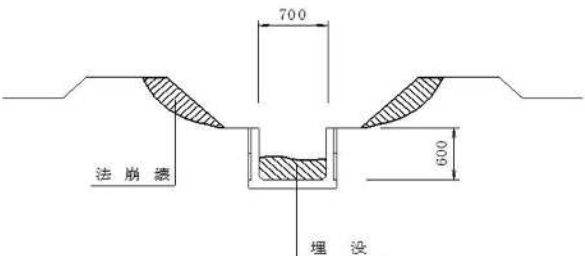
費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.11 m ³	8,468 円	931 円/m	S単- 1号	用水路全壊 
残土処分	0.11 m ³	1,647 円	181 円/m	T単- 1号	
購入土	0.11 m ³	3,000 円	330 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.11 m ³	3,500 円	385 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
B F布設	1.0 m	8,500 円	8,500 円/m	T単-12号	
撤去	1.0 m	2,600 円	2,600 円/m	S単-14号	
諸経費	80 %	13,357 円	10,686 円/m		
計			24,043 円/m		

(被 害 単 価
農 業 排 水 路)

排水路復旧単価

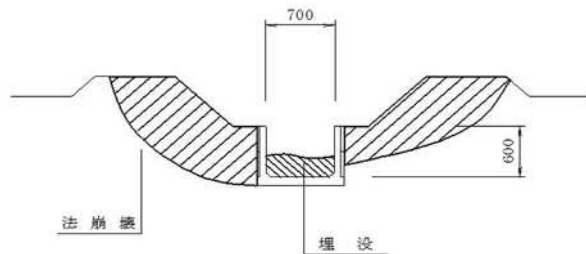
【半壊】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.21 m ³	8,468 円	1,778 円/m	S単-1号	排水路半壊 
機械小運搬	0.21 m ³	756 円	159 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m ³	1,647 円	346 円/m	T単-1号	
購入土	0.40 m ²	3,000 円	1,200 円/m	T単-2号	
機械小運搬	0.40 m ³	756 円	302 円/m	S単-11号	
盛土転圧（人力併用）	0.40 m ³	3,500 円	1,400 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.4 m ²	430 円	602 円/m	S単-10号	
水替・仮設・その他	30 %	5,787 円	1,736 円/m		
諸経費	80 %	7,523 円	6,018 円/m		
計			13,541 円/m		

【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

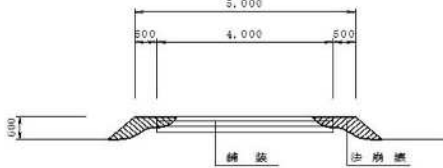
費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
掘削（人力）	0.21 m ³	8,468 円	1,778 円/m	S単-1号	排水路全壊 
機械小運搬	0.21 m ³	756 円	159 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m ³	1,647 円	346 円/m	T単-1号	
購入土	2.12 m ²	3,000 円	6,360 円/m	T単-2号	
機械小運搬	1.76 m ³	756 円	1,331 円/m	S単-11号	
盛土転圧（人力併用）	1.76 m ³	3,500 円	6,160 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.4 m ²	430 円	602 円/m	S単-10号	
H F 布設	1.0 m	23,000 円	23,000 円/m	T単-3号	
水替・仮設・その他	30 %	39,736 円	11,921 円/m		
諸経費	80 %	51,657 円	41,326 円/m		
計			92,983 円/m		

(被 害 単 価
農 道)

農道復旧単価

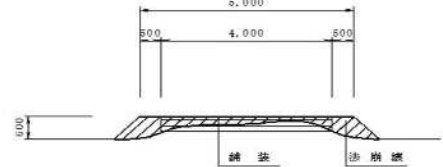
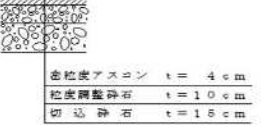
【半壊】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	T単-2号	農道半壊  
盛土工	0.60 m ³	3,500 円	2,100 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	1.2 m ²	1,702 円	2,042 円/m	S単-20号	
上層路盤復旧	1.2 m ²	760 円	912 円/m	T単-4号	
下層路盤復旧	1.2 m ²	720 円	864 円/m	T単-5号	
諸経費	80 %	8,148 円	6,518 円/m		
計			14,666 円/m		

【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	T単-2号	農道全壊  
盛土工	0.60 m ³	3,500 円	2,100 円/m	T単-3号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	4.0 m ²	1,702 円	6,808 円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	4.0 m ²	760 円	3,040 円/m	T単-4号	
下層路盤復旧	4.0 m ²	720 円	2,880 円/m	T単-5号	
諸経費	80 %	17,058 円	13,646 円/m		
計			30,704 円/m		

（ 被 害 の 程 度
一 般 資 産 ）

一般資産被害

(1) 被害の考え方

被災区域は地形勾配が1/500以上のため水害被害率は「Cグループ」を採用する。

〔一般資産水害被害率〕

資産種類等		浸水深等の規模 床下浸水	床上浸水			土砂堆積(床上)		全壊 (流失)
			50cm未満	50～99cm	100cm以上	50cm未満	50cm以上	
家 屋 (木造+ 非木造)	Aグループ	0.03	0.053	0.072	0.117	0.43	0.57	1.0
	Bグループ		0.083	0.126	0.192			
	Cグループ		0.124	0.210	0.330			
家 庭 用 品		—	0.086	0.191	0.366	0.50	0.69	
事 業 所	償却資産	—	0.180	0.314	0.443	0.54	0.63	
	在庫資産	—	0.127	0.276	0.398	0.48	0.56	
農・漁家	償却資産	—	0.156	0.237	0.311	0.37	0.45	
	在庫資産	—	0.199	0.370	0.510	0.58	0.69	

(注) 1. A, B, Cの各グループ区分は、地盤勾配の区分で、Aは1/1,000未満、Bは1/1,000～1/500未満、Cは1/500以上である。

2. 家屋の被害率は、木造、非木造の別の値を合成したものである。

なお、各資産の単位当たり評価額(いわゆる単価)については、「水害統計」を参照されたい。

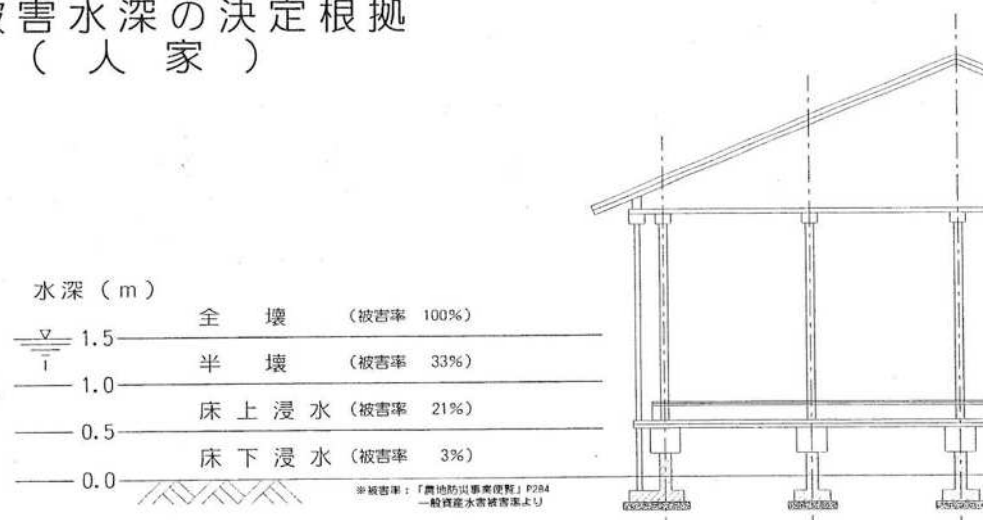
（ 被 害 単 価
建 築 物 ）

一般資産（建築物）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

想定被害水深の決定根拠 （人 家）



※宅地基礎地盤標高は、道路標高と同等と考えられる。つまり、道路における想定被害水深と宅地における想定被害水深は等しいこととした。

また、宅地における床高は「建築基準法」によると地盤より45cm以上と定められていることから、床高を概ね50cm以上とし、床上下浸水の境界とした。

建築物復旧単価

【1戸当り評価額】

建築の種類	区分	建築物の数 (棟) A	工事予定額 (百万円) B	1戸当り 工事予定額 (百万円) C=B/A	支出済費用 換算係数 D	1戸当り 工事予定額 (千円) E=C*D	備 考
住 宅	木造					23,000	別紙参照
倉 庫	その他					2,800	〃

【被害単価】

建築の種類	区分	単位当り 評 価 額 (千円)	浸 水 深								備考
			0.5m未満(床下浸水)		0.5～1.0m(床上浸水)		1.0～1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)		
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
住 宅	建物A										
	建物B										
	建物C	23,000	0.030	690	0.210	4,830	0.330	7,590	1.000	23,000	

建築の種類	区分	単位当り	浸 水 深								備考
		評 価 額 (千円)			0.5～1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)				
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
倉 庫	建物A										
	建物B										
	建物C	2,800	0.030	84	0.210	588	0.210	588	1.000	2,800	

福井県における用途別・構造別 建築物予定工事費整理表

用途		年度	木造				鉄骨鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造				鉄骨造				コンクリートブロック造				その他			
			建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)
1	住 宅	H. 29	2,766	60,648	1.028	22,540			1.028		3	520	1.028	178,187	296	9,854	1.028	34,221			1.028	137	166	1.028	1,242	
		H. 30	3,187	71,596	1.027	23,072			1.027		3	434	1.027	148,573	256	12,082	1.027	48,471	1	2	1.027	2,054	261	302	1.027	1,187
		R. 1	3,197	74,117	1.044	24,203			1.044		7	2,724	1.044	406,265	251	11,035	1.044	45,897			1.044	191	203	1.044	1,107	
		R. 2	2,908	65,548	1.004	22,631	1	39	1.004	38,955	2	165	1.004	82,830	224	10,146	1.004	45,475			1.004	201	187	1.004	935	
		R. 3	3,082	70,855	1.000	22,990	4	3,017	1.000	754,125	10	2,434	1.000	243,390	295	15,825	1.000	53,644			1.000	228	279	1.000	1,225	
		平均		22,367		23,000				396,500				211,800				45,500				2,000				1,100
2	産 業 用 物 建 築	H. 29	237	5,415	1.028	23,490	6	1,083	1.028	185,554	26	16,380	1.028	647,627	468	42,631	1.028	93,643	8	19	1.028	2,457	22	36	1.028	1,682
		H. 30	242	6,365	1.027	27,013	3	5,541	1.027	1,896,732	31	2,374	1.027	78,640	537	77,362	1.027	147,953	6	19	1.027	3,252	31	107	1.027	3,547
		R. 1	269	7,559	1.044	29,336	2	6,001	1.044	3,132,699	26	32,800	1.044	1,317,051	431	58,225	1.044	141,038	4	9	1.044	2,307	29	51	1.044	1,825
		R. 2	231	5,476	1.004	23,800	2	83	1.004	41,566	16	18,856	1.004	1,183,195	301	42,498	1.004	141,755			1.004	31	68	1.004	2,190	
		R. 3	222	6,010	1.000	27,072	3	56	1.000	18,500	23	13,544	1.000	588,873	414	60,547	1.000	146,250			1.000	53	390	1.000	7,353	
		平均				26,100				1,055,000				763,000				134,100				2,600				3,300
3	事 務 所	H. 26	95	10,333	1.028	111,815	44	853	1.028	19,922			1.028		1	2,995	1.028	3,078,860	50	6,485	1.028	133,340			1.028	
		H. 29	95	5,232	1.027	56,564	38	745	1.027	20,131			1.027		7	1,306	1.027	191,638	48	3,180	1.027	68,032			1.027	
		H. 30	116	9,477	1.044	85,294	53	1,029	1.044	20,269			1.044		3	910	1.044	316,680	60	7,538	1.044	131,164			1.044	
		R. 1	104	25,471	1.004	245,893	42	1,112	1.004	26,586	1	370	1.004	371,480	6	16,551	1.004	2,769,450	55	7,438	1.004	135,783			1.004	
		R. 2	135	18,215	1.000	134,922	45	1,234	1.000	27,428	1	1,670	1.000	1,670,000	1	150	1.000	150,000	88	15,160	1.000	172,275			1.000	
		R. 3				126,800				22,800				1,020,700				1,301,300				128,100				
4	店 舗	H. 29	27	804	1.028	30,604			1.028				1.028		57	793	1.028	14,300			1.028				1.028	
		H. 30	29	6,351	1.027	224,907			1.027				1.027		66	4,772	1.027	74,260			1.027	1	10	1.027	10,270	
		R. 1	21	753	1.044	37,451			1.044				1.044		46	2,629	1.044	59,672			1.044		4	1.044	4,176	
		R. 2	14	286	1.004	20,482			1.004		1	660	1.004	662,640	34	5,678	1.004	167,668			1.004				1.004	
		R. 3	23	620	1.000	26,967			1.000				1.000		44	5,117	1.000	116,300			1.000	1	6	1.000	5,640	
		平均				68,000								662,600				86,400								6,600
5	工 場	H. 29	24	467	1.028	20,001			1.028		1	7,000	1.028	7,196,000	90	14,165	1.028	161,799			1.028				1.028	
		H. 30	10	140	1.027	14,415			1.027		3	915	1.027	313,358	107	36,573	1.027	351,029	1	3	1.027	3,081			1.027	
		R. 1	17	361	1.044	22,199			1.044		2	19,000	1.044	9,918,000	78	21,314	1.044	285,286			1.044	10	1	1.044	104	
		R. 2	28	1,096	1.004	39,294			1.004		2	6,424	1.004	3,224,848	61	13,067	1.004	215,077			1.004	4	17	1.004	4,192	
		R. 3	27	839	1.000	31,063			1.000		2	2,160	1.000	1,080,000	102	18,353	1.000	179,933			1.000	13	146	1.000	11,254	
		平均				25,300								4,346,400				238,600				3,000				5,100
6	倉 庫	H. 29	206	2,933	1.028	14,639	85	514	1.028	6,222	1	4	1.028	4,019	1	18	1.028	17,990	108	2,344	1.028	22,310	4	19	1.028	4,883
		H. 30	196	5,074	1.027	26,589	71	743	1.027	10,741	1	8	1.027	8,216	1	12	1.027	12,642	107	4,187	1.027	40,191	2	8	1.027	4,005
		R. 1	179	6,852	1.044	39,966	69	642	1.044	9,712			1.044		8	2,598	1.044	339,000	98	3,605	1.044	38,406	3	7	1.044	2,332
		R. 2	194	4,373	1.004	22,631	68	517	1.004	7,627	1	500	1.004	502,000			1.004		116	3,343	1.004	28,936	5	7	1.004	1,329
		R. 3	200	6,752	1.000	33,758	62	545	1.000	8,785	2	28	1.000	13,800	3	40	1.000	13,333	124	6,124	1.000	49,391	1	2	1.000	1,500
		平均				27,500				8,600				132,000				95,700				35,800				2,800
7	学 校 校 舎	H. 29	2	420	1.028	215,880			1.028				1.028		10	2,427	1.028	249,454			1.028				1.028	
		H. 30	2	530	1.027	272,155			1.027				1.027		11	1,904	1.027	177,783			1.027				1.027	
		R. 1	2	374	1.044	194,967			1.044		1	2,718	1.044	2,838,010	7	754	1.044	112,454			1.044				1.044	
		R. 2			1.004				1.004		2	1,616	1.004	811,232	4	962	1.004	241,547			1.004				1.004	
		R. 3	1	15	1.000	15,000	1	33	1.000	33,000	2	850	1.000	425,000	1	30	1.000	30,000			1.000				1.000	
		平均				174,500				33,000				1,358,000				162,200								
8	病 院 診 療 所	H. 29	3	76	1.028	26,043			1.028		1	3,558	1.028	3,657,624	6	750	1.028	128,500			1.028				1.028	
		H. 30	13	454	1.027	35,853			1.027		1	40	1.027	41,080	3	268	1.027	91,848			1.027				1.027	
		R. 1	11	700	1.044	66,470			1.044				1.044		3	215	1.044	74,820			1.044				1.044	
		R. 2	9	482	1.004	53,750			1.004		1	4,273	1.004	4,290,092	2	14	1.004	7,028			1.004				1.004	
		R. 3	7	423	1.000	60,371			1.000		2	1,088	1.000	544,085	2	1,017	1.000	508,600			1.000				1.000	
		平均				48,400								2,133,200				162,100								

※この表は建築着工統計調査から抜粋したものである。

公 共 資 産 被 害

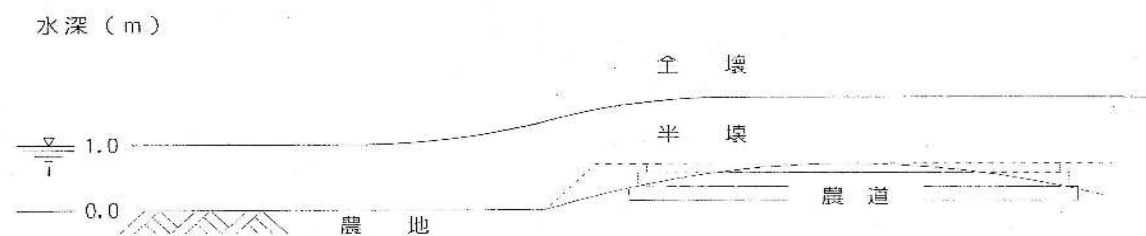
被害単価（公共道路）

公共施設被害（道路）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

想定被害水深の決定根拠 （ 農 道 ）

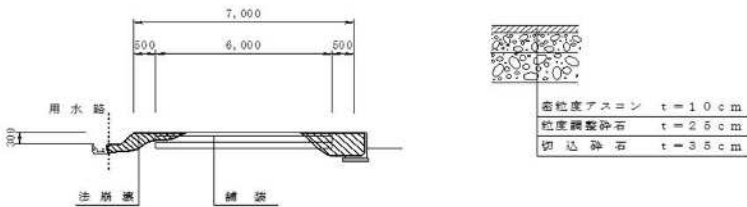


※洪水は常に流下しているが、簡易的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農地と一定水深のまま農道に
流下するものと考えられる。

その他道路復旧単価

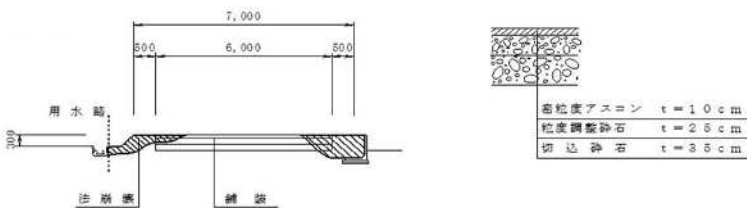
【 半 壊 】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	P96001	
盛土工	0.60 m ³	1,647 円	988 円/m	T単-1号	
盛土法面整形工	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	2.0 m ²	1,625 円	3,250 円/m	S単-14号	
上層路盤復旧	2.0 m ²	760 円	1,520 円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	2.0 m ²	720 円	1,440 円/m	T単-3号	
諸経費	80 %	9,428 円	7,542 円/m		
計			16,970 円/m		

【 全 壊 】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	単価番号	備 考
購入土	0.60 m ³	3,000 円	1,800 円/m	P96001	
盛土転圧(人力併用)	0.60 m ³	1,647 円	988 円/m	T単-1号	
法面仕上げ	1.0 m ²	430 円	430 円/m	S単-10号	
表層復旧	6.0 m ²	1,625 円	9,750 円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	6.0 m ²	760 円	4,560 円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	6.0 m ²	720 円	4,320 円/m	T単-3号	
諸経費	80 %	21,848 円	17,478 円/m		
計			39,326 円/m		

国産農産物安定供給効果

ア 生産増減量及び増加粗収益額の算定

(第1表)

計画地目	作物名	作付面積					効果要因	効果発生面積	単 収 等 (kg/10a)								生産増減量				生産物単価	増加粗収益額	
		更新整備		新設整備		増減			現況単収	なかりせば			ありせば				単収増	作付増減	再建設整備	新設整備		再建設整備	新設整備
		現況	計画	現況	計画					立地条件好転機能喪失時の単収	機能喪失により失われる単収	単収	10アール当たり被害防止量	無被害単収	10アール当たり増加量	計画単収							
		ha	ha	ha	ha	ha		x	a	b	c=a-b	d=a-c	e	f=a-d	g	h=f+g	i=x×c・e・g	j=x×a・h	k=i	l=i・j	m	n=k×m	o=l×m
田	水稲	ha	ha	ha	ha	ha		ha									t	t	t	t	千円/t	千円	千円
		6.1	6.1	—	—	—	水管理-3計	6.1 —	529 529	222 222	307 307	222	—			0	18.7 18.7		18.7		254	4,750	
				—	—		作付減			—	—	—											
							水稻計	—		222	307	222	—			0	18.7		18.7			4,750	
							計	—						—	—	—	—						
							作付減			—	—	—											
							計	—														0	0
							計	—						—	—	—	—						
							作付増			—	—	—				0							
							計	—								0			0.0		—	0	
計																		—	—		4,750	0	

イ 増加供給熱量の算定

(第2表)

地目	作物名	生産増減量		作物別重量 当たり 供給熱量 ③	増加供給熱量		備 考
		再建設整備 ①	新設整備 ②		再建設整備 ①*③	新設整備 ②*③	
田	水稻	t 18.7	t —	千kcal/t 3,040	千kcal 56,848	千kcal —	水稻(飼料用を除く)
畑							
合 計					56,848	0	

ウ 国産農産物安定供給効果の総括

(第3表)

効 果 名	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額 当たり効果額 ③	単位供給熱量当 たり効果額 ④	当該土地改良事業 における年効果額 ①*③+②*④	備 考
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円	
国産農産物安定供給効果 (事業ありせば年効果額)	—	—	49	9.9	—	新設整備
国産農産物安定供給効果 (事業なかりせば年効果額)	4,750	56,848	49	9.9	796	再建設整備
計	4,750	56,848			796	

別表

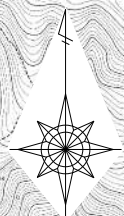
作物別重量当たり供給熱量

類 別	作 物 名	重量当たり供給熱量 (千kcal/t)	備 考
穀 類	水 稻 (飼 料 用 を 除 く)	3, 040	
	小 麦	2, 610	
	大 麦	1, 460	
	は だ か 麦	1, 810	
	そ の 他 の 雑 穀	2, 160	
いも類	か ん し よ	1, 140	
	ば れ い し よ	510	
でん粉	か ん し よ	1, 000	
	ば れ い し よ	710	
豆 類	大 豆	3, 680	
	そ の 他 の 豆 類	3, 340	
野 菜	果 菜 類	240	
	葉 茎 菜 類	180	
	根 菜 類	250	
果 実	う ん し ゅ う み か ん	310	
	り ん ご	410	
	そ の 他 の 果 実	470	
砂糖類	て ん さ い	610	
	さ と う き び	460	
油脂類	な た ね	2, 480	
肉 類	飼 料 作 物 (牛 肉 (枝 肉))	1, 580	牛肉 (枝肉) の値
	飼 料 作 物 (豚 肉 (枝 肉))	1, 330	豚肉 (枝肉) の値
	飼 料 作 物 (鶏 肉 (骨 付 き 肉))	1, 020	鶏肉 (骨付き肉) の値
鶏 卵	飼 料 作 物 (鶏 卵)	1, 180	鶏卵の値
牛 乳	飼 料 作 物 (生 乳)	620	生乳の値



県営土地改良事業 神田谷地区(農業用排水施設(ため池等整備(防災重点緊急整備型))事業)

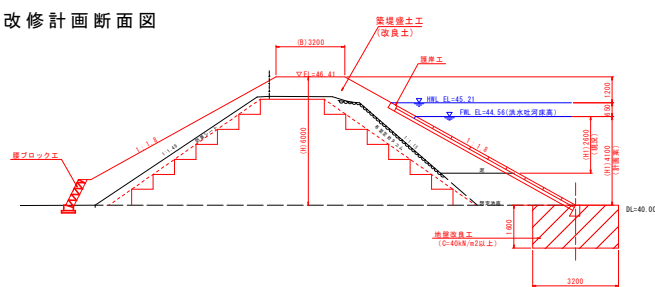
計画平面図 (R 8 年度 第 1 回変更前)



Scale = 1:2500 (A1)

0m 100m 200m

改修計画断面図



流域面積
A=6.8ha

神田谷

受益面積①
A=0.7ha

全体受益面積
A=6.4ha

受益面積②
A=5.7ha

凡 例

色 別	名 称	事業量
	受益 農 用 地	6.4 ha
W	計 た め 池	1 ヶ所
画		

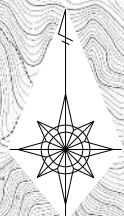
事 業 概 要

主 要 工 事	◆堤体工	
	築堤盛土工	1 式
	張ブロック工	1 式
	◆洪水吐工	
	洪水吐工	1 式
	◆取水施設工	
	斜樋工	1 式
	底樋工	1 式
	◆仮設工	
	仮設道路工	1 式
受益面積		6.4 ha
全体事業費		100,000 千円
事業主体		福 井 県



県営土地改良事業 神田谷地区(農業用排水施設(ため池等整備(防災重点緊急整備型))事業)

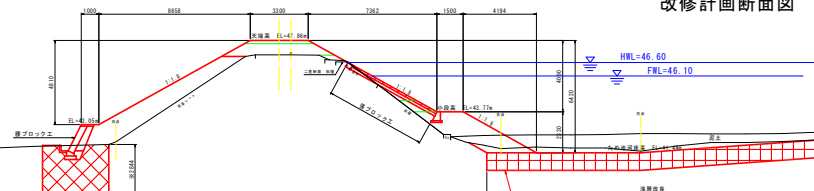
計画平面図 (R 8 年度 第 1 回変更後)



Scale = 1:2500 (A1)

0m 100m 200m

改修計画断面図



地盤改良工 (中層改良)
(箇所) 粘着力C=3kgN/m² 0m³
(変更) 粘着力C=45kgN/m² 295m³

地盤改良工 (浅層改良)
(箇所) 粘着力C=40kgN/m² 136m²
(変更) 粘着力C=50kgN/m² 512m²

流域面積
A=6.8ha

神田谷

受益面積①
A=0.7ha

全体受益面積
A=6.4ha

受益面積②
A=5.7ha

凡 例

色 別	名 称	事業量
受益	農 用 地	6.4 ha
計	た め 池	1 ヶ所
画		

事 業 概 要

主 要 工 事	◆堤体工	
	築堤盛土工	1 式
	張ブロック工	1 式
	◆洪水吐工	
	洪水吐工	1 式
◆取水施設工	斜樋工	1 式
	底樋工	1 式
	◆仮設工	
	仮設道路工	1 式
受益面積		6.4 ha
全体事業費		150,000 千円
事業主体		福 井 県



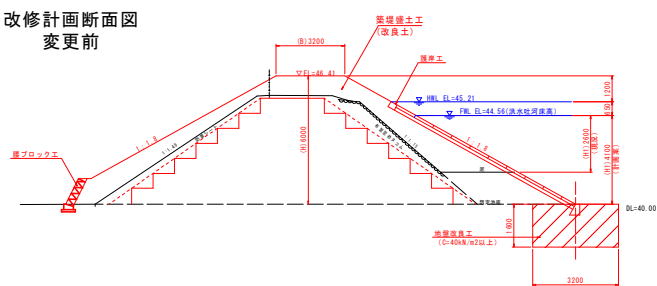
県営土地改良事業 神田谷地区(農業用排水施設(ため池等整備(防災重点緊急整備型))事業)

変更説明図 (R 8 年度 第 1 回変更)

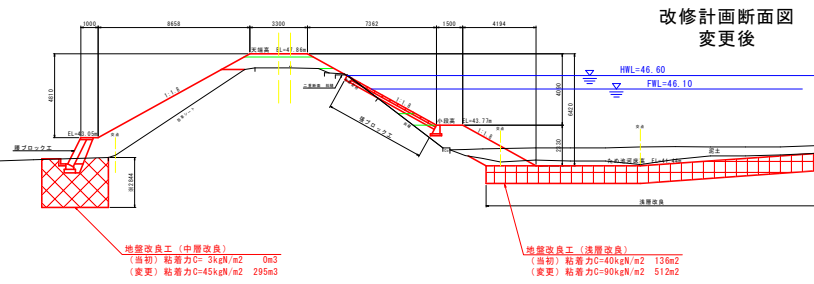
Scale = 1:2500 (A1)

0m 100m 200m

改修計画断面図
変更前



改修計画断面図
変更後



【事業量変更】

<ため池工>

・詳細設計および土質調査の結果、堤体安定計算上ため池上・下流側基礎地盤の粘着力が不足し地盤改良が必要であることが判明したため、浅層改良および中層改良を増工したい。

中層改良 事業量： 0m³ → 296m³ 増工
浅層改良 事業量： 136m² → 512m² 増工
事業費： 40,000千円 増

流域面積
A=6.8ha

神田谷

受益面積①
A=0.7ha

全体受益面積
A=6.4ha

受益面積②
A=5.7ha

凡 例

色 別	名 称	事業量
	受益 農 用 地	6.4 ha
W	計 た め 池	1ヶ所
画		

変更理由別縁取

事業量変更 増
事業量変更 減
工法変更

事 業 概 要

主 要 工 事	◆堤体工	
	築堤盛土工	1 式
	張ブロック工	1 式
	◆洪水吐工	
	洪水吐工	1 式
	◆取水施設工	
	斜樋工	1 式
	底樋工	1 式
	◆仮設工	
	仮設道路工	1 式
受益面積		6.4 ha
全体事業費		150,000 千円
事業主体		福 井 県